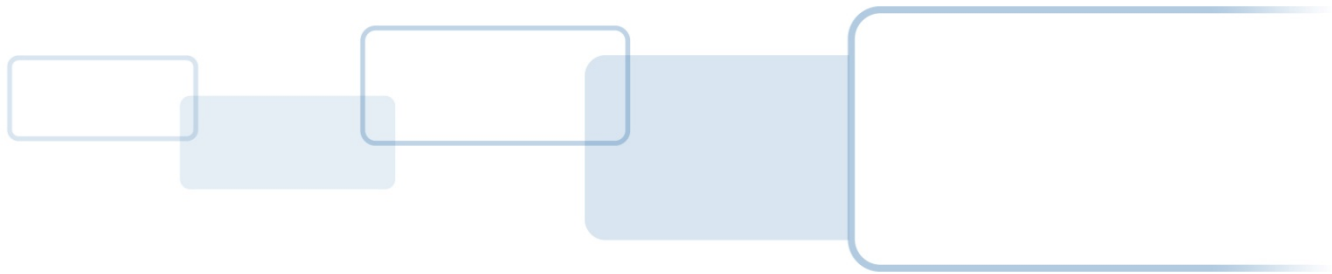




15370 Barranca Pkwy
Irvine, CA 92618-3106



HDP5000 & HDPii Plus

高解像度カードプリンタ/エンコーダ

ユーザーガイド

L000950 Rev 3.0

2013 年 7 月

© 2012, 2013 HID Global Corporation。不許複製。



商標

HID GLOBAL, HID, the HID logo, iCLASS and SIO are the trademarks or registered trademarks of HID Global Corporation, or its licensors, in the U.S. and other countries.

改訂履歴

	日付	資料タイトル
3.0	2013 年 7 月	「インヒビットパネル」の新機能と「詳細設定」セクションの更新
2.0	2012 年 11 月	HDP5000 および HDPii Plus ユーザーガイドを統合し、新たな機能を追加しました。
1.9	2011 年 3 月	HDP5000 高解像度カードプリンタ/エンコーダユーザーガイド Windows 7、32 および 64 ビットに対するサポートを追加 フィルム整列手順を追加
1.8	2010 年 6 月	HDP5000 高解像度カードプリンタ/エンコーダユーザーガイド – プリント速度修正
1.7	2010 年 1 月	HDP5000 高解像度カードプリンタ/エンコーダユーザーガイド – 電源接続方法改訂
1.6	2009 年 12 月	HDP5000 高解像度カードプリンタ/エンコーダユーザーガイド – Vista 64 ビットに対するサポートを追加 カナダ規格準拠声明
1.5	2009 年 5 月	HDP5000 高解像度カードプリンタ/エンコーダユーザーガイド – YMCKI リボンに対するサポート、RAW 磁気エンコーディング、新たに磁気クリーニング手順を追加。
1.4	2009 年 1 月	HDP5000 高解像度カードプリンタ/エンコーダユーザーガイド

改訂履歴

North America	Europe, Middle East and Africa	Asia Pacific	Brazil
15370 Barranca Parkway, Irvine, CA 92618, USA 866 607-7339, #6 M-F 7am-6pm CST	Phoenix Road, Haverhill, Suffolk CB9 7AE, England +441440 711822 M-TH 8:30-17:30 GMT (FR 8:30-17:00)	19/F 625 King's Road, North Point, Island East, Hong Kong +852 3160 9833 M-F 9am-6pm GMT +8	Av Guido Caloi 1985 Prédio 18 São Paulo – SP, CEP: 05802-140 55 11 5514-7110 M-F 9am-6pm ATC

support.hidglobal.com

目次

ユーザーガイド	1
1 仕様	5
1.1 法令遵守	5
1.2 Safety Messages (Review Carefully)	7
1.3 技術仕様	10
2 設定とインストールの手順	15
2.1 検査 -カードプリンタ	15
3 プリンタドライバ操作	15
3.1 カードタブの使用	15
3.2 コンフィグレーション	19
3.3 ラミネートモジュールキャリブレーションタブの選択	21
3.4 フィルムキャリブレーションタブの選択	21
3.5 リボンキャリブレーションタブの選択	22
3.6 プリンタクリーニング	23
3.7 詳細設定タブの選択	25
3.8 デバイスオプション	38
3.9 両面グループ機能の使用	41
3.10 イメージカラー	47
3.11 イメージ転写	51
3.12 磁気エンコードタブの使用	54
3.13 ラミネート	61
3.14 K パネルレジスタブの使用	63
3.15 インヒビットパネル	65
3.16 プリンタ消耗品タブの使用	68
4 トラブルシューティング	69
5 ラミネートモジュール	90
5.1 プリンタユニット:カードラミネート加工モジュールの詳細	90
6 プリンタの調整	91
6.1 テストカードのプリント	91
7 ワークベンチ	93
7.1 ワークベンチプリンタユーティリティへのアクセス	93
8 UV パネルの使用	94
8.1 ワークベンチを使用した UV データのコンフィグレーション	94
8.2 UV データ(YMCFK リボン用 F-パネル)のコンフィグレーション	98



9	インヒビットパネルの使用	100
9.1	インヒビットパネル (ワークベンチプリンタユーティリティ)の使用.....	100
10	ファームウェアのアップデート	106
10.1	ファームウェアのアップデートの実施.....	106
11	付属書 A:HDPii Plus.....	108
11.1	付属手順 –セキュリティロック (ケンジントンロック) スロットを使用	108

1 仕様

このセクションの目的は、HDPii Plusおよび HDP5000 カードプリンタの法規制の遵守、政府機関リスト、技術仕様、および機能仕様に関する具体的情報を提供することです。

1.1 法令遵守

用語	説明
UL	本カードプリンタは UL 60950-1 (第 2 版) 情報技術機器にリストされています 注: 本製品は、Class 2 のマークがついた直流 24 V、3.3A の定格を持つ指定電源ユニットによって電源が供給されるものとします。
CSA (cUL)	本プリンタメーカーは UL により、同社のカードプリンタを「IEC 60950-1-07 第 2 版の CSA 基準 C22.2 IEC 269-1-03 により CSA 証明済み」と表示することを認められています ファイル番号:E145118
FCC	本カードプリンタは、Class A デジタル装置に関する FCC 規則 Part 15 の必要条件を遵守しています。
CE	本カードプリンタはテストされ、EN300-330-1、EN300-330-2、EN301-489-1、EN60950-1:2006 + A11:2009 を遵守することが証明されています 注: 上記のテストに基づき、本プリンタメーカーは、カードプリンタが欧州共同体による以下の指令を遵守していることを保証し、カードプリンタに CE マークを貼付します。 LVD 2006/95/EC、EMC 2004/108/EC、R+TTE 1999/5/EC、ROHS 2002/95/EC
環境適応	電力供給効率レベル IV 最小、RoHS、中国 RoHS

1.1.1 政府機関リスト

用語	説明
排出基準	FCC Part 15 Class A、RSS-GEN、RSS 210、CNS 13438、EMC 2004/108/EC、R&TTE 1999/5/EC、GB9254-2008、GB 17625
安全規格	UL -IEC 60950-1 (第 2 版)、CAN/ CSA C22.2 No. 60950-1 第 2 版、LVD 2006/95/EC、GB4943
追加政府機関一覧	CCC、BSMI、KC

1.1.2 United States

This device complies with Part 15 of the FCC rules. Operation is subject to the following two conditions:

- (1) This device may not cause harmful interference.
- (2) This device must accept any interference received, including interference that may cause undesired operation.

Note: This equipment has been tested and found to comply with the limits for a Class A digital device, pursuant to part 15 of the FCC Rules. These limits are designed to provide reasonable protection against harmful interference when the equipment is operated in a commercial environment. This equipment generates, uses, and can radiate radio frequency energy and, if not installed and used in accordance with the instruction manual, may cause harmful interference to radio communications. Operation of this equipment in a residential area is likely to cause harmful interference; in which case, you are required to correct the interference at your expense.

IMPORTANT: Changes or modifications to an intentional or unintentional radiator not expressly approved by the party responsible for compliance could void the user's authority to operate the equipment.

1.1.3 Canada

This device complies with Industry Canada license-exempt RSS standard(s). Operation is subject to the following two conditions: (1) this device may not cause interference, and (2) this device must accept any interference, including interference that may cause undesired operation of the device.

Le présent appareil est conforme aux CNR d'Industrie Canada applicables aux appareils radioexempts de licence. L'exploitation est autorisée aux deux conditions suivantes : (1) l'appareil n doit pas produire de brouillage, et (2) l'utilisateur de l'appareil doit accepter tout brouillageradioélectrique subi, même si le brouillage est susceptible d'en compromettre le fonctionnement.

1.1.4 Taiwan

經型式認證合格之低功率射頻電機，非經許可，公司、商號或使用者均不得擅自變更頻率、加大功率或變更原設計之特性及功能。低功率射頻電機之使用不得影響飛航安全及干擾合法通信；經發現有干擾現象時，應立即停用，並改善至無干擾時方得繼續使用。前項合法通信，指依電信法規定作業之無線電通信。低功率射頻電機須忍受合法通信或工業、科學及醫療用電波輻射性電機設備之干擾。

1.1.5 Japan

この装置は総務省の型式指定を受けています。"

(総務省指定番号は第 AC-13048, AC-13049 号です)

本製品は電波を使用した RFID 機器の読み取り・書き込み装置です。

そのため使用する用途・場所によっては、医療機器に影響を与える恐れがあります

1.1.6 Korean

이 기기는 업무용 (A급) 전자파적합 기기로서 판매자 또는 사용자는 이 점을 주의하시기 바라며, 가정 외의 지역에서 사용하는 것을 목적으로 합니다.

1.2 Safety Messages (Review Carefully)

Symbol	Critical Instructions for Safety Purposes
	Failure to follow these guidelines results in personal injury or death. To prevent personal injury or death: • Reference the following safety messages before performing an operation. • Always remove the power cord prior to performing repair procedures, unless otherwise specified. • Ensure only qualified personnel perform these procedures.
	This device is electro statically sensitive. You may damage the device if exposing it to static electricity discharges. To prevent damage: • Reference the following safety messages before performing an operation. • Observe all established Electrostatic Discharge (ESD) procedures while handling cables in or near the Circuit Board and Printhead Assemblies. • Always wear an appropriate personal grounding device. • Always remove the Ribbon and Cards from the Printer before making any repairs, unless otherwise specified. • Remove jewelry and thoroughly clean hands before working on the Printer.
	This symbol warns of an electrical hazard that could result in personal injury or death.

For safety purposes, do not use Ethernet for a direct connection outside of the building.

1.2.1 Taiwan

繁體中文 射頻發射及安全指令安全訊息（小心檢查）

標記	重要的安全事項說明
危險： 	未按照說明安裝可能造成人員傷亡。 在可能產生潛在安全問題的地方有警示標記。 （如左圖所示）。 為了避免人員傷害，在進行有此警示標記的操作前，請先參考安全資訊提示。 為了避免人員傷害，在沒有特別說明的情況下，修理前請關掉電源開關。
小心： 	此設備對靜電很敏感。如果受到靜電放電，設備會損壞。 在可能產生潛在靜電安全問題的地方有警示標記。 （如左圖所示）。 為了避免損壞設備，在進行有此警示標記的操作前，請先參考安全資訊提示。 為了避免損壞設備，在排放電路板和プリント頭聯合裝置裡面或附近的電線時，請注意觀察所有的靜電放電設備。 為了避免損壞設備，請隨時佩戴合適的接地裝置（比如：手腕上戴一個高品質的接地手腕帶以免受到可能的傷害）。 為了避免損壞設備，如果沒有特殊說明，在做任何修理前，請取下印表機上的色帶和卡。 為了避免損壞設備，在使用印表機之前，請摘下戒指和手上飾品，並仔細清洗手上的油脂。

1.2.2 China

安全消息（请仔细阅读）

符号	涉及安全的重要过程
危险： 	如果不遵循这些安装指南进行操作，可能会导致重伤，甚至死亡。 可能引发安全问题的信息由警告符号（如左图所示）来表示。 为了确保人身安全，在执行前面带有此符号的操作之前，请先阅读下面的安全消息。 为了确保人身安全，除非另有规定，否则在执行维修过程前，始终应断开电源。
小心： 	此设备为静电敏感设备。如果暴露在静电电流下，可能会损坏设备。 可能引发静电安全问题的信息由警告符号（如左图所示）来表示。 为了防止设备或介质受损，在执行前面带有此符号的操作之前，请先阅读下面的安全消息。 为了防止设备或介质受损，请在处理电路板和打印头部件中或附近的电缆时，遵守所有规定的静电放电（ESD）过程。 为了防止设备或介质受损，请始终佩戴适当的个人接地设备（例如，已接地避免出现潜在损坏的高质量腕带）。 为了防止设备或介质受损，除非另有规定，否则在执行任何维修过程前，始终应将色带和证卡与打印机分离。 为了防止设备或介质受损，在操作打印机前，请取下手指和手上的珠宝首饰物，并将手上的油渍和污渍彻底清洗干净。



仅适用于海拔2000m 以下地区安全使用

Use only at altitudes not more than 2000m above sea level.



仅适用于非热带气候条件下安全使用

Use only in non-tropical conditions.

环境保护(中国-RoHS)

环保使用期是基于本产品用于办公环境。

Environmental Protection Use Period is based on the product being used in an office environment.

1.3 技術仕様

用語	説明
プリント方法	染料昇華転写/レジン熱転写
プリント解像度	300 dpi (11.8 ドット/mm)、連続したトーン
プリントモード	2 種類のプリントモード (パフォーマンスおよびノーマル) - ノーマルプリントモード (デフォルト) - パフォーマンスプリントモードは比較的低い画質で高速にプリントし、ほとんどのレジンテキストによる最小限の色に最適。
色	1 ピクセル当たり最大 1670 万色/256 階調
使用可能なカードタイプ (構成)	ABS、ラミネート PVC、PET、PETG、スマートカード、磁気ストライプカード、オプションルメモリーカード、 HDP 再転写可能な 100%ポリカーボネート。
カードクリーニング	着脱式クリーニングローラー (各プリントリボンに付属)
入力ホッパーの容量	30 ミル厚カード 100 枚-標準ホッパー 枚、30 - 40 ミル厚カード 200 枚- オプションのデュアルインプットホッパー
アウトプットホッパーカード容量	排出ホッパー容量: 30 - 40 ミル厚カード 200 枚 30 ミルカードが 5 枚以上収容できるリジェクトホッパーカード (フリッパーモジュール付き)
カードサイズ(使用可能な標準サイズ)	これらのカードプリンタでは、30 ミルから 50 ミル(0.030/0.762mm)の厚さの標準 CR80 サイズのカード(3.370L x 2.125W / 85.6mmL x 54mmW)が使用可能。 ラミネート装置では、30 ミルから 50 ミルの厚さのカードが利用可能。 デュアルホッパーでは、30 ミルないし 40 ミルの厚さのカードのみが使用可能。
寸法	プリンタ:11.50"H x 12.25"W x 9.25"D / 292mmH x 313mmW x 235mmD プリンタ + 両面モジュール:11.50"H x 17.50"W x 9.25"D / 292mmH x 445mmW x 235mmD プリンタ + 片面ラミネートモジュール:12.75"H x 25"W x 9.25"D / 324mmH x 635mmW x 235mmD プリンタ + 両面モジュール + 両面ラミネートモジュール:12.75"H x 30"W x 9.25"D / 324mmH x 762mmW x 235mmD ラミネートモジュール:12.75"H x 12.25"W x 9.25"D / 324mmH x 313mmW x 235mmD デュアル入力ホッパー:12"H x 5"W x 5.5"D
重量	プリンタ:16 lbs. / 7.3 kg プリンタ + 両面モジュール:22 lbs. / 10 kg プリンタ + 片面ラミネートモジュール:28 lbs. / 12.7 kg プリンタ + 両面モジュール + 両面ラミネートモジュール:36 lbs. / 16.4 kg
ディスプレイ	OLED グラフィックディスプレイ

用語	説明
エンコーディングオプション	- 単線エンコーディングオプション(USB もしくは Ethernet) - 「現場にて技術者によってアップグレード可能」 - ISO 磁気ストライプエンコーディング、2 重高低保磁力、トラック 1、2 および 3 - JIS 2 磁気エンコーディング - カスタム & Raw エンコーディング - 接触型、非接触型スマートカード(OMNIKEY 5121 および 5125)
ファージ認定品	重要!ファージカードプリンタでは、専用プリントリボンを試用しなければ正しく動作しません。プリンタ寿命、信頼性、プリントカード品質、および耐久性を最大限にするために、ファージ認定品のみを使用してください。このため、ファージ認定品以外が使用された場合、法律によって禁止されていない限り、ファージの保証は無効になります。追加注文の際は、認定再販業者へご連絡ください。
InTM フィルムオプション	クリアフィルム、1,500 回プリント可能 標準ホログラフ (500 回プリント可能) カスタムホログラフ、特注品 (500 回プリント可能) 高耐久透明フィルム (1000 枚)
InTM フィルムの保管温度	77°F (25°C) 以下で 1.5 年以内。
湿度	20% から 80%(結露なきこと)
インタフェース	USB 2.0 (高速) 内部プリントサーバ用 Ethernet E-カードオプション用インターフェース情報
ロック	ハードウェアのロックは、オプション機能。 - 機械式ロックとキーロックを使用し、インプットカードカートリッジのドア、プリンタへのアクセスドア、ラミネート装置、およびアウトプットカードホッパーの安全を確保。 - インプットカードカートリッジは、プリンタのアクセスドア内部にあるトグルラッチにより、プリンタ機構に手動で固定される。 - プリンタとラミネート装置には、ケンジントンロックと互換性を有する穴が有り。
メモリー	16MB RAM
動作温度	65°F から 90°F (18°C から 32°C). 湿度範囲 20% - 80% 結露なきこと
オプション	- カードラミネートモジュール - 片面もしくは両面 - フリッパーモジュール - 磁気ストライプエンコーディング 2 重入力ホッパー - スマートカードエンコーディング (接触型/非接触型) - 非接触型 13.56MHz エンコーディングオプション - 接触型チップエンコーディングオプション - ドアおよびカートリッジロック - プリンタクリーニングキット

用語	説明
オーバーラミネートオプション	どのオーバーラミネートオプションも、クリアー、ホログラムグローブデザインもしくはカスタムホログラムデザインで可能。これらは、スマートカードおよび磁気ストライプで使えるように最適化することが可能。 オプション品: - 熱転写オーバーラミネート、0.25 ミル厚、500 回プリント可能 - PolyGuard® オーバーラミネート、厚さ 1.0 ミルおよび .6 ミル、250 回プリント可能、(クリア、標準ホログラムおよびカスタムホログラム)
プリント範囲	CR-80 カードにおけるオーバーザエッジ。
プリント方法	HDP™ 昇華型 / レジン熱転写
プリントリボンオプション	(プリントまたは画像): - YMC、750 回プリント - YMCK* 500 回プリント - YMCKK* 500 回プリント - YMCKH* 500 回プリント - YMCFK, 500 回プリント - YMCKI, 500 回プリント - YMCIKH, 375 回プリント - YMCKIKI, 375 回プリント - YMCK ハーフパネル, 1000 回プリント - YMCKK ハーフパネル, 750 回プリント - プレミアムブラックレジン (K) 3000 プリント *プリントリボンの種類とリボンパネルを示す。Y = イエロー、M = マゼンタ、C = シアン、K = レジンブラック、I = インヒビット、F = UV 性を意味する
レジンスクランブルオプション	システムはレジンパネルでプリントした情報をすべて非表示にすることが可能。

用語	説明																		
プリント速度-バッチモード	二種類のプリント速度モードがあります: ノーマルおよびパフォーマンス <table><tr><th></th><th>パフォーマンスプリントモード</th><th>ノーマルプリントモード</th></tr><tr><td>YMC</td><td>カード 1 枚当たり 24 秒/ 1 時間あたり 150 枚</td><td>カード 1 枚当たり 29 秒/ 1 時間あたり 124 枚</td></tr><tr><td>YMCK</td><td>カード 1 枚当たり 29 秒/ 1 時間あたり 124 枚</td><td>カード 1 枚当たり 35 秒/ 1 時間あたり 103 枚</td></tr><tr><td>YMCKK</td><td>カード 1 枚当たり 40 秒/ 1 時間あたり 90 枚</td><td>カード 1 枚当たり 49 秒/ 1 時間あたり 73 枚</td></tr><tr><td>YMCK+ラミネート</td><td>カード 1 枚当たり 34 秒/ 1 時間あたり 106 枚</td><td>カード 1 枚当たり 40 秒/ 1 時間あたり 90 枚</td></tr><tr><td>YMCKK+ラミネート</td><td>カード 1 枚当たり 48 秒/ 1 時間あたり 75 枚</td><td>カード 1 枚当たり 55 秒/ 1 時間あたり 65 枚</td></tr></table> 最小限の色および主にレジンテキストに最適な性能を有します。 - プリント速度はバッチプリント速度の概数値を示し、カードがプリンタに供給されてから排出されるまでの時間を示します。 - プリント速度は、PC が画像を処理する際に要するエンコーディング時間や処理時間を含まず。 - 処理時間は、ファイルサイズ、CPU、RAM の量、およびプリント時に利用可能なリソースの量により変化。		パフォーマンスプリントモード	ノーマルプリントモード	YMC	カード 1 枚当たり 24 秒/ 1 時間あたり 150 枚	カード 1 枚当たり 29 秒/ 1 時間あたり 124 枚	YMCK	カード 1 枚当たり 29 秒/ 1 時間あたり 124 枚	カード 1 枚当たり 35 秒/ 1 時間あたり 103 枚	YMCKK	カード 1 枚当たり 40 秒/ 1 時間あたり 90 枚	カード 1 枚当たり 49 秒/ 1 時間あたり 73 枚	YMCK+ラミネート	カード 1 枚当たり 34 秒/ 1 時間あたり 106 枚	カード 1 枚当たり 40 秒/ 1 時間あたり 90 枚	YMCKK+ラミネート	カード 1 枚当たり 48 秒/ 1 時間あたり 75 枚	カード 1 枚当たり 55 秒/ 1 時間あたり 65 枚
	パフォーマンスプリントモード	ノーマルプリントモード																	
YMC	カード 1 枚当たり 24 秒/ 1 時間あたり 150 枚	カード 1 枚当たり 29 秒/ 1 時間あたり 124 枚																	
YMCK	カード 1 枚当たり 29 秒/ 1 時間あたり 124 枚	カード 1 枚当たり 35 秒/ 1 時間あたり 103 枚																	
YMCKK	カード 1 枚当たり 40 秒/ 1 時間あたり 90 枚	カード 1 枚当たり 49 秒/ 1 時間あたり 73 枚																	
YMCK+ラミネート	カード 1 枚当たり 34 秒/ 1 時間あたり 106 枚	カード 1 枚当たり 40 秒/ 1 時間あたり 90 枚																	
YMCKK+ラミネート	カード 1 枚当たり 48 秒/ 1 時間あたり 75 枚	カード 1 枚当たり 55 秒/ 1 時間あたり 65 枚																	
ソフトウェアドライバー	32 ビットをサポートする OS: - Windows XP - Server 2003 32、64 ビットをサポートする OS: - Vista - Server 2008 - Windows 7 - Windows 8 64 ビットをサポートする OS: - Server 2008 R2 - Server 2012																		
電源周波数	50 Hz / 60 Hz																		
電源電圧	120-240 VAC																		
対応プリンタ機種	イーサネット USB (2.0)																		



用語	説明
動作環境	x86 ベースの PC またはその互換 PC • CPU 速度 500MHz コンピューター、256MB 以上の RAM を装着 • 500MB 以上のハードディスクの空きスペース
保証	プリンタ:二年（アメリカ国内のみ 1 年目の On-Call Express）;オプションの延長保証プログラム（アメリカ国内のみ）; 詳細は以下をご覧ください。 • 3 年工場保証 • 部品および当社施設における修理をカバー • 1 年目の On-Call-Express 保証（プリンタ貸与、アメリカ国内のみ） • 2 年目の On-Call-Express は有料です。これは、1 年目 On-Call-Express の有効期限内にご購入いただく必要があります。 • 延長保証が購入できます プリントヘッド:無期限保証; ファーゴ認定カードによる無期限保証

2 設定とインストールの手順

2.1 検査 -カードプリンタ

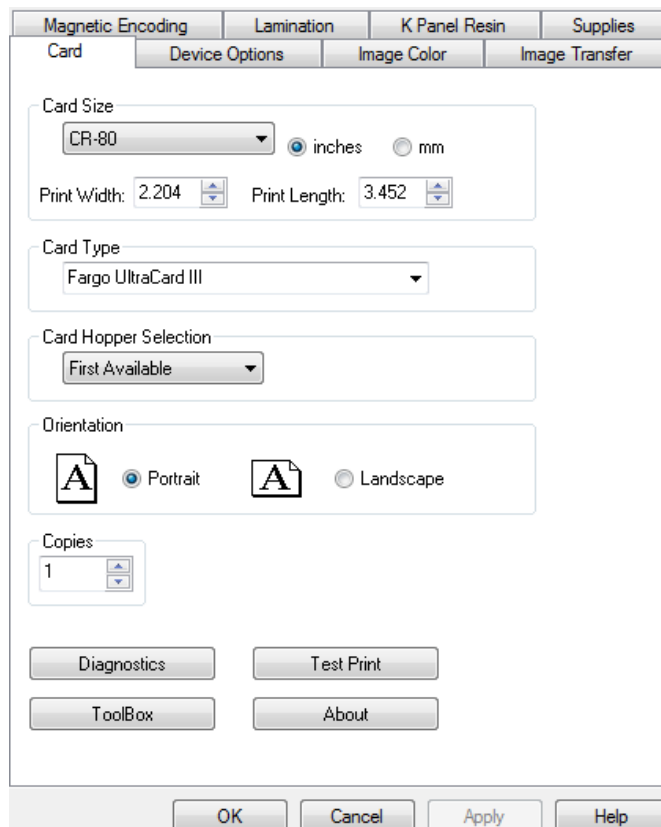
- プリンタの開梱時に、出荷中に損傷がないことを確認するために外箱を検査してください。同梱品がすべて付属していることを確かめてください。
- カードプリンタクイックスタートガイドで、プリントリボン、転写 InTM フィルム、オーバーラミネートおよびカードストックの装着方法を確認してください。
- クイックスタートガイドを見て、プリンタおよびラミネートモジュールの電源を入れます。



プリンタドライバーのインストール中に指示されるまで、**USB** ケーブルを接続しないでください。プロンプトに従い、ドライバーをインストールします。

3 プリンタドライバー操作

3.1 カードタブの使用



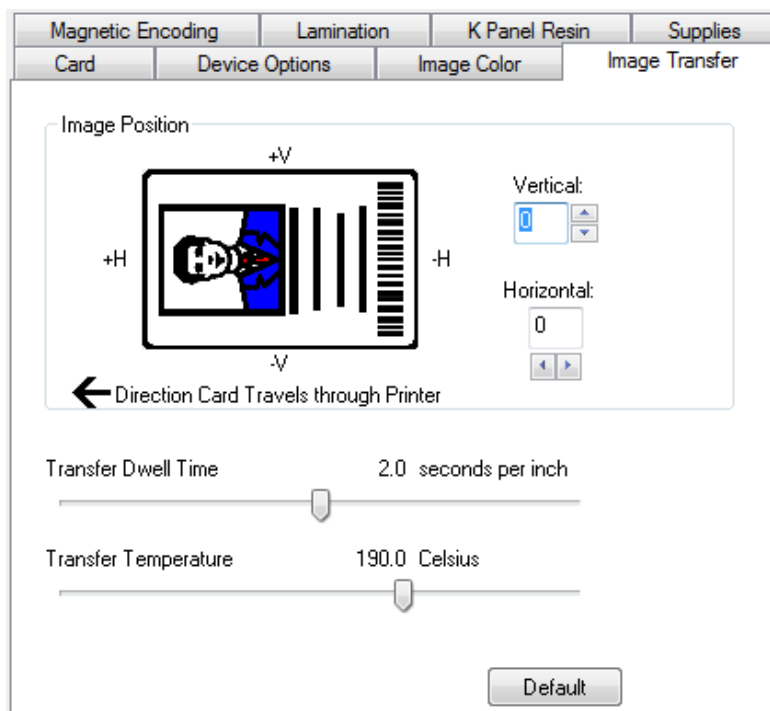
HDP5000 のみ

3.1.1 カードサイズを選択

ステップ	手順
1	カードサイズオプションを選択します: - CR-80: 本セクションは、プリンタの初期設定フォームサイズです。画像のプリントサイズは 2.125 X 3.374 インチで、4 辺にそれぞれ 0.04 インチの塗り足し代が含まれます。すなわち、フォーム全体のサイズは 2.204 X 3.452 インチ (56 X 87.7 mm) となります。カスタム: この選択肢を使用すると、1.0 x 3.0 インチないし 2.204 X 3.452 (25.4 X 76.2 mm ないし 56 X 87.7 mm) のカスタムフォームサイズが作成できます。 各カードサイズの全プリント範囲の寸法は、プリント幅およびプリント長さボックスに表示されます。 - これらのプリント範囲の寸法は、実物のカードサイズよりも 0.04" (1mm) 大きくなります。これは、カードへ転写する際に画像が端から端までの間に表示されるよう、画像を刷り重ねるためです。 - このため、カードフォーマットをデザインする際は、カードサイズまたはページサイズを、必ず、カードデザインプログラム内のプリンタドライバの一覧にある正確なプリント長さと幅に合わせてください。

3.1.2 カードタイプを選択

カードタイプドロップダウンリウトから、カードストックの構成に従い、ご希望のカードタイプを選択します。



ステップ	手順
1	選択肢（通常のプリントモードの中から選んでください）： • FARGO ウルトラカード III（初期設定カードタイプ） = 175°および 2.0 秒 • FARGO ウルトラカードプレミアム = 185°および 2.0 秒 • FARGO ウルトラカード = 175°および 2.0 秒 • HID Tech カード Composite = 190° およ 2.0 秒 • HID Tech カード PVC = 185°および 2.0 秒 • Indala FlexISO - 標準(FPISO) = 185°および 2.0 秒 • Indala FLexISO XT-Composite (FPIXT) 190° および 2.0 秒 • カスタム 1 = 175°および 2.0 秒 • カスタム 2 = 175°および 2.0 秒 初期設定: プリンタドライバーソフトウェアは、これらのカードタイプに最適な転送を行うために、初期設定転送温度および滞留時間を設定します。これらの初期設定は、カードタイプ、リボンタイプ、片面または両面プリントに応じて自動的に設定されます。 カードタイプ選択: これらの標準ファージョカードタイプを使用している場合は、プリント前に、プリンタドライバのカードタブから正しいものを選択しているか確認してください。 正しい設定: すべてのカードタイプがこれらの初期設定で調節できるわけではありません。試行錯誤を重ねて適切な設定を見つけてください。  オプションを間違えると、画像転送中に不適切な滞留時間や温度が選択され、InTM フィルムの接着が悪くなったり、カードが反ることがあります。
2	一覧にないカードストックを使用している場合、カスタム滞留時間および滞留温度コントロールを画像転送タブに保存するカスタム 1 オプションを使用します。 - カスタムオプションをクリックし、カードストックの名称を入力します。 - 画像転送タブをクリックし、滞留時間および温度スライダを適切な設定に調節します（次のページをご覧ください）。注: プリンタドライバーセットアップウィンドウを閉じると、これらの設定がカスタムカードタイプ用に保存されます。 - カスタムカードストック: カスタムカードストックの適切な設定を決定するため、テープ接着試験を行います。セクション 6.1.2 テープ接着テストの実施をご覧ください。

3.1.3 方向の設定

縦もしくは横のどちらかの方向を選びます。

ステップ	手順
1	縦にカードをプリントする場合は、縦を選びます。 または 横にカードをプリントする場合は、横を選びます。

3.1.4 カードホッパーの選択

プリンタにカードを補給するホッパーを指定します。**ホッパートップ**を選択すると、トップホッパーからプリンタへ補給します。**ホッパーボトム**を選択すると、ボトムホッパーからプリンタへ補給します。最後に供給されたホッパーからカードが補給され、その後、もう一方のホッパーに切り替わります。

3.1.5 プリント枚数を指定

プリントする枚数を指定します

最大は10000部、最小は1部です。

3.1.6 診断ユーティリティボタンを選択します

診断ユーティリティをクリックし、ワークベンチプリンタユーティリティを起動します。

3.1.7 テストプリント画像をプリントする

テストプリントをクリックし、プリンタをテストします。

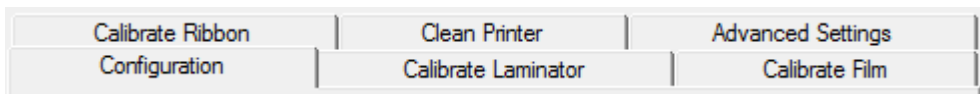
ステップ	手順
1	互換性のあるリボンをプリンタにインストールし、テストプリントを行います。
2	ドライバー設定を開きます。 - PC のスタートアップメニューから、設定>プリンタと FAX を選びます。 - プリンタウィンドウのプリンタをダブルクリックします。 - プリンタ ドロップダウンメニューのプリント設定を選びます。注:すると、プリント設定ウィンドウが表示されます。
3	- カードタブを選び、テストプリントをクリックします。 - テストプリントボタンを選ぶと、画像がプリンタへコピーされます。

3.1.8 バージョン情報の選択

バージョン情報を選び、著作権、ドライババージョンおよび日付の入ったダイアログボックスを開きます。

3.1.9 ツールボックスボタンを選びます



ステップ	手順
1	ツールボックスを選択すると、ツールボックスウィンドウとタブにアクセスされます。このツールボックスウィンドウとタブは、本セクション全体で使用されます。  OK ボタン: ドライバのダイアログボックスが開いている場合にはダイアログボックスが閉じ、ドライバコンフィグレーションの変更が保存されます。 キャンセル ボタン: ドライバのダイアログボックスが開いている場合には、ダイアログボックスが閉じ、ツールボックスの変更は保存されません。 ヘルプ ボタン: アクティブ タブ専用のヘルプが起動します。

3.2 コンフィグレーション

テップ	手順
1	コンフィグレーションタブを選びます。 • オプションのプリンタ機能で、チェックボックスにチェックし、機能を選択します。 初期設定では、このボックスがチェックされています。 • このボックスがチェックされている場合、コンフィグレーションタブを起動すると、ドライバはファームウェアからインストールされたプリンタの機能情報を取得し、自動的に両面、ラミネートおよび磁気エンコーダのいずれかのチェックボックスにチェックマークを入れます。 • このボックスがチェックされている場合、両面、ラミネート装置および磁気エンコーダチェックボックスが読み込まれます。 • このボックスがチェックされている場合にプリンタが見つからないか、双方向能力が無効または利用できない場合、エラーメッセージ(図示)が表示されます。 • このボックスがチェックされていない場合やチェックマークを消した場合、機能チェックボックスが有効となり、手動で設定できます。 • ドライバが再インストールされると、このボックスがチェックされた初期設定状態にリセットされます。 • イベントモニタリングで、モニタリングするイベントを選択します。(注:選択されたイベントが起こると、ドライバからユーザーに対してプロンプトが表示されます。) • プリンタのLCDディスプレイ用の言語を設定で言語を選びます。 注:イベントモニタリングおよび言語設定については、以下のセクションをご覧ください。 • 「プリンタ LCD ディスプレイの言語を設定する」で言語を選択してください。

3.2.1 イベントモニタリンググループボックスの使用

このイベントモニタリンググループのボックスに、消耗品（リボン、ラミネートおよび再転写フィルム）の残量が少ないことが表示されます。

- 初期設定では、このボックスがチェックされています。初期設定がチェックされている状態で、プリンタからドライバにリボン残量が少ないと報告された場合、プリントジョブを実行するたびにリボン残量減少のボックスが表示されます。
- 今後このメッセージを表示しない。このチェックボックスにチェックマークを入れると、ドライバインスタンスによるメッセージを消去できます。初期設定 = チェックなし。

3.2.2 リボン減少メッセージの表示

The ribbon in your printer is low.

To order additional ribbons, please refer to the reordering information on the ribbon label or on the Supplies tab.

☐ Do not show this message again

OK

3.2.3 ラミネート減少メッセージの表示

The laminate in your printer is low.

To order additional laminate, please refer to the reordering information on the laminate label or on the Supplies tab.

☐ Do not show this message again

OK

初期設定では、このボックスがチェックされています。

- このボックスがチェックされていると、プリンタからドライバーにラミネート残量が少ないとを報告された場合、プリントジョブを実行するたびにラミネート減少メッセージボックスが表示されます。
- 今後このメッセージを表示しない。このチェックボックスにチェックマークを入れると、ドライバーインスタンスによるメッセージを消去できます。初期設定 = チェックなし。

3.2.4 再転写フィルム減少メッセージの使用

The film in your printer is low.

To order additional film, please refer to the reordering information on the film label or on the Supplies tab.

☐ Do not show this message again

OK

初期設定では、このボックスがチェックされています。

- このボックスがチェックされていると、プリンタからドライバーに再転写フィルム残量が少ないと報告された場合、プリントジョブ毎に再転写フィルム減少メッセージボックスが表示されます。
- 今後このメッセージを表示しない。このチェックボックスにチェックマークを入れると、ドライバーインスタンスによるメッセージを消去できます。初期設定 = チェックなし。

3.2.5 クリーンプリンタメッセージの使用

初期設定では、このボックスがチェックされています。このボックスがチェックされていると、3000回プリントした後に「プリンタのクリーニング」メッセージが表示されます。

3.2.6 エラーステータスメッセージの使用

初期設定では、このボックスがチェックされています。このボックスがチェックされていると、エラーが起こった場合、エラーメッセージ(解決案を含む)が表示されます。

3.2.7 パスワードプロンプトメッセージの使用方法

初期設定では、このボックスがチェックされています。

- このボックスがチェックされていると、パスワードを要求するダイアログメッセージが表示され、パスワードを入力しなければプリントが継続できません。
- ワークベンチでは、パスワード保護が設定され、有効となっています。

3.2.8 言語の表示の選択

ワークステーションドライバソフトウェアとプリンタディスプレイの二か所で、インターフェースの言語が変更できます。

ドライバをインストールする際にドライバソフトウェアの言語を選択します。初期インストール後にドライバソフトウェアの言語を変更する場合は、**ツールボックス**を使用します。

初期設定プリンタ言語は英語です。プリンタへ言語パックファイルを送信すると、プリンタは、他の言語に対応できるようになります。(プリンタへ適切な言語パックを送信した後で) **ツールボックス**を使用して、プリンタの言語を変更してください。プリンタファームウェア内で使用できる(言語パックでダウンロードされた)言語のみ、ドロップダウンメニューで選択できます。プリンタ言語パックを入手したい場合は、技術サポートへご連絡ください。

3.3 ラミネートモジュールキャリブレーションタブの選択

ラミネート装置キャリブレーションタブは、ラミネート装置が自動的に検出されるか、手動で選択した場合に有効となります(コンフィグレーションタブのプリンタ機能)。ラミネート装置が検出されない場合、タブは有効ですが、機能は灰色で表示され、選択できません。

- キャリブレーションボタン:**ラミネート装置キャリブレーションコマンドをプリンタへ送ります。指示に従ってプリンタを設定してください。
- ヘルプボタン:**このタブ専用のヘルプが起動します。

ステップ	手順
1	ラミネート装置キャリブレーションタブを選びます。 - カートリッジがラミネート装置から外してあることを確認してください。 - ラミネート装置のカバーが閉まっていることを確認してください。 キャリブレーションをクリックします。(注:プリンタのLCDに、キャリブレーション終了と表示されます。)キャリブレーション失敗のエラーメッセージが表示された場合、「詳細設定」タブでセンサーキャリブレーション数を13まで増加すると、手動で解決できます。自動キャリブレーション機能は使用しないでください。) - LCD ディスプレイのOKをクリックして手順を終了します。

3.4 フィルムキャリブレーションタブの選択

再転写フィルムキャリブレーションタブの2つのボタンについて説明します。

- キャリブレーションボタン:**プリンタにフィルムキャリブレーションコマンドが送られます。指示に従ってプリンタを設定してください。
- ヘルプボタン:**このタブ専用のヘルプが起動します。

ステップ	手順
1	フィルムキャリブレーションタブを選びます。 - 再転写フィルムカートリッジがインストールされていることを確認してください。 - プリンタのカバーが閉まっていることを確認してください。 - キャリブレーションをクリックします。(注:プリンタのLCDに、キャリブレーション終了と表示されます。) - LCD ディスプレイの OK をクリックして手順を終了します。

3.5 リボンキャリブレーションタブの選択

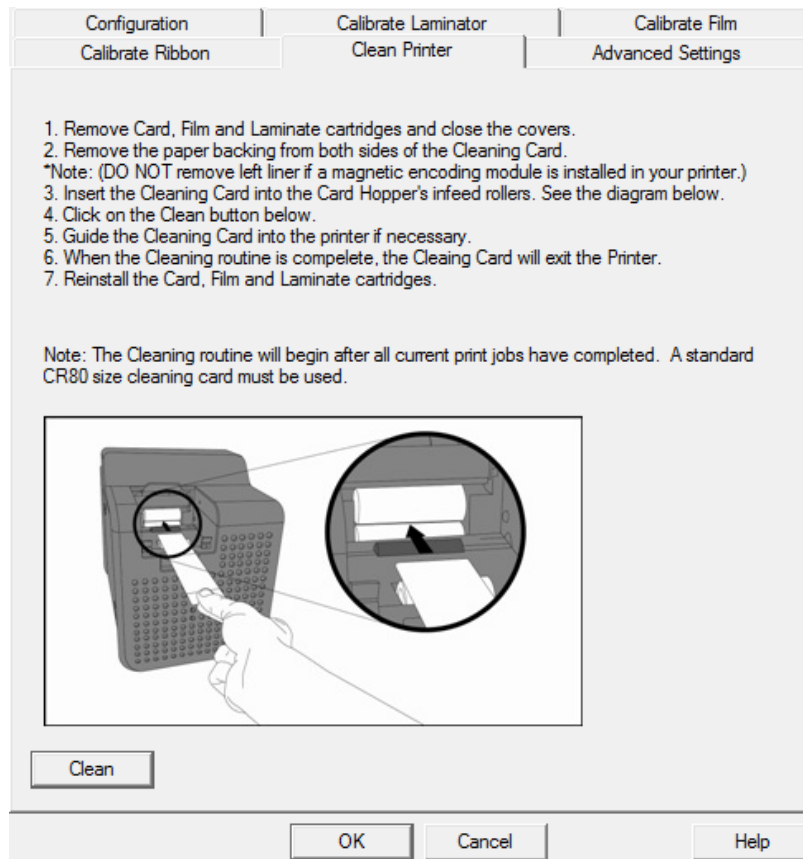
下にリボンのキャリブレーションタブ用の2つのボタンが説明されます。

- **キャリブレーションボタン:**プリンタにリボンのキャリブレーションのコマンドが送られます。指示に従ってプリンタを設定してください。
- **ヘルプボタン:**このタブ専用のヘルプが起動します。

ステップ	手順
1	リボンのキャリブレーションタブを選択します。 - リボンカートリッジが取り外してあることを確認してください。 - プリンタのカバーが閉まっていることを確認してください。 - キャリブレーションをクリックします。(注:プリンタのLCDに、キャリブレーション終了と表示されます。) - LCD ディスプレイの OK をクリックして手順を終了します。

3.6 プリンタクリーニング

プリンタをクリーニングするためには、クリーンプリンタタブに書かれた指示に従います。

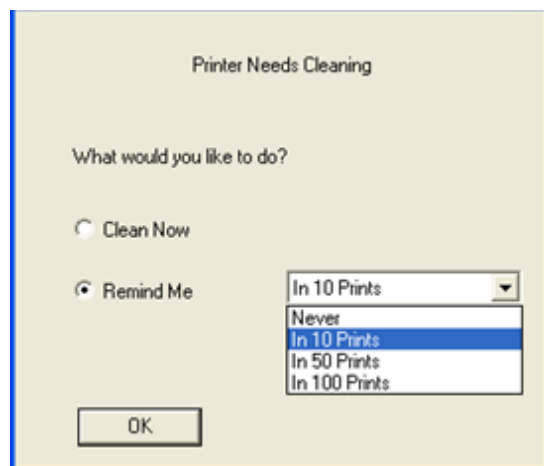


- クリーンボタン:クリーニングのルーチンを起動します。指示に従ってプリンタを設定してください。
- ヘルプボタン:クリーンプリンタタブのヘルプを起動します。

ステップ	手順
1	クリーンプリンタタブをクリックします。 - カード、再転写フィルムおよびラミネートカートリッジを取り外し、カバーを閉じてください。 - クリーニングカードの両側からペーパーバックを取り外します。(注:磁気エンコーディングモジュールがプリンタにインストールされている場合、左のライナーは取り外さないでください。) - カードホッパーのインフィードローラーにクリーニングカードを挿入してください。 - クリーンボタンをクリックします。 - 必要ならば、プリンタにクリーニングカードが入るように位置を調整してください。 - クリーニング作業が完了すると、クリーニングカードがプリンタから排出されます。 - カード、再転写フィルム、およびラミネートカートリッジをもう一度取り付けてください。 実行中のプリントジョブがすべて終了すると、クリーニング作業が開始されます。標準 CR80 サイズのクリーニングカードを使います。

3.6.1 クリーンプリンタグループの使用

クリーンプリンタグループダイアログは、**プリンタイベントモニタリング** (コンフィグレーションダイアログをご覧ください) から開始されるステータスメッセージです。表示されたら、**今すぐクリーニングする** (初期設定) が選択されています。**クリーニング時期を知らせる** をクリックすると、希望する時期にリマインダーが表示されるように設定できます。これにチェックマークを入れると、**3000カードのプリント後にファームウェア EE 設定が変更される際に、プリンタクリーニング通知ダイアログが表示されます。** (注:ファームウェアにクリーンコマンドが送信され、ファームウェア EE 設定がリセットされます。)



- **クリーニング:**これは初期設定です。**OK** をクリックすると、ツールボックスのクリーンプリンタタブが起動されます。
- **クリーニングを知らせる:**これにより、次回リマインダーが表示されるまでにプリントされるカード数を選択するドロップダウンが有効になります。**表示しない**を選択すると、クリーンプリンタ通知は、**コンフィグレーション**タブに表示されなくなります。
- **OK ボタン:****OK** をクリックすると、設定が有効になり、ダイアログが閉じられます。
- **キャンセルボタン:****キャンセル**をクリックすると、変更を保存せずに、ダイアログが閉じます。**クリーン**をクリックせずに、ツールボックスを閉じると、プリンタクリーニングリマインダーダイアログボックスが次のプリント時に再度表示されます。

3.6.2 ローラーのクリーニング

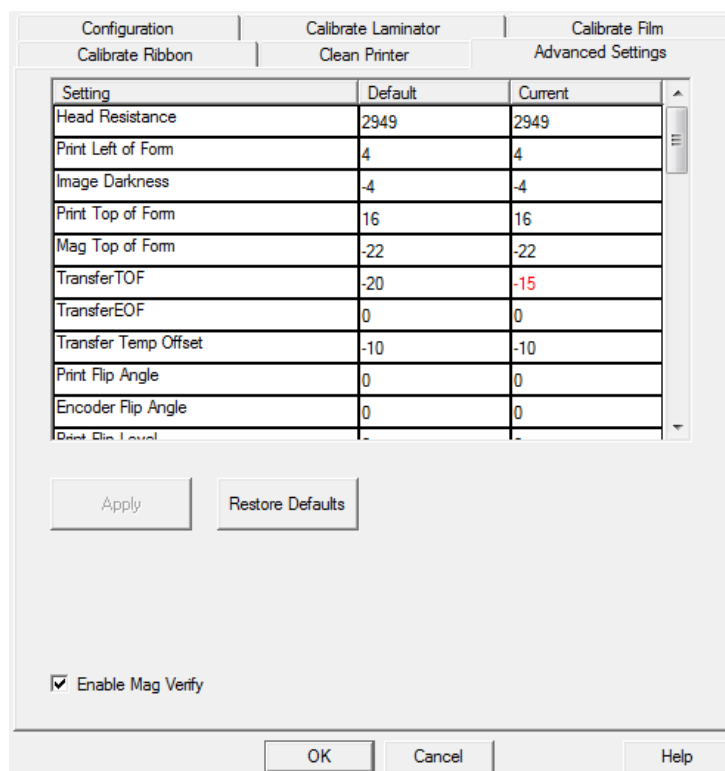
クリーニングに関する追加情報については、クリーニングキットに付属しているクリーニングキット取扱説明書をご覧ください。

3.7 詳細設定タブの選択

詳細設定タブを使い、プリンタの内部設定を調整します。各プリンタの設定をカスタマイズし、プリンタのメモリ内に設定を保存します。(注:初期設定に戻すを選択すると、内部設定が初期設定に戻ります。)

注意:普通は、工場でプリンタコンフィグレーションが設定された後に、これらの設定を調整する必要はありません。ただし、まれに、これらの設定を調整する必要がある場合があります。これらは専門知識をお持ちの方のみが調整を行うことができます。

ここで説明した設定を行うと、ファームウェアの値が変更されます。以下で、各設定とその使用法について説明します。



Setting	Default	Current
Head Resistance	2949	2949
Print Left of Form	4	4
Image Darkness	-4	-4
Print Top of Form	16	16
Mag Top of Form	-22	-22
Transfer TOF	-20	-15
Transfer EOF	0	0
Transfer Temp Offset	-10	-10
Print Flip Angle	0	0
Encoder Flip Angle	0	0

☒ Enable Mag Verify

OK Cancel Help

- **設定コラム:**設定の種類が表示されます。
- **初期設定コラム:**初期設定値が表示されます。
- **現在の設定コラム:**現在の設定値が表示されます。

フィールドをクリックしコントロールを有効にし、新しい値を入力して、現在の値を変更します。

- **適用ボタン:**変更された値を適用します。
- **初期設定に戻すボタン:**初期設定値に戻ります。

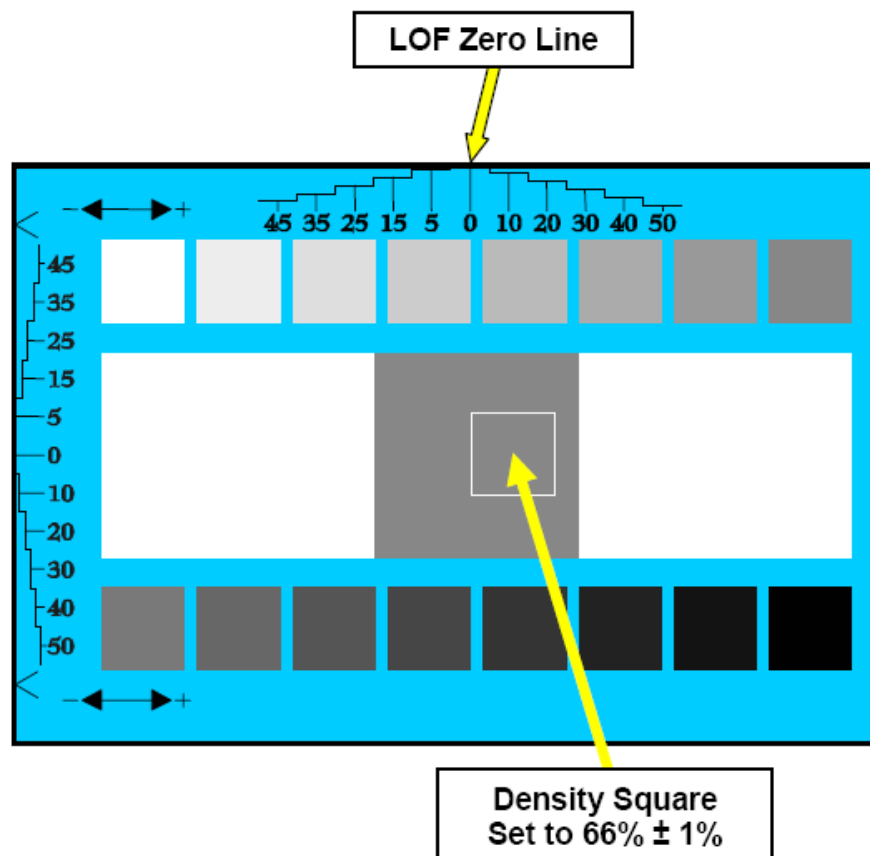
3.7.1 ヘッドレジスタンス

この値は工場にて設定されています。主基板またはプリントヘッドを交換した場合にはこの数値を調整してください。

- プリントヘッドの底面にプリントヘッド設定番号があることを確認します。
- この数字は **R=XXXX** という形式になっています。

3.7.2 左端プリント位置調整の使用

詳細設定で、左端プリント位置調整を修正します。



ステップ	手順
1	位置調整カードセルフテストをプリントします。
2	図示のように、LOF ゼロラインの境界が、カードの縁に現れるまで、プリント LOF を上下方向に調整します。
3	図示のように、密度を示す正方形を測定します。 画像密度を $66\% \pm 1\%$ に調整します。

3.7.3 画像の暗さ

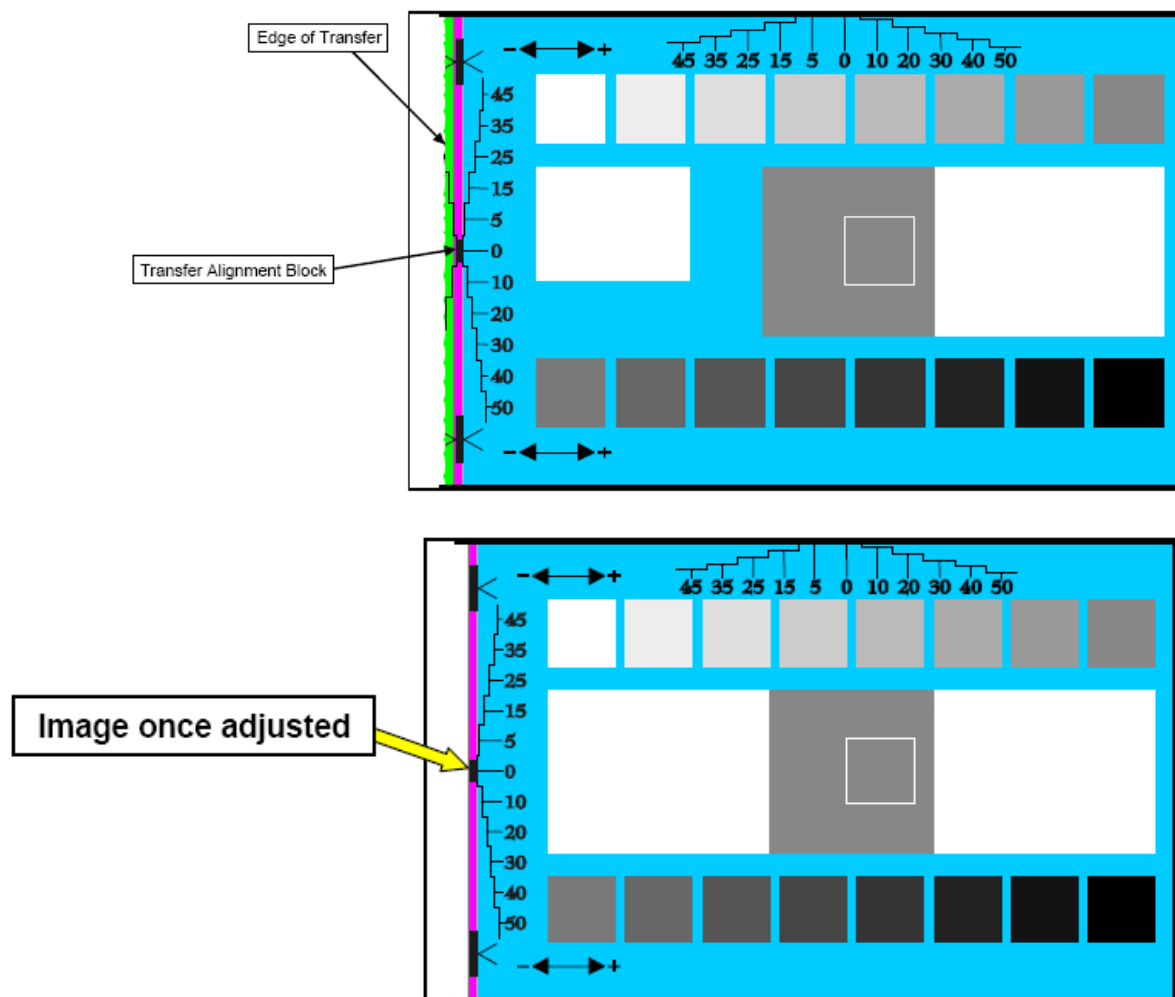
「イメージの明るさ設定」を使用すると、プリント時におけるプリントヘッドの消費熱量を増減させて、プリント画像の全面の明るさを調節することができます。

ステップ	手順
1	▼ をクリックするとプリント画像が明るくなります。すなわち、負の値を入力すると、プリントヘッドの熱が減少します。 ▲ をクリックするとプリント画像が暗くなります。すなわち、正の値を入力すると、プリントヘッドの熱が増加します。  イメージの明るさ設定が高すぎると、リボンが詰まったり、破損することがあります。



3.7.4 フォーム上面のプリント

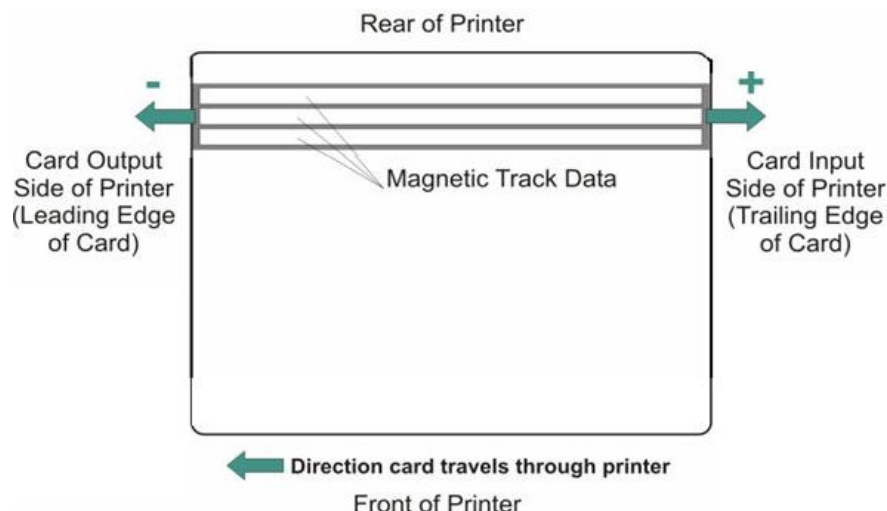
詳細設定から、上端プリント位置設定を修正します。



ステップ	手順
1	転送 TOF が+35 に設定されていることを確認します。
2	プリント TOF が+20 に設定されていることを確認します。
3	プリント LOF が+7 に設定されていることを確認します。
4	位置合わせカードセルフテストをプリントします (前端が図のようになるようにします)。
5	緑色の境界が消え、転送位置調整ブロックの全体がカードの中央に表示されるまで、プリント TOF を調節します。 注: ローラーの位置調整がずれていると、緑色の縁がカード上部からわずかにずれた角度で現れる場合があります。
6	位置調整ブロック全体が見えて、カードの中心から緑色の部分が消えた事を確認します。

3.7.5 磁気エンコード上下位置調整の使用

高度な設定で、磁気エンコード上下位置調整を修正します。



磁気ストライプはカードの表面 (プリンタ前面) にあります。

プリンタに磁気ストライプエンコーダが内蔵されている場合にのみ、このオプションを使用してください。

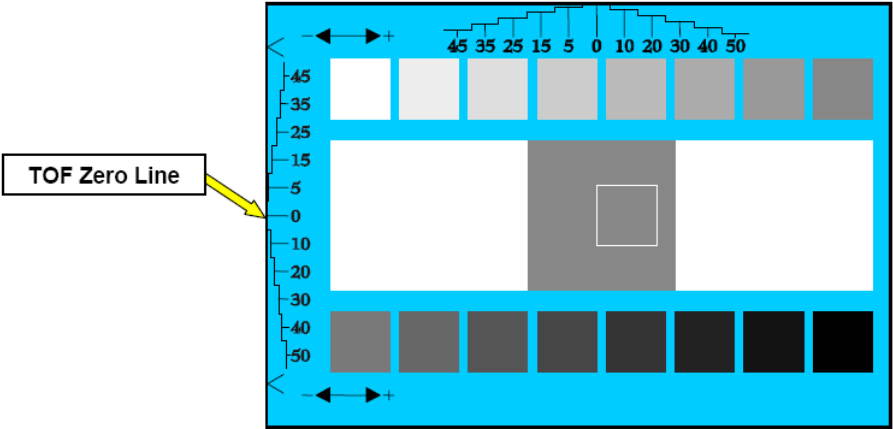
- その場合、このオプションによって、プリンタが磁気トラックデータをカードの磁気ストライプにエンコードする最初の位置が変更できます。
- この値を調整する時は、カードがプリンタ内を通るので、カードとその磁気ストライプ相対位置が、必ず同一になるようにします。

図の表示内容:

- 磁気オフセット値を「正」または「負」にした際の、カードの磁気ストライプの固定位置に対する磁気データの移動方向。
- この図では、カードが透明で、カードの磁気ストライプがカードの上部または前面から見えるものと仮定します。

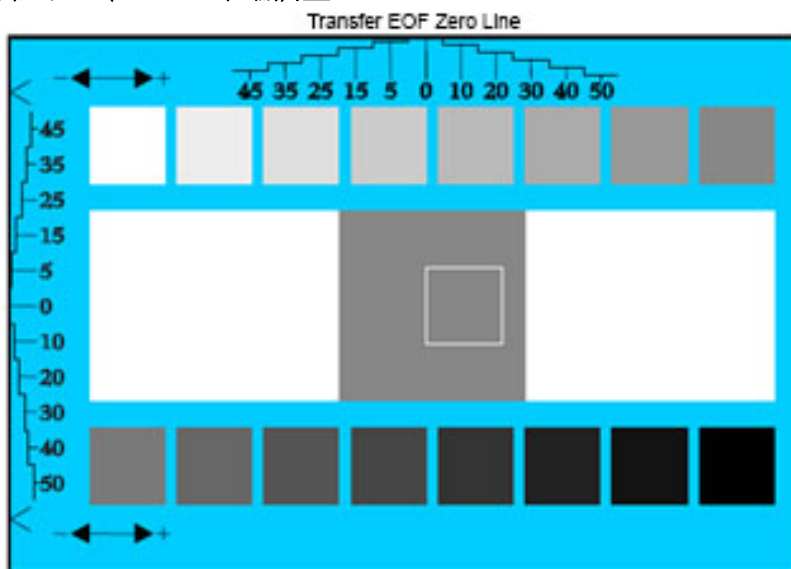
ステップ	手順
1	磁気データの始点をカードの先端側、すなわち、プリンタの出力側に移動させるには、負の値を入力します。または磁気データの始点をカードの末端側、すなわち、プリンタの挿入側に移動させるには、正の値を入力します。 ● 磁気データ方向:これらのボタンの矢印は、磁気データが、カードの磁気ストライプ上で動く方向を示します。 ● 最大調整範囲:最大調整範囲は± 99 です。（一般に、20 は、約 0.030"/0.8mm に相当します。）（注:調整過多とならないように、この点を留意してください。）  注意:負の値が大きすぎる場合、カードの磁気ストライプがエンコードヘッドに到達する前に、プリンタがエンコードを開始する恐れがあります。

3.7.6 転送TOF設定の使用



ステップ	手順
1	位置調整カードセルフテストをプリントします。
2	図示のように、TOF ゼロラインがカードの端に来るまで、転送 TOF を調整します。

3.7.7 再転写フィルムの末端調整



Step	Procedure
1	アライメントカードの自己テストをプリントします。
2	図示のように「EOF ゼロライン」がカードの端に配置されるまで、「耐久消費財の用紙末端の転送」を調整してください。

3.7.8 転送温度オフセットの使用

このオプションによって、転送ローラーのプリンタ温度の測定値にオフセット値が追加されます。

注意：この設定は、転写ローラーの温度とLCDの目標値を一致させる場合にのみ使用してください。

- 画像転送タブスライダを使用し、カードストックの調整を行います。
- 「-」（マイナス）方向に調整すると、ローラーの温度が上昇します。

3.7.9 プリントフリップアングル設定の使用

プリントフリップアングルオプションを使用すると、フリップの操作後にフリップパーがカードパスと同一平面上になるようにフリップパーの位置が設定されます。

3.7.10 エンコーダフリップアングル設定の使用

エンコーダフリップアングルオプションを使用し、フリップパーの位置を微調整します。

注：これは、プリンタがにこのオプションが搭載されている場合、プリンタの内蔵エンコーダに対して実行されます。

3.7.11 使用プリントフリップレベル設定の使用

プリントフリップレベルオプションを使用すると、フリップパーがカードパスと同一平面上になるようにフリップパーの位置が設定されます。

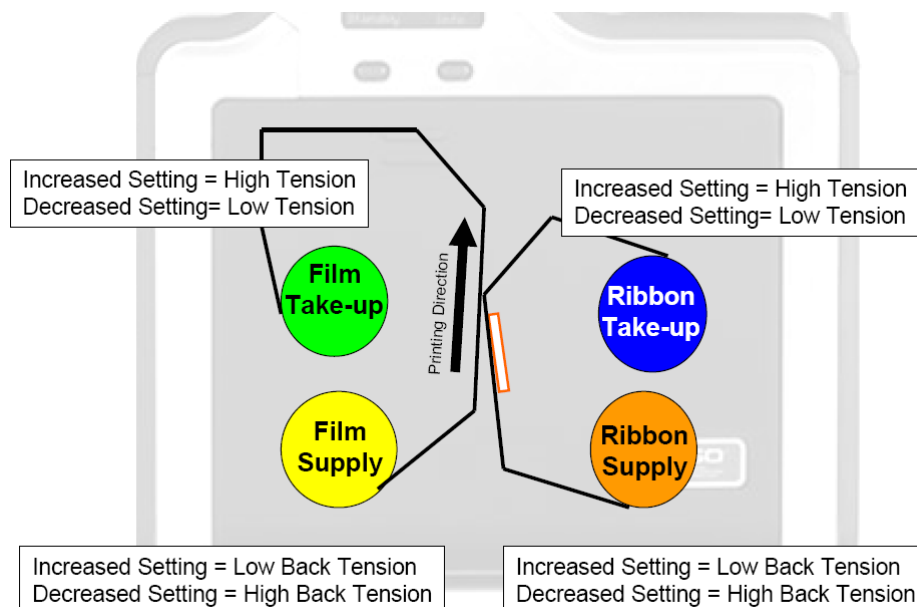
3.7.12 プリントリボン巻き取りテンション設定の使用

この手順によって、プリント中のカラーリボンのテンションが調整されます。

- リボンのシワがカードに現れた場合、リボンテンションを調整してください。
注:わずかに調整するだけでも、画像の長さが変化します。

3.7.13 プリントリボン供給テンション設定の使用

この手順によって、プリント中のカラーリボンのテンションが調整されます。リボンのシワがカードに現れた場合、リボンテンションを調整してください。(注:わずかに調整するだけでも、画像の長さが変化します。正方向に調整すると、シワが消える場合があります。)



3.7.14 再転写プリントフィルム巻き取りテンション設定の使用

再転写フィルムドライブは、フィルムテンションの基準値を設定します。
再転写フィルムドライブを調整しないでください。

3.7.15 レジン熱調整設定の使用

ブラックレジンテキストやバーコードが消えたり、明るすぎる場合や暗すぎる場合にこの調整を使用します。

3.7.16 スリープ時間設定の使用

この設定は、電気を節約するため、プリンタが転送ローラーの電源を切るまでの時間を調整します。「0」に設定されている場合は無効です。

注:スタンバイ時間が経過した後で、この設定のカウンタが起動します。

3.7.17 ブラッシュポイント設定の使用

ブラッシュポイントとは、プリント中の補正を示します：

- 染料は転送されません。
- カードに明るいグレーの線は表示されません。
- 白線になっているはずです。

3.7.18 LCDコントラスト設定の使用

この設定で、LCDパネル輝度が調整できます。

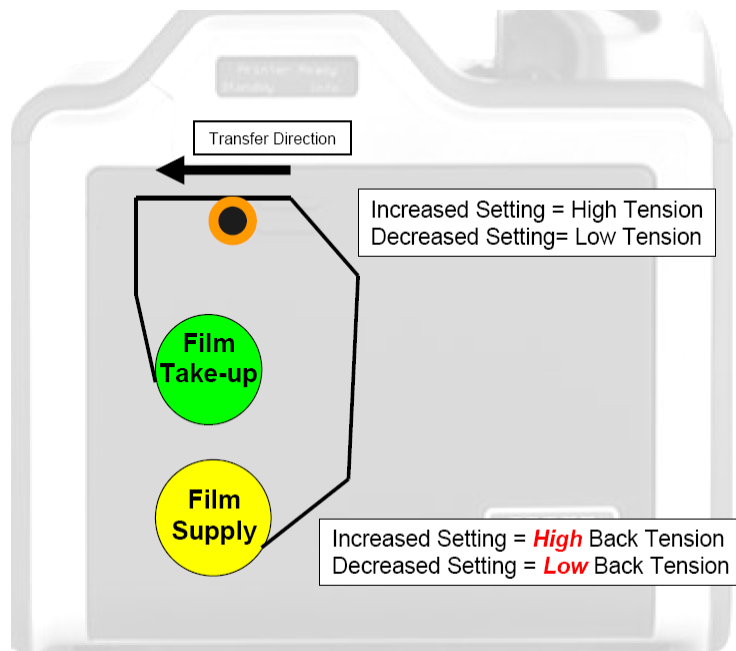
3.7.19 フィルム供給転写テンション設定の使用

調整を行うことにより、画像の長さが著しく変化します。感度が高いですから、細かく調整を行うようお勧めします。

注意：調整することによって、光沢や染みが発生することがあります。フィルム巻き取り転送テンション設定の使用

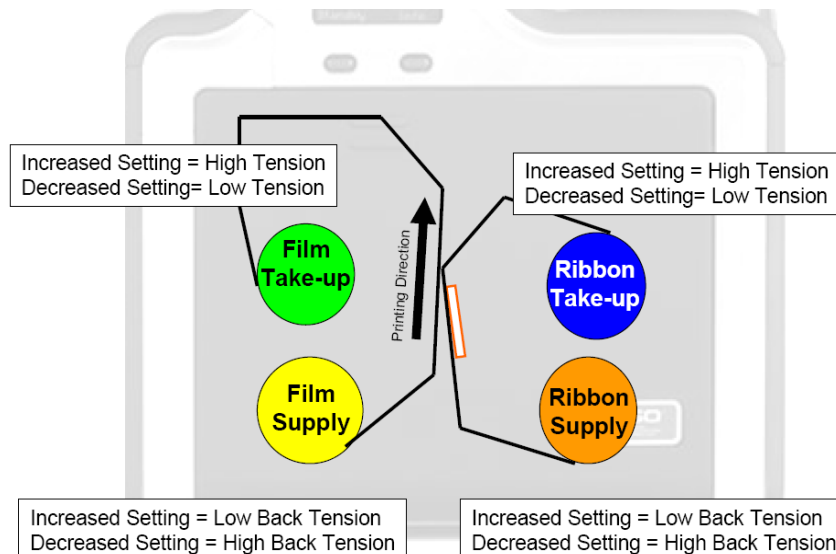
負の値に調整した場合、カードが詰まることがあります。

注：正の値に設定すると、詰まりが解消できますが、この調整をしたことにより、フラッシュやにじみに影響します。



3.7.20 基線

この設定は、フィルムテンションのベースラインを確立します。調整しないでください。この値を変更すると、画像が変形してしまいます。



3.7.21 フィルムプリント冷却レベル

この設定によって、プリントプロセス中の転写ローラー/冷却ファンの速度が制御されます。この設定はオフにしておいてください。再転写プリント冷却をオンにすると、画像中の色の染みが解消されることがあります。冷却ファンの速度が速すぎると、しみがでることがあります。

3.7.22 フィルム転写冷却レベル

この設定によって、転写プロセスにおける冷却ファンの初期設定速度が変更できます。

さらに、フィルム転写冷却レベルで、転写中のファン速度の調整できます。この設定によって、光沢や染みに影響が出ることがあります。

3.7.23 EAT ビープ音の解除

この設定は、注意音を制御し、オフにするとビープ音が鳴らなくなります

3.7.24 リボンのシワ補正の有効化

を切り替えます。「リボンのシワ補正の有効化」を使用すると、プリントヘッドの追加ピクセルが起動し、プリントプロセス中に発生するリボンのシワが解消されることがあります。

3.7.25 スタンバイ時間

この設定により、エネルギーを節約するためにプリンタの転写ローラー温度を低下させるまでの時間が調整できます。

ゼロ (0) に設定すると解除されます。設定の単位は分です

3.7.26 ビープ音の解除

3.7.27 I-パネル熱オフセット

このオプションは、不要な再転写フィルムが除去される際に使用されるエネルギーを調整するものです。調整は最小限にとどめてください。さもないと、プリントリボンやフィルムが破損することがあります。

3.7.28 ホログラム転写オフセット

このオプションによって、ホログラムオーバーラミネートオフセットが変更され、パラメータを設定させることができます。

3.7.29 スタンバイ温度設定の使用

このオプションで、プリンタがスタンバイモードになっている際の温度が変更できます。

3.7.30 Hi-Co磁力電圧オフセット設定の使用

これで、磁気ヘッドに印加される電圧が変更できます。

Hi-Co磁力電圧オフセットは工場で設定されます。この設定は技術担当者にお任せください。

3.7.31 Lo-Co磁力電圧オフセット設定の使用

このオプションで磁気ヘッドに印加される電圧が変更できます。

Lo-Co磁力電圧オフセットは工場で設定されます。この設定は技術担当者にお任せください。

3.7.32 磁気フリッパ角度オフセット設定の使用

このオプションで、フリッパーテーブルの角度が変更できます。フリッパー角度を上げると、フリッパーテーブルが時計周りに回転します。磁気フリッパ角度オフセットは工場で設定されます。この設定は技術担当者にお任せください。

3.7.33 UV 熱オフセット

この設定を使用して、UV (F) パネルのプリント明暗を調整します。数値の範囲は ± 20 です。

3.7.34 加熱遅延時間

この設定を使用すると、転写ローラーが転写開始温度に達した後に転写が開始されるまでのプリンタの待ち時間（単位：分）が調整できます。数値の範囲は0～20です。

3.7.35 リボンとフィルム節約設定の起動

この設定で、通電後のリボンとフィルムが節約できます。これを有効化すると、電源投入後に、リボンとフィルムは新しいパネルまでスキップされません。カバーの開閉動作は影響されないの、カバーを閉じるとリボンとフィルムは別のパネルまでスキップされます。

0 – 無効/1- 有効。

3.7.36 転写時の遅延時間の調整

この設定を使用して、転写中のカードの画像の長さが調整できます。値の範囲は -10 ～ +10 です。この数値を増加すると画像の長さが長くなります。

3.7.37 転写冷却遅延←日本語をお願いします

この設定を使用して、カードの第2面を転写するまでの遅延時間（単位：秒）が調整できます。値の範囲は 0 ～ 180 です。数値を増加すると遅延時間が長くなります（単位：秒）。

3.7.38 ホログラムフィルム転写リリーステンションこの設定を使用すると、ホログラム

フィルム使用時に、リリース段階におけるフィルムの逆テンションを調整することができます。マイナスの値を増加させると逆テンションが増加します。逆テンションを増加させると後端の光沢が解消できます。

3.7.39 両面転写リリースの起動

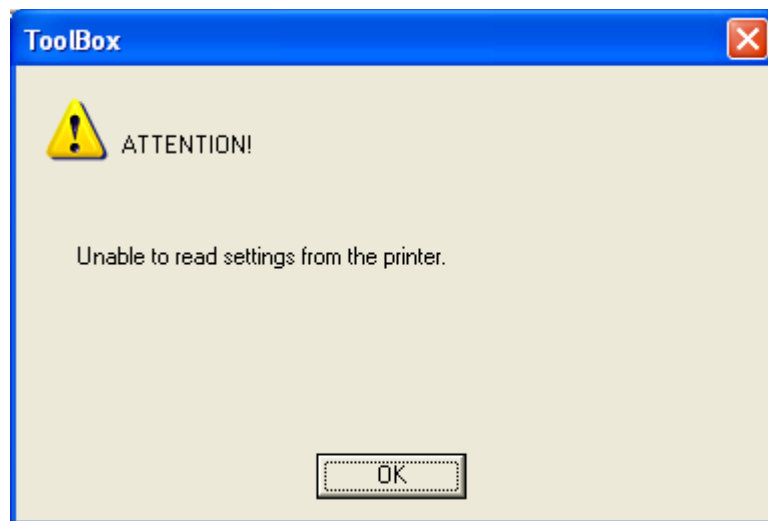
この設定を使用すると両面転写リリース作業が起動/解除できます。これを起動すると、プリンタ温度が低い場合のしみの発生が改善されます

3.7.40 近接エンコーダーカードオフセット

この設定を使用すると、ベイ2に近接エンコーダーをドッキングさせた場合に、カードの位置が微調整できます。この設定によって、カードが配置される完全ドッキング位置からのステップ数が調整されます。

3.7.41 「プリンタが接続されていません」エラーメッセージの確認

ドライバがプリンタと通信できない場合、以下のエラーメッセージが表示され、グリッドが空白になります。

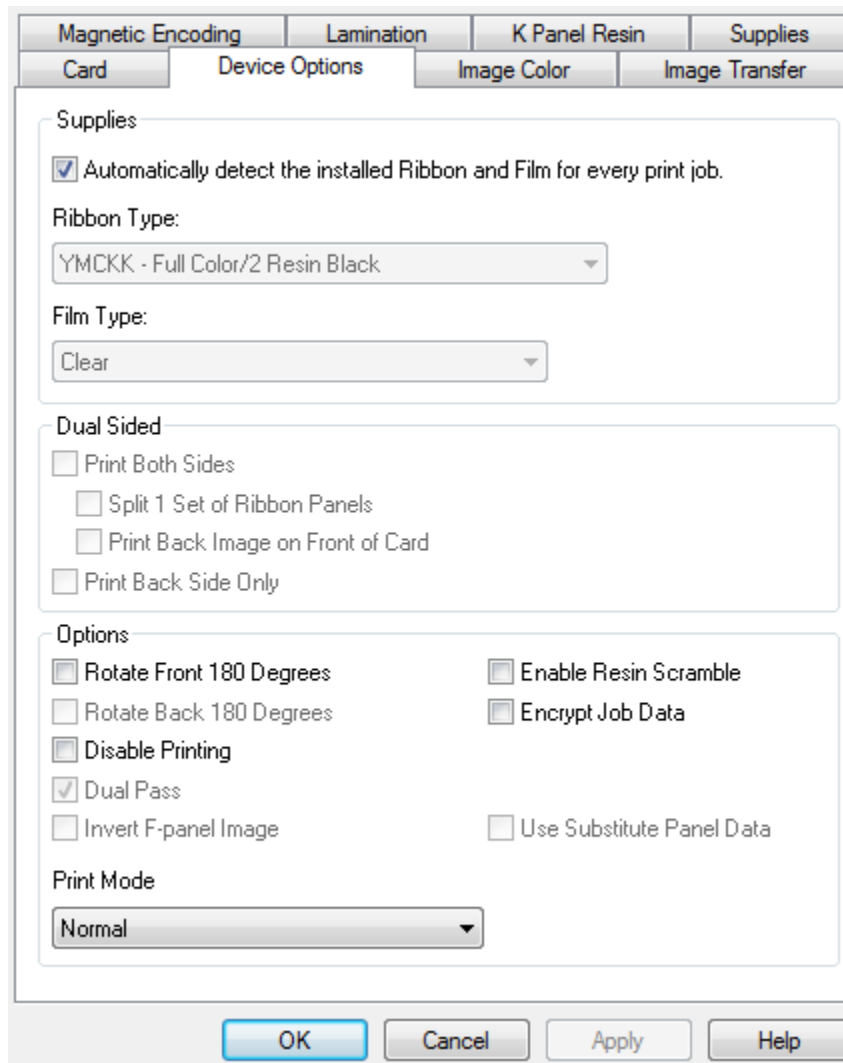


3.7.42 「値が範囲外」エラーメッセージの確認

範囲外の値を入力した場合、コントロールを閉じる際に、設定に応じてエラーメッセージが表示されます



3.8 デバイスオプション



プリント時に消耗品を検知する機能

ステップ	手順
1	リボンや再転写フィルムといった消耗品を自動的に検出するには、消耗品チェックボックスにチェックマークを入れてください。 - ファームウェアの初期化の際に、値(インストールされたリボン、転送再転写フィルム、およびラミネートを表す)が、更新されます(カバーを閉じる際も同様)。 - ファームウェアは、PRN ファイルのリボンや再転写フィルム値を値と比較します(現在インストールされている消耗品に関する値を保持する)。 値が一致しない場合、LCD が間違ったりリボンまたは間違ったフィルムエラーを表示し、ドライバがそれに対応するエラーメッセージを表示します。
2	消耗品チェックボックスにチェックが入っている場合、以下の作業が実行されます。 - リボンおよび再転写フィルムタイプドロップダウンボックスは無効で、インストールされた補給品の値が入力されます。検出された消耗品に対して、両面およびオプションが初期設定に戻されます。 - 例えば、フリップパーがインストールされていなければ、両面オプションは、使用できません。自動的に消耗品が検出されるか否かにかかわらず、この機能によって、インストールされた機能が自動的に検出されます。 - ドライバが各ジョブを開始する前に、ドライバはファームウェアから消耗品の値を取得します。 - プリンタまたはリボンが検索されない場合に、消耗品チェックボックスが有効になっていると、以前に選択されたリボンおよび再転写フィルム値はそのまま残ります。エラーメッセージが表示されます。 装置オプションタブを有効にすると、自動的にリボンおよび再転写フィルムタイプが再入力されます。(注:装置オプションタブが有効で、プリンタが検知されない場合、エラーメッセージが表示されます。)
3	消耗品チェックボックスにチェックが入っていない場合、または選択されていた状態から、選択が外された(チェックが消された)場合、リボンおよび再転写フィルムドロップダウンボックスが有効になり、自動選択されたリボンおよび再転写フィルムタイプはそのまま残ります(手動で変更されるまで)。

3.8.1 リボンの種類の調整

リボンの種類ドロップダウンメニューを使い、リボンの種類を一致させます。

ステップ	手順
1	「リボンの種類」の選択肢が、プリンタに装着されているリボンの種類と一致するように調整されます。 • YMC (フルカラー):イエロー、マゼンタ、シアン または • YMCK (フルカラー/レジンプラック):イエロー、マゼンタ、シアン、レジンプラック または • YMCKK (フルカラー/2 レジンプラック):イエロー、マゼンタ、シアン、レジンプラック、レジンプラック または • YMCKH (フルカラー/レジンプラック/ヒートシール):イエロー、マゼンタ、シアン、レジンプラックおよびヒートシール または • YMCFK (フルカラー/レジンプラック/UV 色):イエロー、マゼンタ、シアン、UV UV 色およびレジンプラック • YMCIKH、(フルカラー/禁止/レジンプラック/熱シール):黄色、マゼンタ、シアン、レジンプラック、熱シール、禁止 • YMCKI (フルカラー/レジンプラック/インヒビット):イエロー、マゼンタ、シアン、レジンプラック、インヒビット • YMCKHI, (フルカラー/レジンプラック/ヒートシール/インヒビット):イエロー、マゼンタ、シアン、レジンプラック、ヒートシール、インヒビット • YMCKIKI, (フルカラー/レジンプラック/ インヒビット/ レジンプラック/ インヒビット) • YMCK ハーフパネル • YMCKK ハーフパネル • K プレミアムレジン

3.8.2 (再転写)フィルムタイプの調整

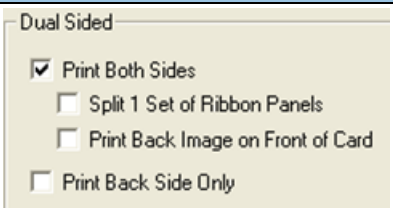
ステップ	手順
1	現在プリンタに装着されている再転写フィルムのタイプに適した再転写フィルムタイプオプションが選択できます。 「クリア」オプションを選択すると、事前定義された初期設定に最適な転送時間や温度に自動的に調整されます。(注: カードタブにノンカスタムのカードタイプが選択されている場合、このオプションを選択すると、転送温度と滞留時間が初期設定に自動的に調整されます。) または ホログラムオプションを選択すると、ホログラム再転写フィルムを機能させるために必要な内部プリンタ設定に変更されます。(注: カードタブにノンカスタムのカードタイプが選択されている場合、このオプションを選択すると、転送温度と滞留時間が初期設定に自動的に調整されます。) - 高耐久性透明再転写フィルム - 注意: これによって、必要な転写温度やドライバのドエル設定も調整され、高耐久透明再転写フィルムのパフォーマンスが最適化されます。

3.9 両面グループ機能の使用

フリップパーが自動的に検知されないか、両面プリントが手動でオフになっている場合、両面グループチェックボックスは無効になっています。

3.9.1 両面- 両面プリントオプションの使用

両面プリントが使用され、自動的にカードの両面にプリントされます。

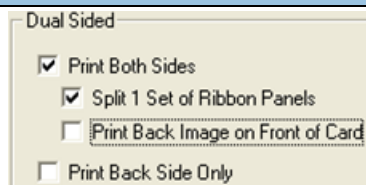
ステップ	手順
1	両面プリントをサポートするプログラムだけでなく、両面プリントも選択されます。(注: プログラムは、同一文書をプリントする際に、別々に2ページまたはそれ以上のページを送出するように設定されてなければなりません。) 
2	1 ページ目、はカードの表面に転送されます。 2 ページ目、はカードの裏面に転送されます。 このオプションを選択すると、プリンタドライバ全奇数ページをカードの表面に、全偶数ページを裏面にプリントします。

3.9.2 両面プリント-リボンパネルの1組分割オプションの使用

このオプションを使用すると、リボンパネルの1組が分割され、そのそれぞれによってカードの各面がプリントされるので、最も経済的な方法で、両面カードがプリントできます。

- このオプションは、**両面プリント**にチェックを入れると、有効になります。
- YMCKK にチェックが入っている場合を除き、初期設定は「有効」です。

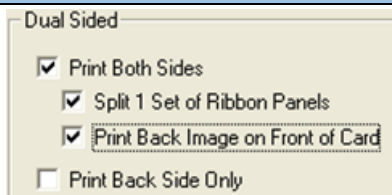
ステップ	手順
1	このオプションを選択すると、自動的に、カードの表面がフルカラーでプリントされ、カードの裏面がレジンブラックでプリントされます (YMCKK プリントリボンを使用する場合)。 YMCKK リボンを使用すると、カードの表面が YMCK パネルでプリントされ、裏面が第 2K パネルでプリントされます。 注: これは、YMCKK リボンを選択すると、自動的に有効になります。 YMCKH リボンを使用している場合には、このオプションは使用できません。



3.9.3 両面プリント-カードの表面にバックイメージプリントの使用

このオプションは、**両面プリント**にチェックを入れると、有効になります。初期設定は有効で、チェックが入っていません。

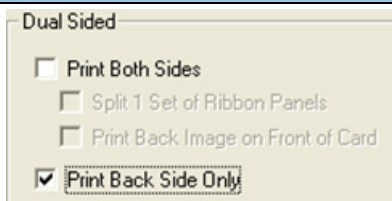
ステップ	手順
1	次の場合にこのオプションを選択ししてください。 - カードの裏面に 2 ページの文書の 1 ページ目をプリントする必要がある場合。 または - レジンブラックをスマートカードのチップ側にプリントする必要がある場合。 文書の 2 ページ目は、カードの表面にプリントされます。



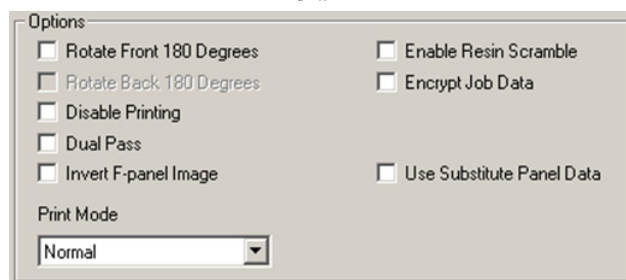
3.9.4 「両面- 裏面のみプリント」オプションの使用

このオプションを使用すると、カードの裏面のみにプリントされます。
(注:裏面のみプリントチェックボックスは、初期設定では有効で、チェックが入っていません。)

ステップ	手順
1	裏面のみプリントを選択すると、磁気ストライプまたはスマートカードチップがエンコードされた予備プリント済みカードの裏面のみがプリントされます。(注:通常通りにカードを装入してください。) - このオプションを選択すると、両面プリントオプションは、自動的に無効になります。) 2 ページの文書をプリントする際(裏面のみプリントが選択されている場合)、文書の 1 ページ目はカードの裏面にプリントされます。 - 文書の 2 ページ目は 2 枚目のカードの裏面にプリントされます。



3.9.5 オプショングループの使用



3.9.5.1 180 度回転(表面もしくは裏面)の使用

このオプションを使用すると、カードの磁気ストライプやスマートチップによって設定された位置に、画像の位置が変更されます。

ステップ	手順
1	表面を 180 度回転オプションを選択すると、カードの表面に、画像が 180 度回転された状態でプリントされます。 または 裏面を 180 度回転オプションを選択すると、カードの裏面に、画像が 180 度回転された状態でプリントされます。

3.9.5.2 プリント無効オプションの使用

このオプションを使用すると、プリンタにカードにエンコードさせたままで、プリンタのプリント機能を無効にすることができます。(注: このオプションを使用すると、時間やプリント消耗品を無駄に使用させずに、プリント済みカードをエンコードまたは再エンコードさせることができます。)

ステップ	手順
1	このオプションを選択すると、プリンタには、プリントデータは送信されません(ただし、ソフトウェア内での設定に応じたエンコードに関する指示はすべて送信されます)。 このオプションでは、カードをラミネートすることも可能です。

3.9.5.3 「デュアルパスおよび F-パネル画像の逆転」オプションの使用

94 ページのワークベンチを使用した UV データのコンフィグレーション手順をご覧ください。

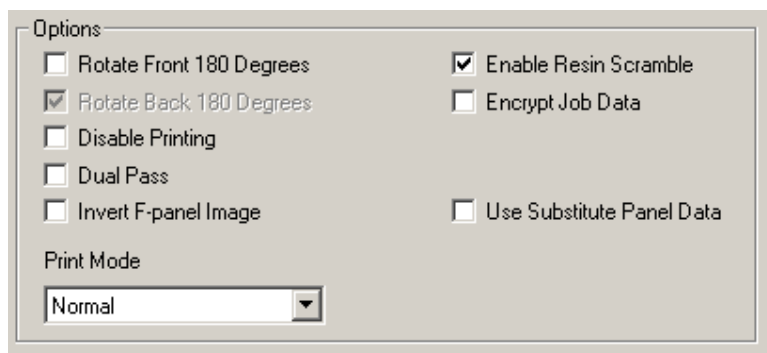
- デュアルパスオプション:** このオプションでは、HDP 再転写フィルムの別のパネルに UV 色染料が塗布できます。(注: まず、YMC インクが再転写フィルムパネルに塗布されます。次に、F および K を別のパネルに塗布します。これが実行されない場合、UV 性塗料は YMC 色と混合し、その UV 特性が劣化する可能性があります。さらに、混合状態が目で識別できない可能性もあります。

他の染料が使われている場所に UV 色画像を上からプリントする場合、または **F パネルを逆する**を選択している場合、初期設定である **デュアルパスオプション**を使用してください。

- F-パネルを逆転するオプション:** これは、画像の明るい部分や白の部分を、UV 性の色や暗い色にできる能力を示しています。この場合、プリントされたカードが紫外線にさらされても、発光しません。(注: これは、ブラックライトが照射された時に、UV 性染料の色が明るく発光できるように要望された機能です。初期設定では、画像の暗い部分は、カード上で UV を発し、明るい部分や白色の部分には染料が塗布されません。)

F-パネルを逆転するオプションを選択すると、デザイン上の黒い部分がカード上に暗い色でプリントされます。写真をプリントする場合、このオプションをおすすめします。

3.9.6 「レジンスクランプル」オプションの使用



「レジンスクランプル」によって、使用済みリボンパネルから個人データが追跡できないようになっています。これで個人情報の盗難が防止されます。

イエロー、マゼンタ、シアンおよびレジン(K)の各パネルは通常通りプリントされます。ただし、転送の前に、フィルムは、前に使用したフィルムパネルに対して逆転するので、リボンは、レジン(K)パネルの初めに巻き戻されます。

次に、ホワイトノイズ画像が、レジン(K)パネルの使用済フィルムパネルへプリントされます。次に、フィルムとリボンはもう一度逆転します。ホワイトノイズ画像がもう一度プリントされますが、最初のパスとは異なるポイントからフィルムが始まります。

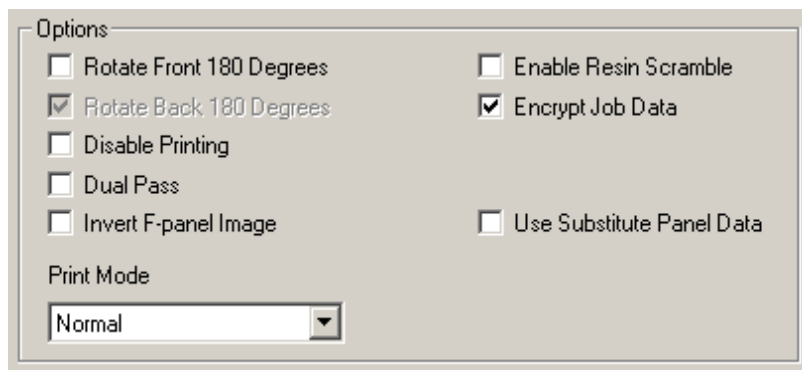
その結果、リボンにはレジンが残らず、フィルムにはスクランブル画像が残ります。

Kパネルのリボンのドライバのみ、このオプションが使用できます。

3.9.7 ジョブデータの暗号化の使用

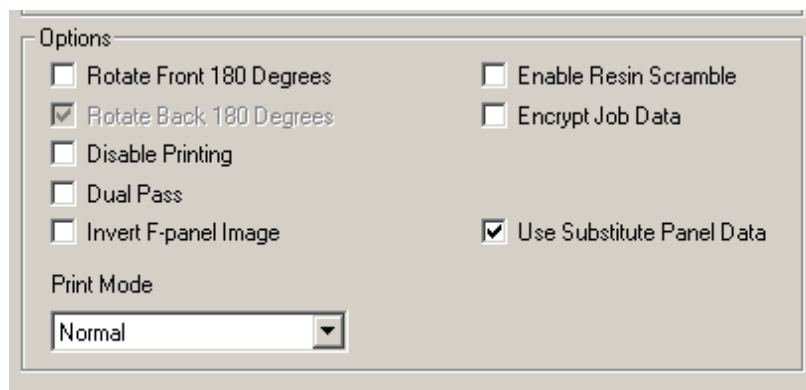
AES256暗号化により、コンピュータからプリンタへ移動したデータが保護されます。

注意：HDPii と HDPii Plus プリンタでは、自動的に「ジョブデータの暗号化」が起動します。



3.9.8 代替パネルデータの使用

Fまたは**I**パネルのリボンのドライバのみ、このオプションが使用できます。



ドライバで**分割モード**を選択し、フリッパーモジュールが装着されている場合、文書の1ページ目は、**YMC**リボンパネルでカードの表面にプリントされます。次に、2ページ目は、**F**リボンパネルでカードの表面にプリントされます。最後に、3ページ目は、**K**リボンパネルで裏面にプリントされます。

分割モードを選択せず、フリッパーモジュール装着されている場合、文書の1ページ目は、**YMC**リボンパネルでカードの表面にプリントされます。続いて、**UV**リボンパネルで、カードの表面に2ページ目がプリントされます。最後に、4ページ目は、**F**リボンパネルでカードの裏面にプリントされます。

代替パネルデータの使用」を有効にした場合の詳細は以下の通りです。

3.9.8.1 YMCFK リボン

リボン分割オン (両面)

1ページ目は**YMC**で表面に、2ページ目は**F**で表面に、3ページ目は**K**で裏面にプリントされます。WBエンタリーおよび「~」コマンドは無視されます。

リボン分割オフ (両面)

1ページ目は**YMC**で表面に、2ページ目は**F**で表面に、3ページ目は**YMC**で裏面、4ページ目は**F**で裏面にプリントされます。WBエンタリーおよび「~」コマンドは無視されます。

リボン分割オフ (片面)

1ページ目は**YMCK**で表面に、2ページ目は**F**で表面にプリントされます。WBエンタリーおよび「~」コマンドは無視されます。

3.9.8.2 YMCKI リボン

リボン分割オン (両面)

1ページ目はYMCで表面に、2ページ目はFで裏面に、3ページ目はIで裏面でプリントされます。WBエントリーおよび「~」コマンドは無視されます。

リボン分割オフ (両面)

1ページ目はYMCKで表面に、2ページ目はIで表面に、3ページ目はYMCKで裏面に、4ページ目はIで裏面でプリントされます。WBエントリーおよび「~」コマンドは無視されます。

リボン分割オフ (片面)

1ページ目はYMCKで表面に、2ページ目はIで表面にプリントされます。WBエントリーおよび「~」コマンドは無視されます。

3.9.8.3 YMCKIKI リボン

リボン分割 ON (デュープレックス)

1ページ目は表面に YMCK で、2 ページ目は表面に I で、3 ページ目は裏面に K で、4 ページ目は裏面に I でプリントされます。

リボン分割 OFF (デュープレックス)

1ページ目は表面に YMCK で、2 ページ目は表面に I で、3 ページ目は裏面に YMCK で、4 ページ目は裏面に I でプリントされます。

リボン分割 OFF (片面)

1ページ目は表面に YMCK で、2 ページ目は表面に I でプリントされます。

3.9.9 代替パネルデータの使用-解除

3.9.9.1 YMCfK リボン

3.9.9.2 リボン分割オン (両面)

1ページ目はYMCで表面に、2ページ目はKで裏面にプリントされます。Fパネルは、「~」コマンドもしくはWBエントリーで表面にプリントされます。

3.9.9.3 リボン分割オフ (両面)

1ページ目はYMCKで表面に、2ページ目はYMCKで裏面にプリントされます。Fパネルは、「~」コマンドもしくはWBエントリーで表面もしくは裏面にプリントされます。

3.9.9.4 リボン分割オフ (片面)

1ページ目は表面に YMCK でプリントされます。

3.9.9.5 YMCKI リボン

リボン分割オン (両面のみ)

1ページ目はYMCで表面、2ページ目はKで裏面にプリントされます。WBエントリーおよび「~」コマンドは無視されます。

リボン分割オフ (両面)

1ページ目はYMCKIで表面、2ページ目はYMCKIで裏面にプリントされます。WBエンタリーおよび「~」コマンドは無視されます。

リボン分割オフ (片面)

1ページ目はYMCKIで表面にプリントされます。WBエンタリーおよび「~」コマンドは無視されます。

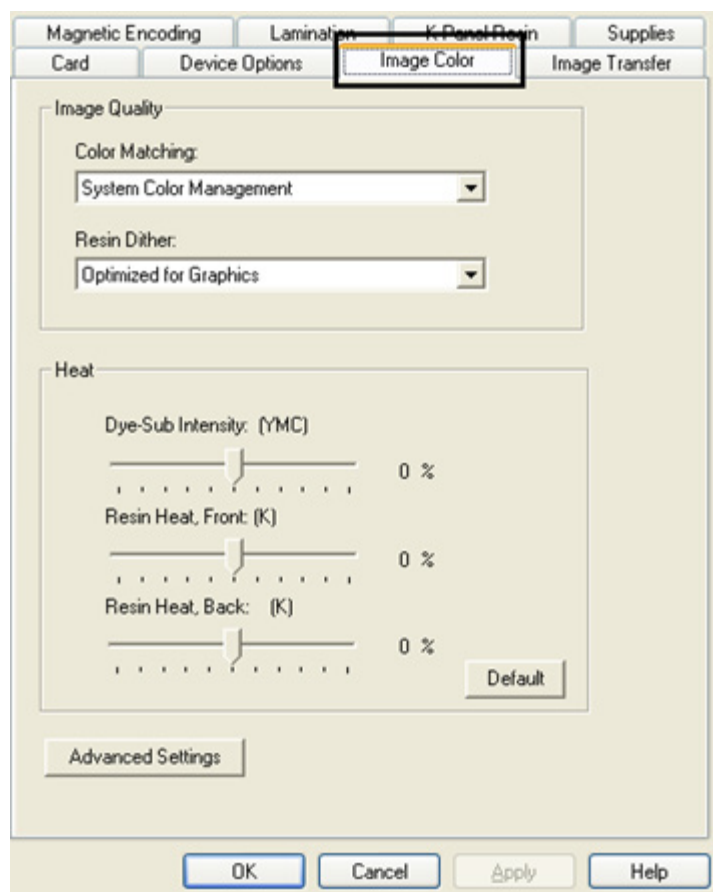
3.9.10 プリントモードの使用

プリントモードには二種類あります。(パフォーマンスおよび通常)

- 通常プリントモード (初期設定)。
- パフォーマンスプリントモードは比較的低い画質で高速にプリントし、ほとんどのレジネテキストを最小限の色でプリントする場合に最適です。

3.10 イメージカラー

このタブを使用し色のプロパティを調整します。(注:プリンタのプリント設定ウィンドウには、プリンタ-LC プリント設定ウィンドウと同じ**画像色**タブ機能があります。)



ステップ	手順
1	「システムカラー管理」カラーマッチングオプションを選択し、イエロー、マゼンタ、シアンの各カラーバランスや、プリント画像の鮮明さ、コントラストおよびガンマ値をコントロールします。

3.10.1 画質カラーマッチングの使用-

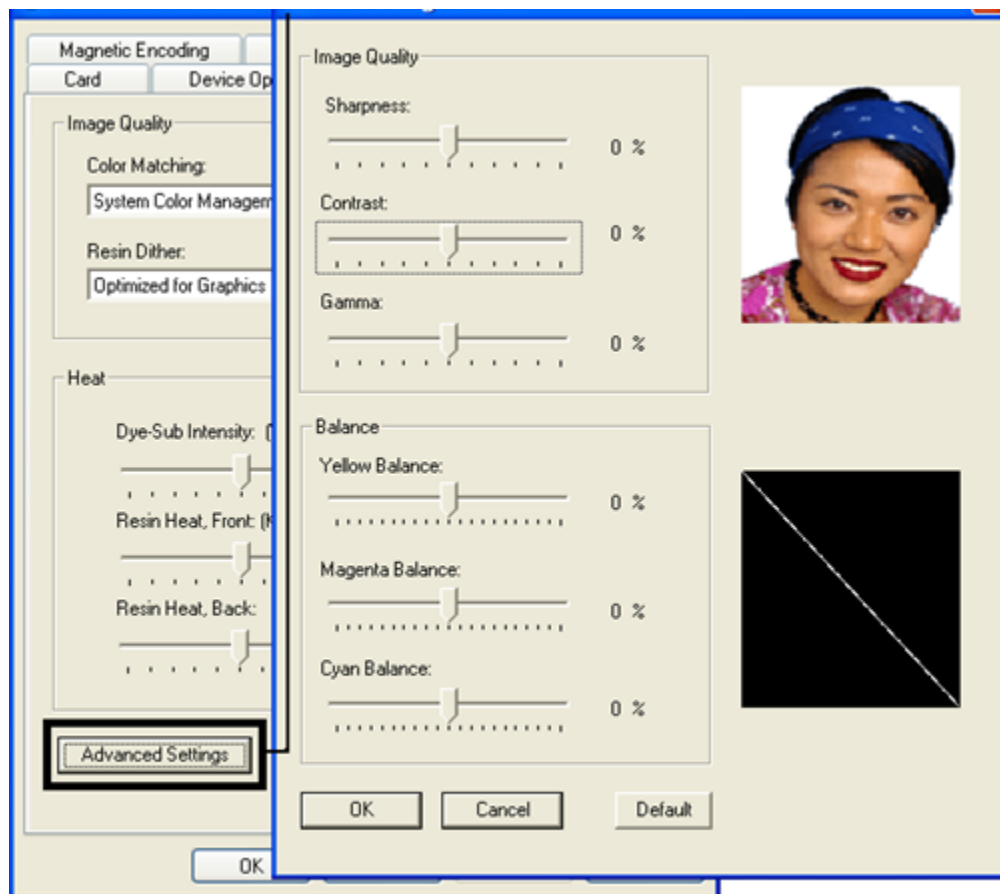
ステップ	手順
1	使用しないを選択します プリントカラーよりもプリント速度を向上させたい場合、プリント画像の色補正が既に行われている場合、または他のカラーマッチングソフトウェアを使用している場合。 または システムカラー管理を選択すると、プリンタドライバは、代数オプションと同等ではあるが複雑なカラーマッチングアルゴリズムを使用した色補正が実行することができます。注:このオプションを使用すると、色が変化し、画像の色は、画面上に表示される色に近くなります。
2	カラー濃度スライドを調整し、ダイサブプリント画像の全体的な暗さと明るさをコントロールします。 スライドを左へ動かすと、プリント工程で使う熱量が減り、明るいプリントになります。 または スライドを右へ動かすと、プリント工程で使う熱量が増え、暗いプリントになります。 注:このスライドは、ダイサブリボンパネル(YMC)でプリントされた画像にのみ影響します。
3	レジン熱量スライドを調整すると、プリンタがレジンブラックパネルでプリントする際に使用する熱量がコントロールできます。 スライドを左へ動かすと、プリント工程で使う熱量が減り、レジン画像が明るくなります。すなわち、彩度が下がります。 または スライドを右へ動かすと、プリント工程で使う熱量が増え、レジン画像が暗くなります。すなわち、彩度が上がります。 (注:このコントロールは、レジンテキストおよびバーコードの鮮明さの微調整に便利です。)
4	必要であれば、初期設定ボタンをクリックすると、すべてのオプションが工場設定に戻ります。

3.10.2 レジンのディザ処理の調整

プリントする画像の種類に応じて、適切なディザ処理方法を選びます。(注:このオプションは、カードの裏面にYMCK、YMCKKおよびYMCKIプリントリボンのレジンブラックパネルでプリントしたものにも影響します。これは、1枚以上のKパネルを使用し、パネルの1セットを分割した両面プリントを有効にすると起動されます。)

ステップ	手順
1	レジンで低い画質の画像をプリントする (例、クリップアート、ロゴなど) 場合、グラフィック用に最適化を選択します。 または レジンで写真品質の画像をプリントする場合、写真用に最適化を選択します。

3.10.3 高度な画像色ウィンドウの使用

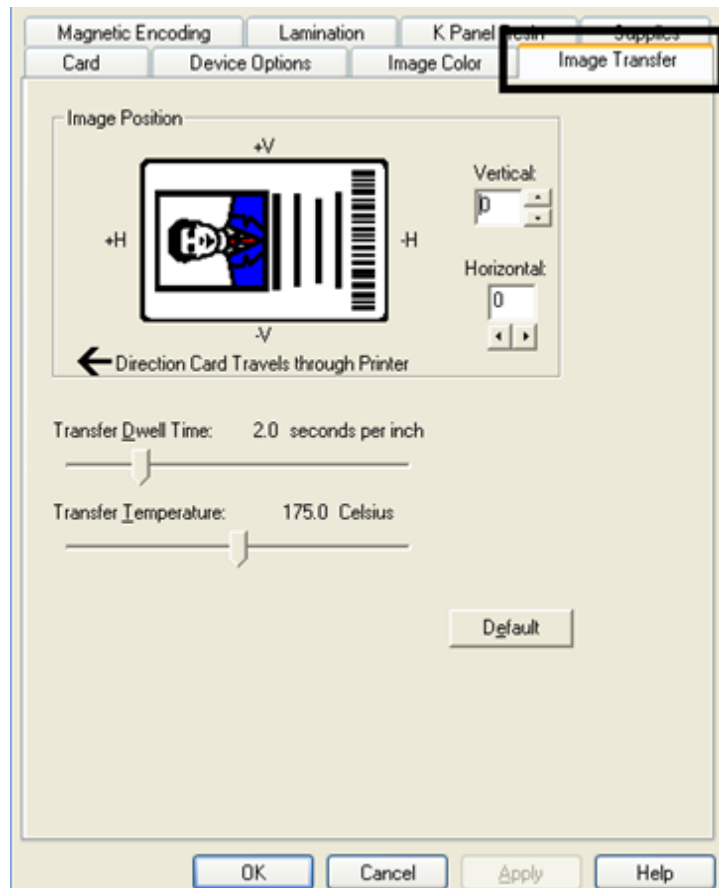


ステップ	手順
1	詳細設定をクリックし、高度な画像色ウィンドウを出します。
2	OK をクリックすると、(このスライダーバーで) 初期設定の変更が受諾され、「画像色」タブウィンドウに戻ります。 キャンセル をクリックすると、スライドの変更が保存されず、「画像色」タブウィンドウに戻ります。 初期設定 をクリックすると、変更がクリアされ、このウィンドウの変更が初期設定に戻ります。 その他の指示: シャープネス (初期設定は 0%): スライドを左へ動かしてマイナスの値にすると、シャープネスが低下します。スライドを右へ動かしてプラスの値にすると、プリント画像のシャープネスが増加します。画像 (右側) を分析して、シャープネスが適切あるか否かを判断してください。 コントラスト (初期設定は 0%): スライドを左へ動かしてマイナスの値にすると、コントラストが低下します。スライドを右へ動かしてプラスの値にすると、プリント画像のコントラストが上昇します。画像 (右側) を分析して、コントラストが適切あるか否かを判断してください。 ガンマ値 (初期設定は 0%): スライドを左へ動かしてマイナスの値にすると、ガンマ値が低下します。スライドを右へ動かしてプラスの値にすると、プリント画像のガンマ値が上昇します。画像 (右側) を分析して、ガンマ値が適切あるか否かを判断してください。

ステップ	手順
3	バランススライダーバーの設定については、以下をご覧ください。 OKをクリックすると、(このスライダーバーで)初期設定の変更が受諾され、「画像色」タブウィンドウに戻ります。 キャンセルをクリックすると、スライドの変更が保存されず、画像色タブウィンドウに戻ります。 初期設定をクリックすると、変更がクリアされ、このウィンドウの変更が初期設定に戻ります。 追加の指示: イエローバランス (初期設定は 0%): スライドを左へ動かしてマイナスの値にすると、黄色のバランスが弱くなります。スライドを右へ動かしかしてプラスの値にすると、黄色のバランスが強くなります。画像(右側)を分析して、黄色のバランスが適切あるか否かを判断してください。。 マゼンタバランス (初期設定は 0%): スライドを左へ動かしてマイナスの値にすると、マゼンタのバランスが弱くなります。スライドを右へ動かしかしてプラスの値にすると、マゼンタのバランスが強くなります。画像(右側)を分析して、マゼンタのバランスが適切あるか否かを判断してください。。 シアンバランス (初期設定は 0%): スライドを左へ動かしてマイナスの値にすると、シアンのバランスが弱くなります。スライドを右へ動かしてプラスの値にすると、シアンのバランスが強くなります。画像(右側)を分析して、シアンのバランスが適切あるか否かを判断してください。
4	初期設定をクリックすると、このウィンドウの変更が初期設定に戻りますが、高度な画像色ダイアログボックスは変更されません。

3.11 イメージ転写

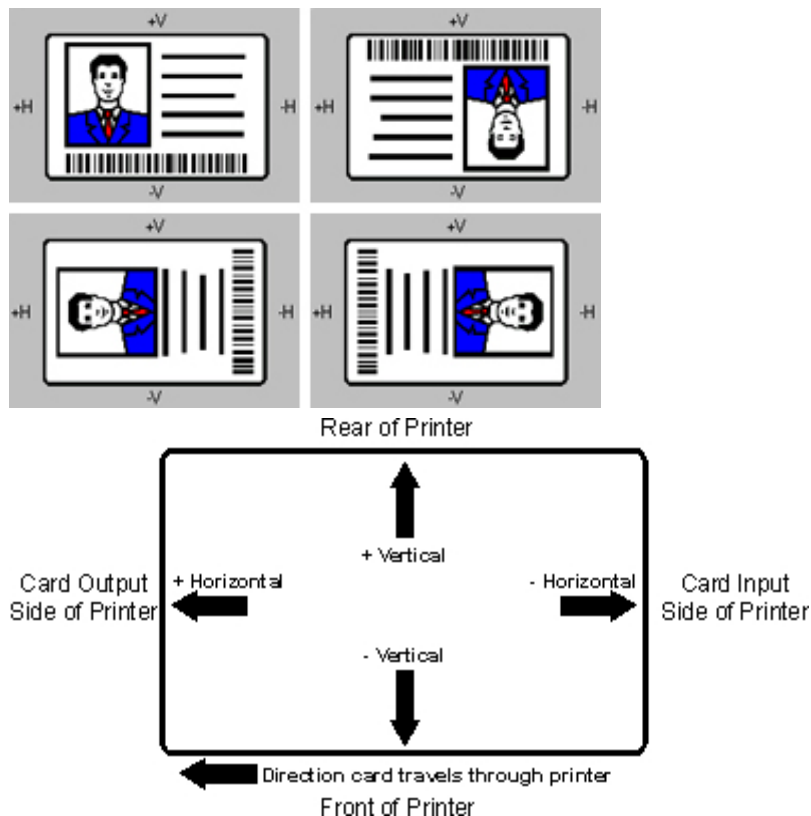
このタブを使用し、**イメージ位置**、**転送滞留時間**および**転送温度**を調整します。(注: プリンタのプリント設定ウィンドウには、プリンタ-LC プリント設定ウィンドウと同じ「画像色」タブ機能があります。)



3.11.1 画像の位置コントロールの調整

画像の位置コントロールを使用し、カード上の画像の位置を決めます(調整用)。

画像の位置にプラスまたはマイナスの値を入力すると、カードの固定位置に対する画像の位置が変化します。



ステップ	手順
1	垂直および水平調整矢印をクリックし、イメージ位置値を調整します。 • これらは、画像の方向に関係なく、カードがプリンタ内で常に同じ位置を通るようにするための値です。 • カードの図 (画像位置ボックスに表示) は、縦、横、180度回転の選択に応じて、フリップされ回転します。 • 図の輪郭は常に横方向のままです。
2	垂直調整にプラスの数字が入力されるとプリンタの前面へ、マイナスの数字が入力されるとプリンタの背面へ、画像が移動します。 または 水平調整に、プラスの数字が入力されるとプリンタのカード排出側に、マイナスの数字が入力されるとプリンタのカード装入側に、画像が移動します。 注: 垂直および水平調整範囲の最大値は、± 100 ピクセル (10 ピクセル = 0.03 (0.8mm)) です。

3.11.2 転送滞留時間および温度の調整

画像転送を使用して、転送滞留時間と温度を調整します。

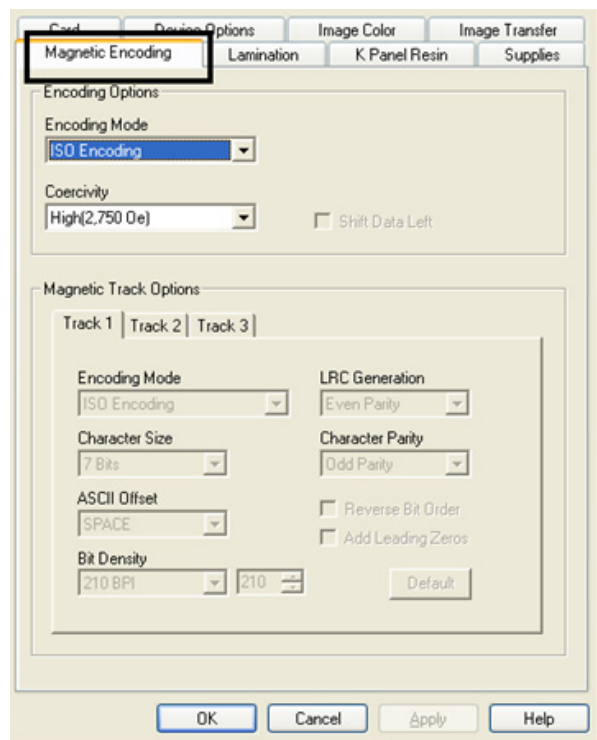
- これらの設定で、プリント画像が再転写フィルムからカードへ転送される際の速度と温度が調整されます。これらの設定はカードタイプに応じて変化します。
- プリンタドライバは、**カードタイプオプション**で行われた選択に応じて、これらの設定を自動的に最適化します。
- 滞留時間と温度設定に対して行われた変更は、選択された**カードタイプオプション**に保存されます(プリンタのコントロールパネルから**プリンタドライバセットアップ**を閉じたときに変更される)。

ステップ	手順
1	転送滞留時間は再転写フィルム転送の滞留時間を設定します。最小 = 1.0 秒/インチ、最大 = 3.0 秒/インチ - ウルトラカード III – コンポジット: 初期設定 = 2.0 秒/インチ - ウルトラカード- PVC: 初期設定 = 2.0 秒/インチ - カスタム: 初期設定 = 2.0 秒/インチ
2	転送温度は再転写フィルム転送の温度を設定します。最小 = 150.0 °C、最大 = 210.0 °C - ウルトラカード III – コンポジット: 初期設定 = 175.0 °C - ウルトラカード- PVC: 初期設定 = 175.0 °C - カスタム: 初期設定 = 175.0 °C
3	初期設定ボタンをクリックすると、選択したカードタイプが工場初期設定に戻ります。 カードタイプ光沢 PVC またはマット PVC オプション以外のカードを使用する場合、カードタイプカスタムオプションから 1 つ選択してください。
4	画像が正しく転送されるように、滞留時間と温度設定を調整します。転送滞留時間および転送温度を初期設定にし、カードストックに対して適切な設定を決定します。カードをプリントします。 - 再転写フィルムが正しく転送されない場合、これらの設定を調整してください。または - 再転写フィルムが正しく転送された場合、テープテストと呼ばれる最終耐久性試験を行います。
5	初期設定ボタンを使用し、現在選択されているカードタイプの転送滞留時間と転送温度を初期設定にリセットします。

3.12 磁気エンコードタブの使用

プリンタにオプションのストライプエンコードモジュールがインストールされている場合のみ、これらのオプションが使用できます。

(注:エンコーダが検出されない場合は、タブは有効ですが、全ての機能は灰色で表示され、使用できません。)



ステップ	手順
1	磁気エンコードタブを選択し、磁気ストライプエンコードプロセスをコントロールするオプションを表示します。(注:以下はこれらのオプションとプリンタの磁気エンコードプロセスに適用されます。)

3.12.1 エンコードモードオプションを使用し、磁気エンコードを指定します

カテゴリー	説明
磁気エンコードオプション (変更および修正)	これらの磁気エンコードオプションを正しく調整して、エンコードモードおよび保磁力設定を変更したり、トラック 1、2、3 の ISO 規格を変更します。
ISO エンコードモード選択 (機能を有効または無効にする)	ISO エンコード を選択すると、フォーマット済の文字セットが送信されます。(注: これを選択するとトラックタブが起動します。ただし、トラックタブの全機能が無効 (灰色) になり、ISO 初期設定が表示されます。これは、下の各トラックに列記されている初期設定です。 データを左側へ移動 チェックボックスにチェックは入らず、無効のままになります。)
カスタムエンコードモード選択 (機能を有効または無効にする)	カスタムエンコードを選択した場合、オプションはすべてアクティブになります。デフォルトは ISO エンコードです。(注: 初期設定は、ISO エンコード初期設定と同様です。ただし、磁気トラックオプションタブの全ての機能は有効になります。)
RAW バイナリエンコードモード選択 (機能を有効または無効にする)	RAW バイナリエンコードを選択すると、フォーマットされた文字セットではなく生のバイナリ文字列が送信されます。(注: 生のバイナリエンコードが選択されている場合、保磁力ドロップダウン機能が有効になり、ビット記録密度、文字サイズ、逆ビット順序および先行ゼロの追加も有効となり、各トラックに対して設定可能となります)。 逆ビット順序が使用され、文字ビットは逆転し、特定のプログラムにおけるデータの暗号化に使用されます データの暗号化用プログラムにおけるエンコード済みデータの始点を移動させるには、先行ゼロを追加するを使用し、磁気文字列に先行ゼロの組番号を追加します。 RAW 磁気エンコード ドライバから生の磁気エンコードを選択できます。 保磁力 ドライバから保磁力のオプションが選択できます。 (低、中、高、最高) 生のビット記録密度 設定可能なビット記録密度オプションを選択できます。このオプションは、以下の標準設定可能ビット記録密度をサポートします: 75 ビット/インチ(BPI) 128 BPI 210 BPI カスタム BPI トラックあたりの生のビット記録密度 各磁気エンコードトラックの設定可能なビット密度、文字サイズ、逆ビット順序、先行ゼロの追加の各オプションが選択できます。
JIS II エンコードモード選択 (機能を有効または無効にする)	JIS II エンコードを選択した場合、特定の標準が使われます。(注: この選択肢では磁気トラックオプション (磁気トラックオプション) タブがすべて無効になります。また、保磁力ドロップダウン機能およびデータを左側へ移動チェックボックスオプションも無効になります。) デフォルトの保磁力は 600 Oe(エルスデット)です。

3.12.2 抗磁力/磁気トラックの選択

トラック1、2、3では、高保磁力カードまたは低保磁力カードのエンコード機能**ISO**オプションを使用します。これは磁気エンコードの業界標準モードです。

ステップ	手順
1	保磁力オプション Oe(エルステッド)を選択し、カードタイプに適した磁気ストライプの種類を使用します。 高保磁力～超高保磁力= 2750～4000 Oe（高保磁力ウルトラカード IIIs は 2750 Oe です） 中保磁力= 600 Oe 低保磁力 = 300 Oe
2	磁気トラックの選択オプションを選択し、磁気トラックオプションでどのトラックをコンフィグレーションするかを指定します(使用されているアプリケーションが、標準 ISO エンコードプロセスのカスタマイズを必要とする場合)。

3.12.3 「データを左側へ移動」機能の確認

これが選択されていると**データを左側へ移動**オプションが使用されます。これは、全てのトラックに適用されます。(注:初期設定では、このオプションにチェックが入っていません。)

ステップ	手順
1	記録済み磁気データをカードの磁気ストライプの左側に移動するには、このオプションを選択してください。(注:これは、カードをインサートタイプのリーダーで読み取りたい場合に便利です。)

3.12.4 文字サイズボタンの使用

このオプションを使用すると、現在選択されているトラックの磁気データをエンコードする際に使用される文字データサイズ（ビット/文字）がカスタマイズされます。注:この文字サイズは、パリティビットを含みます(有効な場合)。

ステップ	手順
1	11 文字当たりのビット数を 4 BPC に変更するには 4 ビット を選択してください。 11 文字当たりのビット数を 5 BPC に変更するには 5 ビット を選択してください。(注:トラック 2 と 3 では、これが初期設定となります)。 または 1 文字当たりのビット数を 7 BPC に変更するには 7 ビット を選択してください。(注:トラック 1 では、これが初期設定となります)。 または 1 文字当たりのビット数を 8 BPC に変更するには 8 ビット を選択してください。

- ASCII オフセットドロップダウンリストの使用
- このオプションを使用すると、現在選択されているトラックの磁気データをエンコードする際に使用される文字 ASCII オフセットがカスタマイズされます。(注:トラックにエンコードする前に、各磁気ストライプデータ文字の ASCII 値からこの文字オフセット値が減算されます。)

ステップ	手順
1	• なしを選択すると、ASCII オフセットが null に変更されます。 または • スペースを選択すると、ASCII オフセットが空白に変更されます。(注:トラック 1 では、これが初期設定値となります) または • ゼロを選択すると、ASCII オフセットがゼロに変更されます。(注:トラック 2 と 3 ではこれが初期設定となります)

3.12.5 ビット記録密度ドロップダウンリストの使用

現在選択されているトラックの磁気データをエンコードする際に使用されるビット記録密度 (ビット/インチ) をカスタマイズするには、このオプションを使用します。

以下は、初期設定 ISO 標準を説明します。

ステップ	手順
1	75 BPI を選択すると、ビット/インチが 75 BPI に変更されます。(注:トラック 2 ではこれが初期設定値です) または 128 BPI を選択すると、ビット/インチが 128 BPI に変更されます。 または 210 BPI を選択すると、ビット/インチが 210 BPI に変更されます。(注:トラック 1 と 3 ではこれが初期設定値です) または カスタム BPI を選択すると、カスタム BPI テキストボックスが有効化されます。(注:この値の下限は 75 で、上限は 210 です)

LRC生成ドロップダウンリストの使用

LRC生成モードをカスタマイズするにはこのオプションを使用します(現在選択されているトラックに磁気データをエンコードする際に使用)。

ステップ	手順
1	LRC なしを選択すると、LRC の生成は「なし」に変更されます。 または 偶数パリティを選択すると、LRC の生成が偶数パリティに変更されます。(注:全部のトラックで、これが初期設定値です) または 奇数パリティを選択すると、LRC の生成が奇数パリティに変更されます。

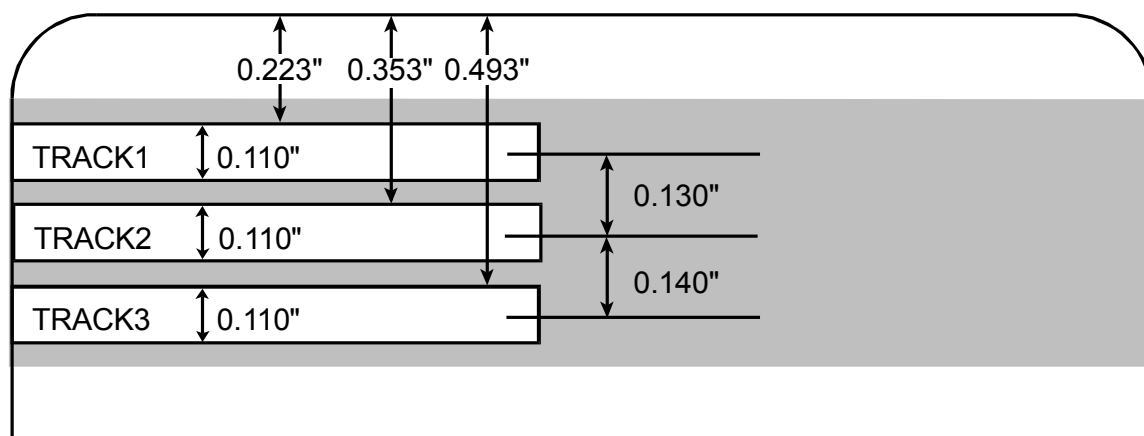
3.12.6 文字パリティモードドロップダウンリストの使用

このオプションを使用すると、エンコードモードがカスタマイズできます (現在選択されているトラックの磁気データをエンコードする際に使用)。

ステップ	手順
1	パリティなしを選択すると、文字パリティが「なし」に変更されます。 または 偶数パリティを選択すると、文字パリティが偶数パリティに変更されます。 または 奇数パリティを選択すると、文字パリティが奇数パリティに変更されます。(注: 全部のトラックで、これが初期設定値です。)

3.12.7 ISOトラック位置の説明

磁気エンコードモジュールは、ISO 7811-2に従って磁気ストライプをエンコードします。



3.12.8 トラック情報の送信

磁気トラックデータは、アプリケーションソフトからプリンタドライバーに、テキスト文字列の形で送信されます。

- プリンタドライバーが磁気トラックデータとプリント可能なオブジェクトのその他のデータを区別できるようにするためには、エンコードされる磁気データに、特定の文字を追加しなければなりません。
- これらは、エンコードされるデータおよびエンコードするトラックを指定し、データ文字列の開始点と停止点をマーキングします。
- 場合によっては、ID ソフトウェアアプリケーションによって、トラックデータの文字列に、これらの特定の文字が自動的に追加されます。
- しかし、大部分の場合、磁気トラックデータの文字列に、これらの文字を慎重に追加しなければなりません。これらの文字がトラックデータに追加されない場合、磁気トラック用のテキストがカード上にプリントされてしまいます。
- これを避けるには、説明したように、トラック情報を入力してください。

ステップ	手順
1	トラックデータを入力する場合、~ (チルダ) の文字が最初に入力され、続いてデータがエンコードされるトラック番号 (1、2 あるいは 3) が入力されます。エンコードされるデータがこれに続きます。 - このデータ文字列の最初の文字はトラックの特定の開始センチネル (SS) でなければなりません。また、最後の文字は特定の終了センチネル (ES) でなければなりません。 - SS と ES の間にある文字やデータは、各トラックに特有の有効な文字をすべて含みます。 - ただし、これらの文字数は各トラックの最大文字容量によって制限されます。 - トラックデータの間には、適切なフィールドセパレーター (FS) が使用されなければなりません。下記の表は SS、ES、FS、および各トラック用に定義された有効な文字を示します。

3.12.8.1 サンプル文字列の説明

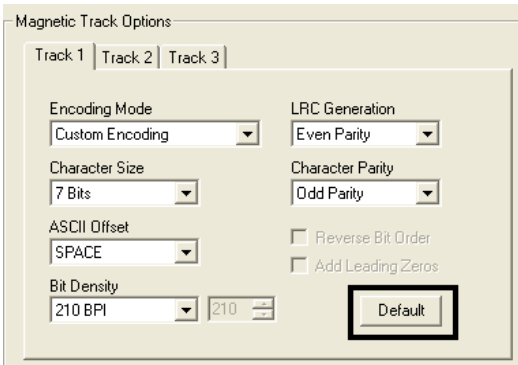
- トラック 1: ~1%JULIEANDERSON^1234567890?
- トラック 2: ~2;1234567890987654321?
- トラック 3: ~3;1234567890987654321?

トラック	開始センチネル	終了センチネル	フィールドセパレーター	有効な文字	文字の最大数
トラック 1	%	?	^	ASCII 32-95 (以下の表をご覧ください)	78
トラック 2	;	?	=	ASCII 48-63 (以下の表をご覧ください)	39
トラック 3	;	?	=	ASCII 48-63 (以下の表をご覧ください)	106

3.12.9 ASCIIコードおよび文字表の説明

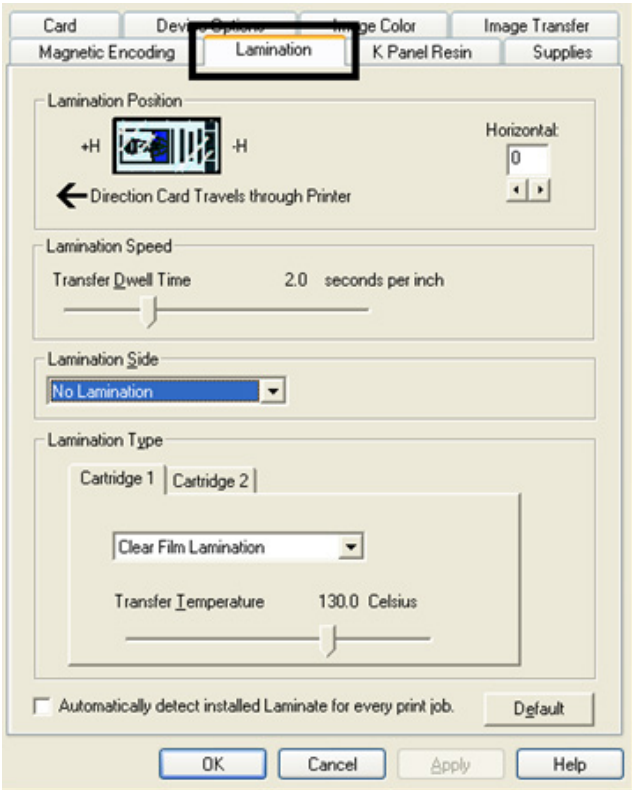
ASCII コード	文字	ASCII コード	文字	ASCII コード	文字
32	スペース	56	8	80	P
33	!	57	9	81	Q
34		58	:	82	R
35	#	59	;	83	S
36	\$	60	<	84	T
37	%	61	=	85	U
38	&	62	>	86	V
39	'	63	?	87	W
40	(	64	@	88	X
41	)	65	A	89	Y
42	*	66	B	90	Z
43	+	67	C	91	[
44	,	68	D	92	\
45	-	69	E	93	]
46	.	70	F	94	^
47	/	71	G	95	_
48	0	72	H		
49	1	73	I		
50	2	74	J		
51	3	75	K		
52	4	76	L		
53	5	77	M		
54	6	78	N		
55	7	79	O		

3.12.10 初期設定ボタンの使用

ステップ	手順
1	初期設定ボタンを使用すると、「現在のトラック」タブのみが初期設定にリセットされます。 

3.13 ラミネート

このオプションを使用すると、特定のプリンタ機能が制御できます。これらのオプションで、プリンタのラミネートプロセスが制御できます。(注:ラミネート装置が検出されない場合、ラミネート加工タブは有効ですが、全ての機能は灰色で表示され、使用できません。)



3.13.1 ラミネート加工位置の選択

ステップ	手順
1	ラミネート加工位置を使用すると、PolyGuard オーバーラミネートの水平位置が調整できます。(注:オーバーラミネートの水平位置の調整を除き、このコントロールは、イメージ位置コントロールと同様に機能します。) - ラミネート位置を調整するには、水平調整矢印をクリックしてください。 - オーバーラミネートをプリンタのカード排出側へ移動するには、プラスの値を入力します。 - オーバーラミネートをさらにプリンタのカード装入側へ移動するには、マイナスの値を入力します。(注:パッチ方向を示す調整矢印は、カード上を移動します。水平方向の調整範囲の最大値は±100 ピクセルです(10 ピクセル=約 0.03/0.8mm)。初期設定は 0 です。

3.13.2 ラミネート加工速度 - 転送滞留時間の調整

ステップ	手順
1	転送滞留時間を調整すると、ラミネート加工滞留時間(秒/インチで表わしたカードのスループット速度)とラミネート加工温度が設定できます。 - 初期設定 = 2.0 秒/インチ - 最大 = 5.5 秒/インチ - 最小 = 0.8 秒/インチ

3.13.3 ラミネート加工サイドドロップダウンメニューの選択

ステップ	手順
1	- プリンタの内蔵ラミネート装置を使用したくない場合は、ラミネート加工なしを選択します。 - 表面ラミネート加工、裏面ラミネート加工、両面ラミネート加工または反対側のラミネートを選択し、ラミネートするカードの面を指定します。

3.13.4 ラミネート加工種類の選択

ステップ	手順
1	現在インストールされているラミネート加工メディアの種類に応じて、ラミネート加工種類オプションから1つを選択します。ドライバは、2種類のオーバーラミネートをサポートしています:再転写フィルム、ラミネート加工および PolyGuard ラミネート加工。それぞれのカスタムバージョンも利用できます。 「熱転写フィルムオーバーラミネート」タイプがラミネート加工モジュールにインストールされている場合は、透明ラミネート加工オプションを選択してください。 - パッチの厚さに応じて、0.6 PolyGuard ラミネート加工オプションまたは 1.0 PolyGuard ラミネート加工オプションを選択してください。(注:これらの熱量設定とラミネート加工速度は異なります。使用している PolyGuard 材料の厚さに応じて適切なオプションを選択します。) - 登録済の熱転写フィルムを使用する場合、登録済フィルムラミネート加工選択してください。 - PolyGuard 交互パッチおよびホログラムフィルムラミネート加工はオプションです。

3.13.5 初期設定ボタンの選択

ステップ	手順
1	初期設定をクリックすると、使用中のラミネート加工の種類に応じて、転送滞留時間と転送温度が初期設定に戻ります。

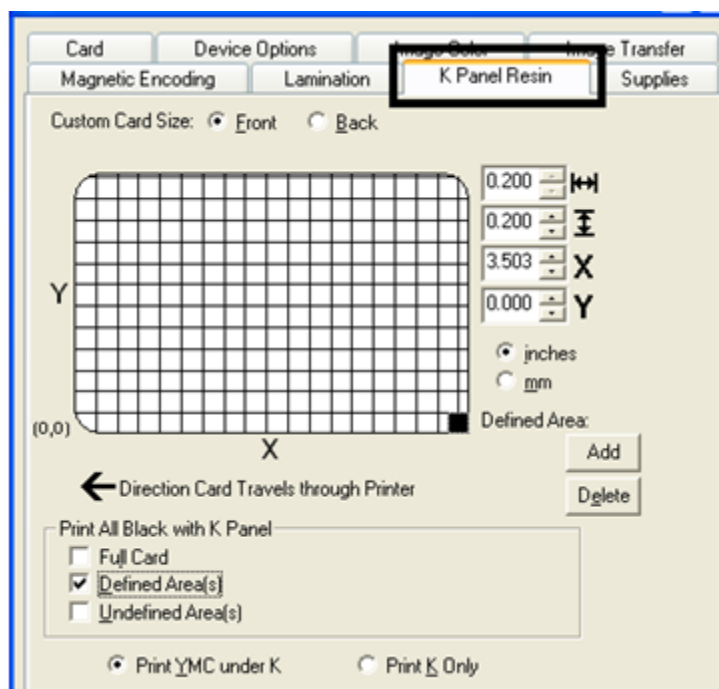
3.13.6 「自動検出ラミネート」ボタンを選択する

ステップ	手順
1	自動検出にチェックマークを入れると、プリンタドライバにラミネート値を補正させることができます。
2	自動検出にチェックマークを入れないと、ラミネート値が一致せず、LCD に間違ったラミネートエラーが表示されます。

3.14 K パネルレジスタブの使用

このタブを使用すると、「**Kパネルで黒のみでプリント(オプション)**」、「指定の面積」が調整できます。フルカラーリボンのレジンブラック (K) パネルをどこにプリントするかを決定するには、このタブを使用してください。(注: デバイスオプションタブで「プリント無効」が選択されている場合、このタブが有効になりますが、それ以外の全部の機能が灰色で表示されます。)

- YMC リボンタイプなど K パネルのないリボンタイプでプリントする場合、全ての K パネルレジスタオプションは灰色で表示されます。鮮明で彩度の高い色が必要な場合にはレジンブラックテキストをお勧めします。赤外線バーコードリーダーによるスキャンでバーコードを確実に読み取るには、レジンブラックバーコードが必要です。(注: 初期設定では、プリンタドライバは、プリントリボンのレジンブラック (K) パネルだけを用い、自動的に全てのトゥルータイプブラックテキストとトゥルータイプバーコードをプリントします。)
- トゥルータイプフォントまたはブラックグラフィックでないブラックテキストやバーコードをプリントする場合は、**K パネルで黒のみでプリント**の一覧にある 3 個のオプションから 1 つを選択します(次のページをご覧ください)。(注: プリンタドライバは、以下の各オプションで指定される、プリントリボンのレジンブラック (K) パネルで黒色に見える画像の部分の部分をプリントします。)



3.14.1 「クリックしてドラッグ」機能の使用

エリアのコーナーや辺をクリックしてドラッグすると、大きさや位置が変更できます。

- それに応じて、水平・垂直サイズおよび X、Y 座標がアップデートされます。

位置を変更するには、エリアをクリックしてドラッグします。

- それに応じて、X、Y 座標がアップデートされます。

3.14.2 「インチまたはミリ」の選択

インチもしくはミリから選択し、寸法が変更されます。(注:これは、「カードタブ」の選択肢と類似しています)

- インチを押すと、エリアサイズと位置がインチで表示されます。
- ミリを押すと、エリアサイズと位置がミリで表示されます。

3.14.3 追加および削除ボタンの使用

ステップ	手順
1	追加ボタンの使用法: • 初期設定サイズのエリアに 0.2 が追加されます(追加エリアの位置「0」に 0.2 が追加される)。 • 同じ位置に、同じ状態の複数のエリアが追加されます(あたかも 1 つのエリアのごとく)。(注:エリアの交差と重複は互いに相殺されるのではなく、1 つのエリアとして動作します)
2	グラフィックの削除ボタンの使用。

3.14.4 フルカードの選択

ステップ	手順
1	フルカードオプションを選択すると、下記のように、画像内の黒いエリアは全てレジンプラック(K)パネルでプリントされます。 • カード画像は全部黒になります。 • レジンはどこでも黒でプリントされます。 • 追加および削除ボタンは無効となり、灰色で表示されます。 • 「指定エリア」オブジェクトサイズと位置スクロールコントロールが無効となり、灰色で表示されます。 • インチおよびミリのダイヤルは無効となり、灰色で表示されます。

3.14.5 指定エリアの選択

ステップ	手順
1	指定エリアオプションを選択すると、下記のように、 1 つのエリアまたは指定エリアにある黒い部分は全てレジンプラック(K)パネルでプリントされます。 • カード画像は、1 つのエリアとなり、グリッドの付いた白でプリントされます(ユーザーが起動できる)。 • 指定エリアは、レジンで黒くプリントされます。

3.14.6 非指定エリアの選択

ステップ	手順
1	非指定エリアオプションを選択すると、下記のように、指定エリア外の黒い部分は全てレジンプラック(K)パネルでプリントされます。 • カード画像は、1 つのエリアとなり、グリッドの付いた黒でプリントされます(ユーザーが起動できる)。 • 指定エリアは、レジンで黒くプリントされません。

3.14.7 カードグリッドを有効にするためのエリアの指定

ステップ	手順
1	適切な指定エリア（下記参照）を選択すると、ウィンドウの上半分でカードグリッドが有効になります。 - このカードグリッドは、下記のように、5つのエリアまで指定できます。 - カードグリッドが初めて有効になると、0.2 x 0.2 (5 ミリ x 5 ミリ) の初期設定サイズで、初期設定位置の左下隅(0,0)に、小さい黒い正方形が表示されます。（注:この正方形は最初の指定エリアを表します）

3.14.8 「KでYMCプリント」および「Kのみプリント」オプションの選択

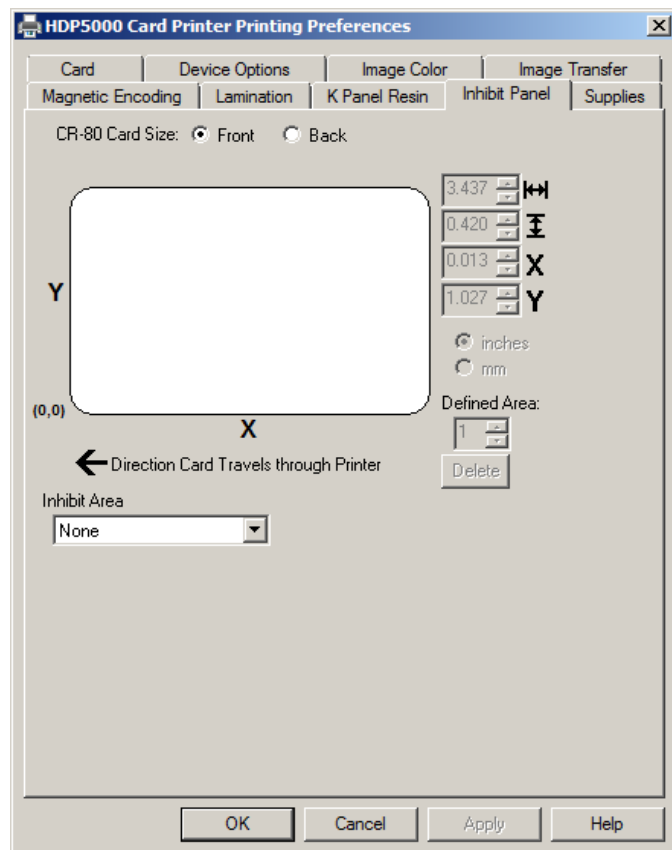
ステップ	手順
1	指定エリア機能を使用します。 指定エリアをクリックし、他のエリアを指定します。（注:別の 0.2 x 0.2 (5 ミリ x 5 ミリ) エリアが、左下隅に表示されます。これは、新しく指定されたエリアが最初に表示される位置です。5個のエリアまで指定できます） - エリアを選択し、削除ボタンをクリックすると、エリアが削除されます。（注:全てのエリアが削除されると、K パネルレジソプションの選択が自動的に解除されます。）
2	KでYMCをプリントオプションを選択すると、指定された全指定/未指定エリアの全ての黒が、レジソブラック(K) パネルの直下にあるイエロー (Y)、マゼンタ (M)およびシアン (C) リボンパネルで直接プリントされます。（注:レジソブラックのテキストやバーコードを色付きの背景にプリントする際に、このオプションを選択すると、これら2つの色がスムーズに推移します） または Kのみプリントオプションを選択すると、指定された指定/非指定エリアの全ての黒がレジソブラック(K)パネルでプリントされるか、レジソブラックが白い背景にプリントされ、テキストやバーコードが鮮明にプリントされるようになります。

3.15 インヒビットパネル

「パネル」タブにより、プリンタドライバインターフェースを使用したカード面へのプリントが防止されます。

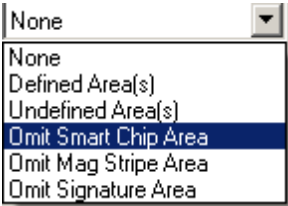
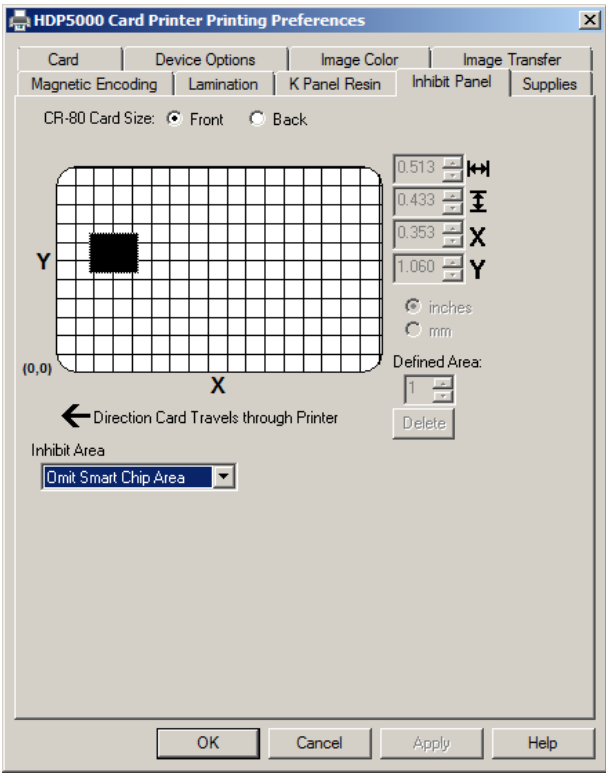
手順

ステップ	手順
1	Start (スタート) をクリックし、続いて、 Devices and Printers (デバイスとプリンタ) をクリックします。
2	プリンタアイコンを右クリックします。
3	Inhibit Panel (インヒビットパネル) をクリックします。



3.15.1 プリンタドライバからのインヒビットパネルの設定

ステップ	手順
1	「前面」または「裏面」をクリックして非印刷エリアを選択します。

ステップ	手順
2	「インヒビットパネル」ボタンをクリックして、「スマートチップエリアを除外する」などのフィールドタイプを選択します。  「カード表示エリア」には、グリッドと、スマートチップ位置の非印刷エリアを示す黒い長方形が表示されます。 
3	非印刷エリアを移動させるには、この長方形をクリックしてマウスを動かします。非印刷エリアを拡張するには、長方形の辺または角をクリックしてドラッグします。
4	非印刷エリアを複数作成するには、「定義エリア」をクリックし、「上」ボタンをクリックしてエリアの個数を増やします。すると、グリッドの左下に黒い正方形が現れます。非印刷エリアを移動させるには、この正方形をクリックして、希望の位置までドラッグします。非印刷エリアを拡張するには、長方形の辺または角をクリックしてドラッグします。

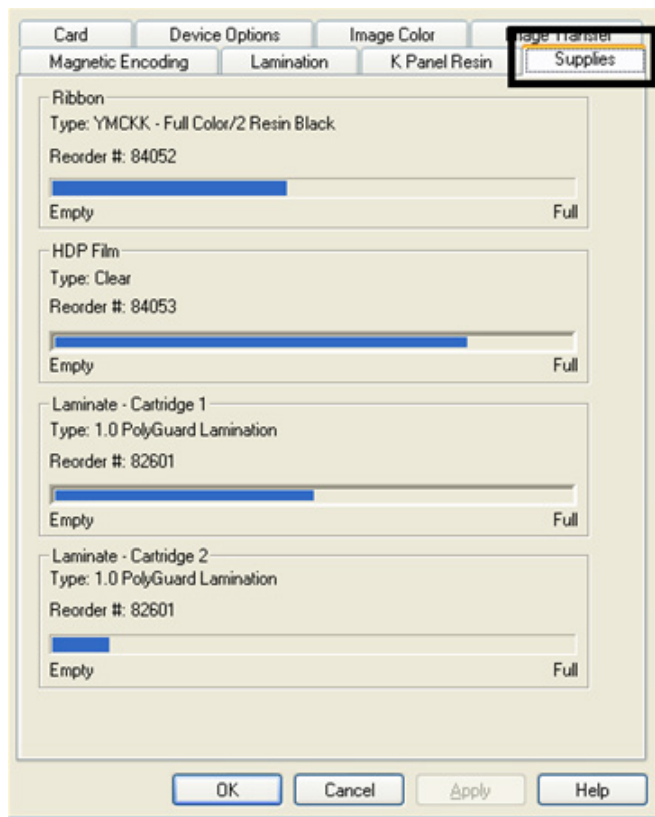
3.15.2 インヒビットパネルの定義を組み合わせる

プリンタドライバインターフェースを使用して定義したインヒビットパネルは、ワークベンチやテキストベースの定義、もしくはその両方（「~i」コマンドなど）を使用して定義されたパネルに追加されます。プリンタドライバインターフェースを使用して定義したインヒビットパネルは、プリント対象のカードに、他の定義済み非印刷エリアと同時に適用されます。以前に行われた定義と入れ替わるわけではありません。

プリンタドライバインターフェースを使用して定義したインヒビットパネルは、インヒビットパネルが「インヒビットパネル」タブで定義されている限り、カードレイアウトに適用されます。カードレイアウトから非印刷エリアを削除するには、タブから定義を削除してください。

3.16 プリンタ消耗品タブの使用

このタブでこのオプションを使用すると、プリンタにインストールされているリボンや再転写フィルムやラミネート(カートリッジ1)およびラミネート (カートリッジ2)に関する情報(タイプ、再注文番号)が表示されます。(注:ゲージは水平です。)



4 トラブルシューティング

このセクションでは、お客様へLCDメッセージ、通信エラー、カード供給エラー、エンコードエラー、プリントエラー、転送エラーおよびプリンタの画像の問題診断に関する、特定の手順をご説明します。

トラブルシューティング - LCDおよびプリンタエラーメッセージ表

LCDディスプレイは、プリンタの現在の状態を表示します。全ての起こりうるLCDメッセージの原因および解決方法に関する表をこのセクションでご覧ください。

このセクションには、LCDエラーメッセージおよびプリンタエラーメッセージの2つのトラブルシューティング表があります。各表は、特定のLCDまたはプリンタエラーメッセージ、その原因および解決方法の3列で構成されます。

- これにより、エラーおよびその原因を識別して、手順を行うことができます(解決方法の欄に記載)。
- 根本原因とその解決方法を識別すると、本プリンタの効果的なトラブルシューティング方法が見つかります。
- これら 2 つのエラーメッセージ表では解決できない問題の場合、www.hidglobal.com へご連絡ください。

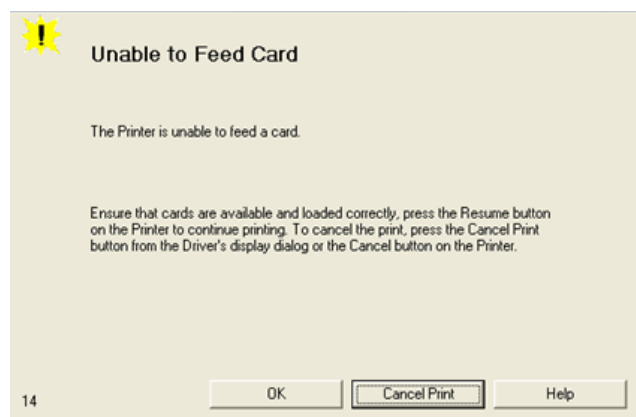
4.1.1 LCDエラーメッセージ表の使い方

1列目のPCエラーメッセージ(LCDエラーメッセージ)の左下に番号があります。この番号で、PCエラーメッセージのスクリーンショットとそれに相当するLCDエラーメッセージが識別できます。

- 1列目とPCエラーメッセージウィンドウとの相関に注意してください。
- これにより、LCDエラーメッセージとPCエラーメッセージ(番号を確認)を関連付け、必要に応じて、プリンタの問題を解決できます。

表 1 - LCD エラーメッセージの一例

LCD エラーメッセージ	原因	解決策
カードが供給できない (PC エラーメッセージ番号 14 および 81) 以下のスクリーンショットに一致する	プリンタがカードカートリッジからカードを供給できません。	カードがカートリッジに入っているか確認してください。 カードが数枚重なったり詰まったりしていないか、また正しい厚さのカードかを確認します。



4.1.2 LCDエラーメッセージによるトラブルシューティング

LCD エラーメッセージ	原因	解決策
キャリブレーション失敗 (PC エラーメッセージ番号 155 および 170)	フィルムまたはリボンのキャリブレーションが失敗しました。	フィルムが正しくインストールされていて、リボンがインストールされていないことを確認してください。それでも問題が解決しない場合、電話にて技術的援助を受けてください。
フィルムのキャリブレーション (PC エラーメッセージ番号 159)	フィルムセンサーのキャリブレーションが必要。	キャンセル を選択し、フィルムのキャリブレーション手順を実施します。
リボンのキャリブレーション (PC エラーメッセージ番号 128 および 170)	プリントリボンセンサーのキャリブレーション不良。	キャンセル を選択し、リボンキャリブレーション手順を実施します。
カード供給停止 (PC エラーメッセージ番号 137)	前のカバーが開いています。このためカード転送が停止しました。もしくは、一時停止ボタンが選択されています。	再開 または キャンセル を押します。
カード詰まり: (PC エラーメッセージ番号 82, 112, および 200)	カードが、プリントステーションまたはプリンタのカードフリップエリアでカード詰まりを起こしました。	カード詰まりを取り除いてください。
カード詰まり:Prox (PC エラーメッセージ番号 86)	カードがプリンタの PROX カードエンコードエリアで詰まっています。	カード詰まりを取り除いてください。
カード詰まり:スマート (PC エラーメッセージ番号)	カードがプリンタのスマートカードエンコードエリアで詰まっています。	カード詰まりを取り除いてください。

LCD エラーメッセージ	原因	解決策
カード詰まり:転送 (PC エラーメッセージ番号 83)	転送中にカードがプリンタ内で詰まっています。	カード詰まりを取り除いてください。
カードが見つからない (PC エラーメッセージ番号 69)	プリンタ内にカードが見つかりません。	プリンタ内にカードが詰まっていない事を確認し、 キャンセル を選択します。
フィルムのチェック (PC エラーメッセージ番号 244)	フィルムが正しく移動しません。破損/カード詰まりをチェックする。	障害物がないか、確認してください。それでも問題が解決しない場合、電話にて技術的援助を受けてください。
ラミネート 1 のチェック (PC エラーメッセージ番号 213 および 231)	ラミネート装置がカートリッジ 1 に材料のマークを見つかりません。	センサーに異物がないことを確認し、ラミネート装置のセンサーを再キャリブレーションしてください。
ラミネート 2 のチェック (PC エラーメッセージ番号 232)	ラミネート装置がカートリッジ 2 に材料のマークを見つかりません。	センサーに異物がないことを確認し、ラミネート装置のセンサーを再キャリブレーションしてください。
プリンタのクリーニング (PC エラーメッセージ番号 71)	プリンタの性能を維持すべく、クリーニングローラーテープを取り替え、プリンタのフィードローラーおよびプリントヘッドをクリーニングしてください。	クリーニングのセクションをご覧ください。
カバーが開いている (PC エラーメッセージ番号 46)	カバーが開いている。	カバーが正しく閉じてあるか確認してください。
E-カードスタートアップエラー (PC エラーメッセージ番号 141)	プリンタ起動中に問題が検出された。	プリンタをリセットして、やり直してください。それでも問題が解決しない場合、電話にて技術的援助を受けてください。
EEPROM の不具合 (PC エラーメッセージ番号 38, 39, 40, および 144)	EEPROM の記憶内容が工場設定値に戻っている。	変更した場合は、設定値を確認し、数字をリセットしてください。
カードの取り出し (PC エラーメッセージ番号 72)	カードが既に排出されています。	メッセージを消すには、 OK をクリックします。カードがゴミ箱に入っているか、プリンタから排出されているかを確認してください。カードが不完全であったり正しく廃棄されていない場合、安全上のリスクが発生することがあります。
ゴミ箱を空にする (PC エラーメッセージ番号 265)	ゴミ箱がいっぱいである。	ゴミ箱からカードを取り除いてください。 OK をクリックし、メッセージを消してください。(注: カードが不完全な状態で廃棄された場合には安全上のリスクがあるので、適切に処理してください。)

LCD エラーメッセージ	原因	解決策
初期化の失敗 (PC エラーメッセージ番号 141)	プリンタ起動中に問題が検出された。	プリンタをリセットして、やり直してください。それでも問題が解決しない場合、電話にて技術的援助を受けてください。
フィルム位置合わせエラー (PC エラーメッセージ番号 26 および 176)	フィルムが正しく移動しません。破損/カード詰まりをチェックする。	障害物がないか、確認してください。それでも問題が解決しない場合、電話にて技術的援助を受けてください。
フィルム破損/カード詰まり (PC エラーメッセージ番号 158)	フィルムが正しく移動しません。破損/カード詰まりをチェックする。	障害物がないか、確認してください。それでも問題が解決しない場合、電話にて技術的援助を受けてください。
フィルム残量が少ない (PC エラーメッセージ番号 156)	HDP フィルム残量が少なくなっています。	カードを多くプリントする場合、今フィルムを取り替えるか、フィルムを消耗するまでプリンタを監視し、新しいフィルムをインストールします。
フィルム切れ (PC エラーメッセージ番号 156 および 157)	HDP フィルムが切れました。	フィルムの新しいロールをインストールし、 再開 を押して継続するか、 キャンセル してリセットします。
フィルム:材料の間違い (PC エラーメッセージ番号 173)	HDP フィルムが正しくインストールされていないか破損しています。	正しいフィルムがフィルムカートリッジにインストールされているか、確認してください。
フリップカード詰まり (PC エラーメッセージ番号 74 および 199)	カードが、プリンタのカードフリップングエリアに詰まっています。	プリンタのフリップ用モジュールカバーを開いてください。 プリンタのカバーを開き、プリンタの前面のカバーについた進むと戻るのボタンを使用し、フリップングモジュールにあるカードを取り除きます。 フリップモジュールが自由に回転することを確認してください。プリンタのフリップ用モジュールカバーを閉じてください。 プリンタの前面のカバーの再開を選択し、プリントを継続します。 プリントをキャンセルするには、ドライバのディスプレイダイアログからプリントをキャンセルをクリックします。
ヘッドローディング (PC エラーメッセージ番号 111)	プリント中に回復不能のエラーが生じました。	プリンタをリセットして、やり直してください。それでも問題が解決しない場合、電話にて技術的援助を受けてください。

LCD エラーメッセージ	原因	解決策
ヘッドレジスタンス (PC エラーメッセージ番号 6)	ヘッドレジスタンスのドライバの EE 設定が範囲外です。	ドライバの EE 設定のヘッドレジスタンスの値を入力します。 トラブルシューティングセクションの手順に従い、正しい値をリセットします。 それでも問題が解決しない場合、電話にて技術的援助を受けてください。
ヘッドセンサーエラー (PC エラーメッセージ番号 8)	プリントヘッド温度センサーが機能していないか適切に接続されていません。 または プリントヘッドの冷却が不適切です。	それでも問題が解決しない場合、電話にて技術的援助を受けてください。
ヘッド電圧エラー (PC エラーメッセージ番号 103 および 105)	ハードウェアの不具合により、プリントヘッドに印加される電圧設定が不適切になりました。	プリンタをリセットして、やり直してください。 それでも問題が解決しない場合、電話にて技術的援助を受けてください。
ヘッドリフトエラー (PC エラーメッセージ番号 102, 103, 104, および 105)	これは、プリントヘッドリフトまたは転送ローラーヘッドリフトの問題です。	プリンタをリセットして、やり直してください。 それでも問題が解決しない場合、電話にて技術的援助を受けてください。
ヒーターのエラー (PC エラーメッセージ番号 161)	転送ヒーターローラーの温度が高すぎます。	プリンタをリセットして、やり直してください。 それでも問題が解決しない場合、電話にて技術的援助を受けてください。
無効なフィルム (PC エラーメッセージ番号 94, 95, 96, 164, 165, および 166)	純正ではないフィルムがプリンタ内にインストールされています。	ディーラーから正しいフィルムをご購入ください。
無効なパスワード (PC C エラーメッセージ番号 136)	現在プリントできません。	キャンセル を押し、このプリントジョブを中止し、ホストコンピュータのセキュリティ設定をチェックします。
無効なリボン (PC エラーメッセージ番号 93)	純正ではないリボンがプリンタ内にインストールされています。	ディーラーから正しいリボンをご購入ください。
ジョブデータエラー (PC エラーメッセージ番号 106)	プリンタに送信されたプリントデータが壊れたか、中断されました。	プリンタをリセットして、やり直してください。 それでも問題が解決しない場合、電話にて技術的援助を受けてください。
ラミネート 1 タグエラー (PC エラーメッセージ番号 259)	カートリッジ 1 で RFID 読み取りまたは書き込みエラーが起きました。	再試行してみて、再度失敗した場合には、その材料は使用できません。

LCD エラーメッセージ	原因	解決策
ラミネート 2 タグエラー (PC エラーメッセージ番号 260)	カートリッジ 2 で RFID 読み取りまたは書き込みエラーが起きました。	再試行してみて、再度失敗した場合には、その材料は使用できません。
ラミネート Async エラー (PC エラーメッセージ番号 245)	ラミネート装置からの通信の待機中にプリンタがタイムアウトしました。	ラミネート装置のラミネート電源や接続状態を確認し、プリンタを再起動します。
ラミネートカードカード詰まり (PC エラーメッセージ番号 53, 212, 214,および 215)	プリンタとラミネート装置との間でカード詰まりが発生しています。	カバーを開き、障害物やカード詰まりを取り除きます。
ラミネートチェックカード (PC エラーメッセージ番号 213)	ラミネート装置内でカード詰まりが発生しています。	ラミネート装置カバーを開き、障害物を取り除きます。
ラミネート Com エラー (PC エラーメッセージ番号 246)	プリンタとラミネート装置間で、通信不良があります。	ラミネート装置のラミネート電源や接続状態を確認し、プリンタを再起動します。
ラミネートエラー (PC エラーメッセージ番号 237 および 238) 52	不明のエラーが発生しました。	プリンタをリセットして、やり直してください。それでも問題が解決しない場合、電話にて技術的援助を受けてください。
ラミネートカードが取り出せない (PC エラーメッセージ番号 216)	カードがラミネート装置から取り出せません。	ラミネート材がカードに張り付いています。
ラミネートハンドラースタートアップエラー (PC エラーメッセージ番号 66)	プリンタ起動中に問題が検出された。	プリンタをリセットして、やり直してください。 それでも問題が解決しない場合、電話にて技術的援助を受けてください。
ラミネートハンドラースタートアップエラー (PC エラーメッセージ番号 141)	プリンタに電源を入れた後、ラミネート装置は検出されましたが、エラーが起こったため、使用できなくなりました。	ラミネート装置の電源や接続状態をチェックし、プリンタを再起動します。
ラミネート装置内部エラー (PC エラーメッセージ番号 48)	ラミネート装置で不明のエラーが発生しました。	ラミネート装置の電源や接続状態をチェックし、プリンタを再起動します。
ラミネートフィルム無し (PC エラーメッセージ番号 157)	ラミネート装置内に材料がありません。	ラミネート装置に材料を入れてください。

LCD エラーメッセージ	原因	解決策
ラミネート装置タイムアウト (PC エラーメッセージ番号 247)	ラミネート装置関連の情報処理中にプリンタがタイムアウトしました。	ラミネート装置のラミネート電源や接続状態を確認し、プリンタを再起動します。
間違ったラミネート 1 タイプ (PC エラーメッセージ番号 233)	ラミネート装置のカートリッジ 1 の材料が、ジョブで指定された材料のタイプと一致しません。	ドライバで指定された材料がラミネート装置内に実装された材料と一致するか確認してください。
間違ったラミネート 2 タイプ (PC エラーメッセージ番号 234)	ラミネート装置のカートリッジ 2 の材料が、ジョブで指定された材料のタイプと一致しません。	ドライバで指定された材料がラミネート装置内に実装された材料と一致するか確認してください。
ラミネート 1 不良 (PC エラーメッセージ番号 259 および 261)	カートリッジ 1 のラミネート加工材料は、このラミネート装置で無効です。	有効な材料をインストールしてください。
ラミネート 1 カード詰まり (PC エラーメッセージ番号 229)	カートリッジ 1 のラミネート装置材料 1 でカード詰まりが発生しています。	ラミネート装置カバーを開き、障害物を取り除きます。
ラミネート 1 ヘッド移動エラー (PC エラーメッセージ番号 239)	ラミネート加工カートリッジ 1 で材料の残量が少なくなっています。	使い切った後で必要となるので、替えの材料が手元にあることを確認してください。
ラミネート 1 出力 (PC エラーメッセージ番号 208)	カートリッジ 1 のラミネートを使いきました。	新しいサプライと取り替えてください。
ラミネート 2 不良 (PC エラーメッセージ番号 260 および 262)	カートリッジ 2 のラミネート加工材料は、このラミネート装置で無効です。	有効な材料をインストールしてください。
ラミネート 2 カード詰まり (PC エラーメッセージ番号 230)	カートリッジ 2 のラミネート装置材料でカード詰まりが発生しています。	ラミネート装置カバーを開き、障害物を取り除きます。
ラミネート 2 ヘッド移動エラー (PC エラーメッセージ番号 240)	ラミネート加工カートリッジ 2 で材料の残量が少なくなっています。	使い切った後で必要となるので、替えの材料が手元にあることを確認してください。
ラミネート 2 出力 (PC エラーメッセージ番号 209)	カートリッジ 2 のラミネートがなくなりました。	新しいサプライと取り替えてください。

LCD エラーメッセージ	原因	解決策
Lm1 ヘッドリフトエラー (PC エラーメッセージ番号 217)	ラミネート装置が移動しない、または、下部(ラミネートモジュール 1) ヘッドが検出できませんでした。	ヘッドの接続を確認し、サービス/修理を依頼してください。
Lm2 ヘッドリフトエラー (PC エラーメッセージ番号 218)	ラミネート装置が移動しない、または、上部(ラミネートモジュール 2) ヘッドが検出できませんでした。	ヘッドの接続状態を確認し、サービスや修理を依頼してください。
磁気エンコーダ一時停止 (PC エラーメッセージ番号 143)	磁気エンコーダは一時停止になっています。	プリンタをリセットして、やり直してください。 それでも問題が解決しない場合、電話にて技術的援助を受けてください。
磁気エンコーダスタートアップエラー (PC エラーメッセージ番号 63 および 141)	プリンタ起動中に問題が検出された。	プリンタをリセットして、やり直してください。 それでも問題が解決しない場合、電話にて技術的援助を受けてください。
磁気確認エラー (PC エラーメッセージ番号 30)	プリントが磁気読み取りを確認できませんでした。 または 磁気ストライプが正しくエンコードされていませんでした。	カードをチェックし、 プリントをキャンセル をクリックします。
複数のフィード (PC エラーメッセージ番号 70)	複数のカードがプリンタに供給されました。	全てのカードを取り除き、再試行してください。
No E-カードエンコーダ (PC エラーメッセージ番号 202)	エンコーディングデータを送信しようとしていますが、プリンタはこのエンコーダタイプでコンフィグレーションされていません。	キャンセルするには、 プリントをキャンセル をクリックします。
フィルム無し (PC エラーメッセージ番号 28)	フィルムが、プリンタ内にインストールされていません。 または フィルム RFID タグが無効です。	フィルムをインストールし、 再開 を押します。 プリントをキャンセルするには、プリンタの プリントをキャンセル ボタンまたは キャンセル ボタンを押します。
フリップパー無し (PC エラーメッセージ番号 201)	両面プリントジョブが片面プリントプリンタへ送られました。	LCD メニューでプリンタにフリップパー機能があるか、確認してください。 フリップパー機能がある場合、ドライバに 両面プリント オプションが正しくセットされているか確認してください。 プリンタの前面のカバーの 再開 を押し、プリントを継続します。 プリントをキャンセルするには、 ドライバのディスプレイダイアログからプリントをキャンセル を押してください。

LCD エラーメッセージ	原因	解決策
フリップパー無し (PC エラーメッセージ番号 45 および 201)	ご使用のラミネート装置は、フリップパーモジュールが必要です。	ラミネート加工材料のカートリッジ位置を変える(両面の場合)か、フリップパーモジュールを購入してください。
iCLASS エンコーダなし (PC エラーメッセージ番号 177)	エンコーディングデータを送信しようとしていますが、プリンタはこのエンコーダタイプでコンフィグレーションされていません。	キャンセルするには、 プリントをキャンセル をクリックします。
磁気モジュール無し (PC エラーメッセージ番号 31)	磁気エンコーダのないプリンタに磁気エンコードジョブが送信されました。エンコーディングデータを送信しようとしていますが、プリンタはこのエンコーダタイプでコンフィグレーションされていません。	キャンセルするには、 プリントをキャンセル をクリックします。
MIFARE エンコーダなし (PC エラーメッセージ番号 203)	エンコーディングデータを送信しようとしていますが、プリンタはこのエンコーダタイプでコンフィグレーションされていません。	キャンセルするには、 プリントをキャンセル をクリックします。
Prox エンコーダなし (PC エラーメッセージ番号 32)	エンコーディングデータを送信しようとしていますが、プリンタはこのエンコーダタイプでコンフィグレーションされていません。	キャンセルするには、 プリントをキャンセル をクリックします。
リボン無し (PC エラーメッセージ番号 25)	リボンがプリンタ内にインストールされていません。 または リボン RFID タグが無効です。	正しいリボンをインストールし、プリンタの LCD ディスプレイの 再開 を押します。 プリントをキャンセルするには、 ドライバのディスプレイダイアログのプリントをキャンセル ボタンまたはプリンタの LCD ディスプレイの キャンセル ボタンを押してください。
スマートエンコーダなし (PC エラーメッセージ番号 33)	エンコーディングデータを送信しようとしていますが、プリンタはこのエンコーダタイプでコンフィグレーションされていません。	キャンセルするには、 プリントをキャンセル をクリックします。
プリントエラー (PC エラーメッセージ番号 107)	プリント中にエラーが検知されました。	プリンタをリセットして、やり直してください。 それでも問題が解決しない場合、電話にて技術的援助を受けてください。
再起動が必要 (PC エラーメッセージ番号 9, 65, 67, および 163)	非特定のシステムエラーがプリンタファームウェアによって検知されました。	プリンタをリセットして、やり直してください。 それでも問題が解決しない場合、電話にて技術的援助を受けてください。
リボンを再挿入します (PC エラーメッセージ番号 141)	プリンタが正しく機能するには、リボンを再挿入する必要があります。	リボンを再挿入するか 再開 を押します。

LCD エラーメッセージ	原因	解決策
カードを取り除く (PC エラーメッセージ番号 68)	カードが、プリントステーションまたはプリンタのカードフリップエリアでカード詰まりを起こしました。	カード詰まりを取り除き、 キャンセル を押します。
リボンの取り外し (PC エラーメッセージ番号 139)	プリントリボンが正しくインストールされていないか、破損しています。	正しいリボンがリボンカートリッジにインストールされているか確認してください。 リボンが間違っている場合リボンを取り除き、正しいリボンと取り替えます。
ラミネート材料を取り除く (PC エラーメッセージ番号 210)	片面ラミネートジョブが指定されていますが、マテリアルは両面モジュールに装着されています。	ラミネート加工カートリッジを取り除きます。
ラミネート 1 マテリアルを取り除く (PC エラーメッセージ番号 204)	裏面のみの片面ラミネート加工が指定されていますが、マテリアルはラミネート 1 モジュールに装着されています。	カートリッジ 1 を取り除きます。
ラミネート 2 材料を取り除く (PC エラーメッセージ番号 205)	表面での片面ラミネート加工が指定されていますが、材料はラミネート 2 モジュールに装着されています。	カートリッジ 2 を取り除きます。
リボンの破損または詰まり (PC エラーメッセージ番号 99, 108, および 109)	リボンは次のパネルを正確見つけることができません。破損/カード詰まりをチェックする。	もし、カード詰まりを起こしていれば、カード詰まりを取り除いてください。壊れた場合、巻き取りコアへ向かってリボンを巻き戻して修理します。 再開 を押して継続するか、 キャンセル で中止します。
リボン残量少ない (PC エラーメッセージ番号 92)	プリントリボンがまもなく使い切ります。	カードを多くプリントする場合、今すぐリボンを取り替えるか、フィルムが消費されるまでプリンタを監視し、新しいリボンをインストールします。
リボンエラー (PC エラーメッセージ番号 97)	リボンは次のパネルを正確見つけることができません。破損/カード詰まりをチェックする。	もし、カード詰まりを起こしていれば、カード詰まりを取り除いてください。破損した場合、リボンを巻き取りコアに巻き戻して修理します。 再開 を押して継続するか、 キャンセル で中止します。
リボン切れ (PC エラーメッセージ番号 91, 100 および 101)	プリントリボンを使いきました。	新しいリボンをインストールし、 再開 を押して、継続します。

LCD エラーメッセージ	原因	解決策
リボンのテンション (PC エラーメッセージ番号 98)	リボンのテンションが範囲を超えています。	詳細設定タブのツールボックスで設定をチェックし、調整してください。 それでも問題が解決しない場合、電話にて技術的援助を受けてください。再開を押して継続するか、キャンセルで中止します。
リボン:材料の間違い (PC エラーメッセージ番号 93, 122,および 172)	プリントリボンが正しくインストールされていないか、破損しています。	正しいリボンがリボンカートリッジにインストールされているか確認してください。
システムの不具合 (PC エラーメッセージ番号 164)	プリンタのファームウェアが、詳細不明のシステムエラーを検知しました。	プリンタをリセットして、やり直してください。 それでも問題が解決しない場合、電話にて技術的援助を受けてください。
フィード不能 (PC エラーメッセージ番号 14 および 81)	プリンタが、カードカートリッジからカードを供給できません	カードカートリッジにカードが入っているか確認してください。 カードが数枚重なったり詰まったりしていないか、また正しい厚さのカードかを確認します。
ユーティリティエラー (PC エラーメッセージ番号 129)	コマンドがエラーになりました。	通信エラーをご覧ください。
データを待っています (PC エラーメッセージ番号 147)	プリンタは、PC からのデータ受信を停止しました。	プリンタをリセットして、やり直してください。 それでも問題が解決しない場合、電話にて技術的援助を受けてください。
間違ったフィルム (PC エラーメッセージ番号 162 および 163)	プリンタ内にインストールされたプリントフィルムが、プリンタドライバで選択されたフィルムタイプと一致しません。 または セルフテストジョブは、インストールされたプリントメディアでプリントできません。	プリンタ内のフィルムを、ドライバで指定されたタイプに取り替えます。 再起動が必要です。
間違ったリボン (PC エラーメッセージ番号 93)	プリンタ内にインストールされたプリントリボンが、プリンタドライバで選択されたフィルムタイプと一致しません。 または セルフテストジョブは、インストールされたプリントメディアでプリントできません。	プリンタ内のリボンをドライバで指定されたタイプに取り替えます。

4.1.3 トラブルシューティング -プリンタエラーメッセージ

プリンタエラーメッセージ	原因	解決策
一般エラー	一般的なプリンタエラーが生じました。	プリンタで キャンセル を押すか、 プリントをキャンセル をクリックします。
カードが見つからない	プリンタはカードを見つけることができません。	プリンタをチェックしてカードまたは他の障害物がないかを確認し、カードを取り除き、ドライバのディスプレイダイアログの プリントをキャンセルボタン またはプリンタの キャンセルボタン を押して、プリントをキャンセルします。
カバーが開いています	カバーが開いているので、プリンタがプリントを開始できません。	カバーを閉じて、プリントを継続します。
カードが供給できない	プリンタがカードカートリッジからカードを供給できません。	カードが入っており、正しく読み込まれているかを確認し、プリンタのLCDディスプレイの 再開 ボタンを押し、プリントを継続します。 プリントをキャンセルするには、ドライバのディスプレイダイアログの プリントをキャンセルボタン またはプリンタのLCDディスプレイの キャンセルボタン を押してください。
カード詰まり	カードがプリンタでカード詰まり状態になりました。	- プリンタの前面のカバーを開け、プリントリボンおよびフィルムカートリッジを取り除きます。 - プリンタのLCDディスプレイの「進む」または「戻る」ボタンを使用して、プリンタ内のカードを取り除きます。 - リボンを再挿入し、プリンタの前面のカバーを閉めます。 - プリンタのLCDディスプレイの再開ボタンを押し、プリントを継続します。 - プリントをキャンセルするには、ドライバのディスプレイダイアログのプリントをキャンセルボタンまたはプリンタのLCDディスプレイのキャンセルボタンを押してください。



プリンタエラーメッセージ	原因	解決策
カード詰まり（エンコーダ）	カードがプリンタのエンコードステーションでカード詰まり状態になりました。	a. プリンタの前面のカバーを開け、プリントリボンを取り除きます。 b. プリンタのフリップ用モジュールカバーを開いてください。 c. プリンタの LCD ディスプレイの進むまたは戻るボタンを使用し、エンコードモジュールのカードを取り除きます。 d. プ린トリボンを再挿入し、およびプリンタの前面のカバーを閉めます。 e. プリンタの LCD ディスプレイの再開ボタンを押し、プリントを継続します。 f. プリントをキャンセルするには、ドライバのディスプレイダイアログのプリントをキャンセルボタンまたはプリンタの LCD ディスプレイのキャンセルボタンを押してください。
カード詰まり（フリップパー）	カードがプリンタのフリップパーテーブル内で詰まっています。	a. プリンタの前面のカバーとフリップパーモジュールカバーを開けます。 b. プリンタの LCD ディスプレイの進むまたは戻るボタンを使用し、フリップパーテーブルのカードを取り除きます。 c. プリンタの前面のカバーを閉めます。 d. プリンタの LCD ディスプレイの再開ボタンを押し、プリントを継続します。 e. プリントをキャンセルするには、ドライバのディスプレイダイアログのプリントをキャンセルボタンまたはプリンタの LCD ディスプレイのキャンセルボタンを押します。

プリンタエラーメッセージ	原因	解決策
カード詰まり (ラミネート装置)	カードがプリンタのラミネート加工モジュール内で詰まっています。	a. プリンタモジュールの前面のカバーを開け、オーバーラミネートを取り除きます。 b. プリンタの LCD ディスプレイの進む矢印または戻る矢印ボタンを使用し、ラミネート加工モジュールのカードを取り除きます。進むおよび戻るボタンを使用するには、プリンタの前面のカバーは開けておかなければなりません。 c. オーバーラミネートを再挿入し、ラミネートモジュールの前面のカバーを閉じます。 d. プリンタの LCD ディスプレイの再開ボタンを押し、プリントを継続します。 e. プリントをキャンセルするには、ドライバのディスプレイダイアログのプリントをキャンセルボタンまたはプリンタの LCD ディスプレイのキャンセルボタンを押します。
カードイジェクトエラー	プリンタはカードをイジェクトできません。	プリンタにカード詰まりや他の障害物がないか確認し、プリンタの LCD ディスプレイの再開ボタンを押し、プリントを継続します。 プリントをキャンセルするには、ドライバのディスプレイダイアログのプリントをキャンセルボタンまたはプリンタの LCD ディスプレイのキャンセルボタンを押してください。
フリップカード詰まり	フリップテーブルが調整中またはカードをフリップしている際にカード詰まり状態になりました。	a. プリンタのフリップモジュールのカバーを開けます。 b. プリンタの前面のカバーについた進むまたは戻るボタンを使用し、フリップモジュールのカードを取り除きます。 c. フリップテーブルが自由に回転することを確認します。プリンタのフリップモジュールのカバーを閉じます。 d. プリンタの前面のカバーの再開ボタンを押し、プリントを継続します。 e. プリントをキャンセルするには、ドライバのディスプレイダイアログのプリントをキャンセルボタンを押します。

プリンタエラーメッセージ	原因	解決策
フリッパー無し	プリンタがフリッピングできません。	a. LCD メニューでプリンタがフリップできることを確認します。 b. フリッパー機能がある場合、ドライバに両面プリントオプションが正しくセットされているか確認してください。 c. プリンタの前面のカバーの再開ボタンを押し、プリントを継続します。 d. プリントをキャンセルするには、ドライバのディスプレイダイアログのプリントをキャンセルボタンまたはプリンタの LCD ディスプレイのキャンセルボタンを押してください。
リボン RFID エラー	リボンタグ MS Mincho 情報が壊れているか間違っています。	リボンが正しくインストールされているか確認してください。キャンセルする以外に選択肢はありません。 ドライバのディスプレイダイアログのプリントをキャンセルボタンまたはプリンタの LCD ディスプレイのキャンセルボタンを押してください。
間違ったリボンがインストールされました	正しくないリボンがインストールされています。あるいは、ドライバーセッティングが正しくありません。	プリンタやジョブに適したリボンであるかどうかチェックしてください。プリンタの LCD ディスプレイの再開ボタンを押し、プリントを継続します。 プリントをキャンセルするには、ドライバのディスプレイダイアログのプリントをキャンセルボタン、またはプリンタの LCD ディスプレイのキャンセルボタンを押してください。
リボンはインストールされませんでした	プリントリボンはプリンタにインストールされません。	正しいリボンをインストールし、プリンタの LCD ディスプレイの 再開 を押してください。
リボン切れ	プリンタにインストールされたプリントリボンが空です。	新しいリボンをインストールし、LCD ディスプレイの 再開 を押してください。

プリンタエラーメッセージ	原因	解決策
リボンの破損または詰まり	プリンタ内部でリボンの破損または詰まりが検出されました。	プリンタが、インストールされたリボンが詰まっているか破損していることを検出しました。 - プリンタカバーを開け、プリントリボンを取り外します。リボンが詰まっている場合、詰まりを取り除き、リボンの張りを強くします。 - プリンタの LCD ディスプレイの進むまたは戻るボタンを使用し、プリンタ内のカードを取り除きます。 - リボンの両端をテープでつなぎ、余った部分はプリントリボンの巻き取りスプールに巻き取ってください。 - プリントリボンを再インストールし、プリンタカバーを閉じ、プリンタの LCD ディスプレイの再開ボタンを押し、プリントを継続します。 - プリントをキャンセルするには、ドライバのディスプレイダイアログのプリントをキャンセルボタンまたはプリンタの LCD ディスプレイのキャンセルボタンを押してください。
リボンエラー	リボンエラーがプリンタ内で検出されました。	プリンタのカバーを開き、プリントリボンを取り除いてください。リボンをチェックし、破損しているかどうか確かめてください。 - プリントリボンが破損していない場合、プリントリボンをもう一度取り付け、プリンタのカバーを閉じ、プリンタの再開ボタンを押し、プリントを継続します。 - プリントリボンが破損している場合、テープでリボンの端同士をつなぎ、余分なリボンを巻き取りスプールに巻き取って下さい。プリントリボンを再インストールし、プリンタのカバーを閉じ、プリンタの再開ボタンを押し、プリントを継続します。 - プリントをキャンセルするには、ドライバのディスプレイダイアログのキャンセルプリントボタン、またはプリンタのキャンセルボタンを押します。
リボンセンサーエラー	プリンタがプリントリボン上で次のパネルを見つけることができません。	ボックス内のリボンのキャリブレーションタブを使用し、リボンセンサーを再キャリブレーションします。 プリントをキャンセルするには、ドライバのディスプレイダイアログのプリントをキャンセルボタンまたは、プリンタの LCD ディスプレイのキャンセルボタンを押します。



プリンタエラーメッセージ	原因	解決策
無効なリボン	正しくないプリントリボンがプリンタにインストールされました。(これは、SecureMark リボンを使用している場合です)。	非 SecureMark リボンが SecureMark プリンタにインストールされています。 - 正しい SecureMark リボンと取り替え、プリンタの LCD ディスプレイの再開ボタンを押してください。を選択し、プリントを継続します。 - プリントをキャンセルするには、ドライバのディスプレイダイアログのプリントをキャンセルボタンまたはプリンタの LCD ディスプレイのキャンセルボタンを押してください。 - 純正プリントリボンをインストールし、プリンタの LCD ディスプレイの再開ボタンを押し、プリントを継続します。 - プリントをキャンセルするには、ドライバのディスプレイダイアログのプリントをキャンセルボタンまたはプリンタの LCD ディスプレイのキャンセルボタンを押してください。
リボンエラー	プリントリボンが一般エラーを引き起こしました。	プリンタの 再開 ボタンを押し、継続します。 キャンセルするには、プリンタの プリントをキャンセル ボタンまたは キャンセル ボタンを押します。
磁気エンコーダはインストールされませんでした	磁気エンコードのプリントジョブが、磁気エンコーダがインストールされていないプリンタへ送られました。	プリントジョブでエンコーディングデータが送信されていないことを確認し、カードを再度プリントしてください。
磁気確認エラー	プリンタがエンコーディングされたデータを認証できません。	カードをチェックし、 プリントをキャンセル をクリックします。
磁気ストリップなし	プリンタはカード上で磁気ストライプを見つけることができません。	カードをチェックし、 プリントをキャンセル をクリックします。
スマートカードエンコーダなし	プリンタにスマートカードエンコーダがインストールされません。	キャンセルするには、 プリントをキャンセル をクリックします。
Prox カードエンコーダなし	プリンタに Prox カードエンコーダがインストールされません。	キャンセルするには、 プリントをキャンセル をクリックします。
ヘッドリフトエラー	Headlift センサーが Headlift カムの動きを検出しません。	電源を一旦切ってから入れなおし、プリンタを再起動してください。 キャンセルするには、 プリントをキャンセル ボタンを押します。

プリンタエラーメッセージ	原因	解決策
無効なパスワード	入力されたパスワードは有効なパスワードではありません。	他のパスワードを入力するには、 OK を押します。 キャンセルするには、 プリントをキャンセル ボタンを押します。
ラミネート装置（一般エラー）	ラミネート装置が一般的な故障を報告しました。	プリンタの 再開 ボタンを押し、継続します。 キャンセルするには、プリンタの プリントをキャンセル ボタンまたは キャンセル ボタンを押します。
ラミネート装置（電源チェック）	ラミネート装置の電源がオフです。	ラミネート装置の電源コードが正しく接続されていることを確認し、電源を一旦切ってから入れなおし、 再開 ボタンを押して、継続します。 キャンセルするには、プリンタの プリントをキャンセル ボタンまたは キャンセル ボタンを押します。
ラミネート装置（ヒーターオフ）	ラミネート装置のヒーターがオフです。	再開 ボタンを押して、継続します。 キャンセルするには、プリンタの プリントをキャンセル ボタンまたは キャンセル ボタンを押します。
ラミネート装置（ヒーターのタイムアウト）	ラミネート装置が所定の動作温度に達しません。	電源を一旦切ってから入れなおし、プリンタを再起動してください。プリンタドライバー中のラミネート装置セッティングをチェックしてください。 ドライバの ラミネート加工タブ の 初期設定 をクリックし、ラミネート加工設定を工場初期設定に戻します。 プリントジョブを再送信。 キャンセルするには、プリンタの プリントをキャンセル ボタンまたは キャンセル ボタンを押します。
ラミネート装置フィルムはインストールされませんでした	ラミネート装置フィルムがラミネート装置にインストールされていません。	適切なラミネート装置フィルムがインストールされていることを確認してください。 プリントをキャンセルするには、プリンタの プリントをキャンセル ボタンまたは キャンセル ボタンを押します。
間違ったラミネート装置フィルムがインストールされました	正しくないラミネート装置フィルムがインストールされています。あるいは、ドライバーセッティングが正しくありません。	正しいラミネート装置フィルムがインストールされているか確認し、プリンタの 再開 ボタンを押し、プリントを継続します。 キャンセルするには、プリンタの プリントをキャンセル ボタンまたは キャンセル ボタンを押します。



プリンタエラーメッセージ	原因	解決策
ラミネート装置フィルム切れ	ラミネート装置にインストールされたフィルムが空です。	正しいプリントフィルムがインストールされているかを確認し、プリンタの 再開 ボタンを押し、プリントを継続します。 キャンセルするには、プリンタの プリントをキャンセル ボタンまたは キャンセル ボタンを押します。
ラミネート装置フィルム破損/カード詰まり	フィルムの破損または詰まりがラミネート装置内部で検出されました。	プリンタにより、一方または両方のオーバーラミネートフィルムが詰まっているか破損していることが検出されました。 a. ラミネート装置のカバーを開き、ラミネート装置のカートリッジを取り外します。オーバーラミネートが詰まったら、詰まりを取り除き、ラミネート材料のテンションを強くします。 b. プリンタの LCD ディスプレイの進むまたは戻るボタンを使用し、プリンタ内のカードを取り除きます。 c. テープでオーバーラミネートの端同士をつなぎ、余分なリボン巻き取りスプールに巻き取って下さい。 d. ラミネート装置のカートリッジを再インストールし、ラミネート装置のカバーを閉め、プリンタの LCD ディスプレイの再開ボタンを押し、プリントを継続します。 e. プリントをキャンセルするには、ドライバのディスプレイダイアログのプリントをキャンセルボタンまたはプリンタの LCD ディスプレイのキャンセルボタンを押してください。
ラミネート装置フィルムセンサーのエラー	ラミネート装置はフィルム上で次のパネルを見つけることができません。	フィルムが正しくインストールされているかを確認し、 再開 を押します。 キャンセルするには、プリンタの プリントをキャンセル ボタンまたは キャンセル ボタンを押します。
ラミネート装置フィルムを取り除きます	継続するには、ラミネート装置のフィルムを取り除きます。	ラミネート装置の前面のカバーを開けます。フィルムを取り除き、ラミネート装置の前面のカバーを閉めます。
ラミネート装置フィルム切れ	プリンタ内にインストールされたフィルムが空です。	新しいフィルムをインストールし、 再開 ボタンを押し、プリントを継続します。 プリントをキャンセルするには、プリンタの プリントをキャンセル ボタンまたは キャンセル ボタンを押します。

プリンタエラーメッセージ	原因	解決策
ラミネート装置フィルムがインストールされていません	フィルムがプリンタ内にインストールされていません。	フィルムをインストールし、 再開 を押します。 プリントをキャンセルするには、プリンタの プリントをキャンセル ボタンまたは キャンセル ボタンを押します。
ラミネート装置フィルムセンサーのエラー	プリンタはプリントフィルム上で次のパネルを見つけることができません。	プリントフィルムが正しくインストールされているかを確認し、 再開 を押します。 プリントをキャンセルするには、プリンタの プリントをキャンセル ボタンまたは キャンセル ボタンを押します。
間違ったラミネート装置フィルムがインストールされました	正しくないプリントフィルムがインストールされています。あるいは、ドライバーセッティングが正しくありません。	正しいプリントフィルムがインストールされているかを確認し、プリンタの 再開 ボタンを押し、プリントを継続します。 キャンセルするには、プリンタの プリントをキャンセル ボタンまたは キャンセル ボタンを押します。
無効なラミネート装置フィルムがインストールされています	インストールされたプリントフィルムが、プリンタの SecureMark のコンフィグレーションと一致しません。	SecureMark 用ではないフィルムが SecureMark プリンタにインストールされています。 正しい SecureMark フィルムと取り替え、プリンタの 再開 ボタンを押し、プリントを継続します。 キャンセルするには、 プリントをキャンセル ボタンまたはプリンタの キャンセル ボタンを押します。
ラミネート装置フィルムエラー	プリントフィルムによって一般的なエラーが発生しました。	正しいプリントフィルムがインストールされているかを確認し、プリンタの 再開 ボタンを押し、プリントを継続します。キャンセルするには、 プリントをキャンセル ボタンまたは キャンセル ボタンを押します。

4.1.4 通信エラー

症状: 出力エラー、PCまたはプリンタの通信エラー、停止、プリンタから返答がない、ジョブのプリントができない、「用紙切れ」エラー。

ステップ	手順
1	システムが、以下の最低要件を満たしていることを確認してください。 • IBM-PC もしくは互換 PC。 • Windows 7 (32 bit & 64 bit), Windows XP (32 bit) , Windows 2003 (R1 & R2 32 bit), Windows 2008, R2 (32 bit & 64 bit), Vista (32 bit & 64 bit), • 256 MB 以上の RAM が装着されたクロック周波数が 500 MHz の Pentium クラスコンピュータ • 500 MB 以上のハードディスクの未使用スペース • USB ポート (オプション Ethernet 通信)
2	プリンタドライバが正しくインストールされていることを確認してください。 a. ソフトウェアプログラムを閉じ、プリンタドライバを確認します。 b. コンピュータを再起動してください。 c. プリンタドライバが正しくインストールされているか確認してください。(注: これは、最近、旧型ドライバを取り外した場合に適用されます。) プリンタドライバで正しいセットアップオプションが選択されているかを確認します。
3	フリップパーテーブルモジュールアセンブリが正しくインストールされているか確認します。 コンピュータを再起動してください。 両面プリントオプションがプリンタドライバで正しくセットされているかを確認します。 試験的にカードをプリントしてみて、フリップパーテーブルモジュールアセンブリが正しく機能しているか、確認します。
4	アプリケーションでプリント時の問題を確認します。 a. プリンタの LCD で、「オプション →メニュー→選択 →プリンタ」と押してプリンタのセルフテストを実行し、プリンタ本体が正しく機能していることを確認します。次の手順をご覧ください。 b. ドライバの「一般」タブにある Windows テストページをプリントします。 c. ワードパッドを使用します 1. ファイルメニューに進み、ページセットアップを選択します。 2. プリンタをクリックし、カードプリンタを選択します。 3. OK をクリックし、4 つの余白を 0 にリセットします。(注: ワードパッドによって、自動的に、余白の値に、最小の余白が入力されます。) 4. プログラムを開き、「This is a Test (これはテストです)」を入力します。次に、メニューバーのファイルに進み、プリントを選択します。
5	ハードドライブに十分な空きスペースがあるか確認します。 (注: コンピュータに多量の一時ファイルがあると、通信エラーを引き起こすことがあります。) 以下のように、一時ファイルにアクセスします: • TEMP という名称のフォルダーを検索します。それが見つかったら、フォルダー内のコンテンツを削除してください。 • ディスククリーンアップユーティリティ (スタートメニューのシステムツール内にあるディスククリーンアップなど) または第三者のアプリケーションを使用します。

5 ラミネートモジュール

プリンタには、オプションのカードラミネート加工モジュールの追加ができます。**プリンタモデルサポート**を選択し、オプションのカードラミネート加工モジュールの追加を行います。このモジュールは、プレインストール、またはフィールドアップグレード可能なモジュールとして注文可能です。

一度追加すると、カードラミネート加工モジュールで、さらに安全で不正開封防止のカードを作成するための証明付きオーバーラミネートができます。このセクションでは、カードラミネート加工モジュール作業や、使用可能なオーバーラミネート材質について説明します。

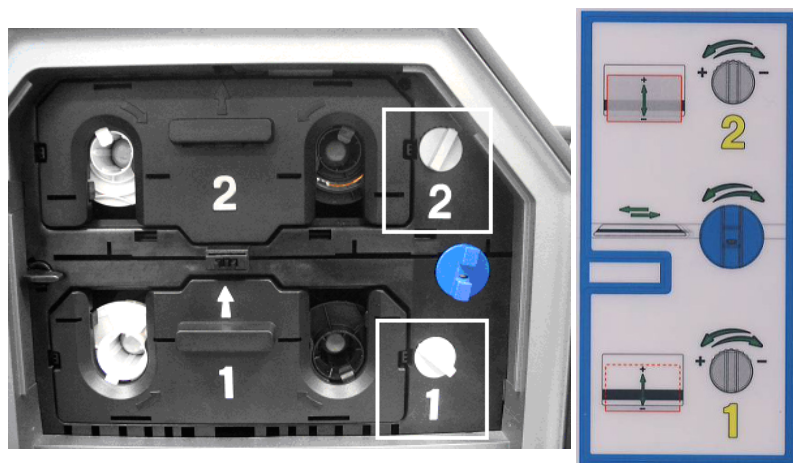
5.1 プリンタユニット:カードラミネート加工モジュールの詳細



危険:プリンタの転送ローラーは、**350°F (175°C)**以上の温度になることがあります。ラミネート装置を使用する場合は、注意してください。ローラーに触れる場合は、プリンタの電源を切り、**20 分以上経過してから**にしてください。

5.1.1 カード上のラミネート加工位置の調整

カードラミネート加工モジュールには、ラミネート加工位置の調整ノブがあり、カード上のラミネート加工位置を微調整できます。



ステップ	手順
1	- ラミネート加工位置調整ノブは、ラミネート加工カートリッジの右側の薄い灰色のノブです。 - プリンタには、1 個または2 個のフィルムカートリッジが装着されます(ラミネート加工モジュールが片面であるか両面であるかにより異なる)。
2	テストカードをプリントし、ラミネート加工の調整が必要かを確認します。 - ノブを右(マイナスの印)へ回すと、パッチがラミネート加工モジュールの前端方向に移動します。ノブを左(プラスの印)へ回すと、パッチがラミネート加工モジュールの後端方向に移動します。 - この調整を行うには、開いた前のカバーにある指示図ラベルをご覧ください。

6 プリンタの調整

このセクションでは、プリンタ調整手順に関する情報をお伝えします。

6.1 テストカードのプリント

6.1.1 カードの選択およびプリントプロセスの最適化

カードプリンタの性能を最適化してプリントしにいいカード面にもプリントできるように、プリンタのインストール前にカードストックを検査するよう推奨します。

カードのプリント難易度を左右する因子:

- **表面形状の違いや原料の違い:** この場合、再転写フィルム転送パラメータを変更する必要があります。
- **IC スマートカードや Prox カードの背増方法の違い:** スマートチップとプラスチックカードとの接着に使用される接着剤によって、転送ローラーの圧力および温度に対する反応が異なります。
- **カードストックの清浄度:** HDP プロセスは、表面が汚れているカードストックにもプリントできるということではありません。表面状態のよいカードは、プリント状態もよくなります。カードの上汚れなどが付着していると、表面のしみの原因となり、画像自体の寿命が短くなります。

6.1.2 テープ接着テストの実施

転送温度や滞留時間を最適化するために、テープ接着テストを実施する必要があります(ウルトラカードIII以外のカードにプリントする場合)。(注:最適な転送設定は、カードタイプにより異なります。)



情報: 時間や温度が不適切であると、摩耗しやすくなり染料が落ちやすくなって、カードが破損しやすくなります。再転写フィルムをカードへ転送する時間や温度が十分であれば、カードの耐久性が向上します。

ステップ	手順
1	サンプルカードをプリントし、接着テープテストを行って、再転写フィルムの接着品質をテストします。
2	光沢があるテストカードをプリントする場合は、ウルトラカード IIIs 光沢仕上げ PVC を選択します。
3	1/2(12mm)幅、最低 2(50mm)の長さの透明接着テープ(3M ブランド 600 など)1本を、カード表面の左右方向にしっかりと貼り付け、指先で気泡を押し出します。 - カードに対して直角(90度)に引っ張り、素早く (約 2 インチ/秒(50mm/秒)ほどの速さでテープを剥がします。(注:IPC では、各カードタイプの検査の際に少なくとも 3 回はテストを行うよう推奨しています。)

ステップ	手順
4	カードとカードから剥がしたテープを目視点検し、再転写フィルムに、カードから剥がれた部分が付着していないか、確認します。 • 汚れ(指の油分や脂質など)が、カード表面に付着していた場合、評価結果に影響を与える恐れがあります。 • プリント後に転送された再転写フィルムの粒子が、(a)カードから剥がれて、(b)テープに付着する場合、再転写フィルムがカードに密着していないことを意味します。この問題を解決するには、熱量や滞留時間を増加させる必要があります。
5	テープテストの結果、接着力が不十分と判断された場合、熱量の設定値を 5 度 上げ、もう 1 枚カードをプリントし、テープテストを繰り返します。 • 温度を 4 回(20 度) 上げたら、温度を初期設定に戻し、次に滞留時間を 0.5 秒 ずつ上げていきます。 • 適切に接着できるまで、このプロセスを繰り返します。 • 使用中のカードの表面粗度(Ra)が 60 マイクロインチ以下であることを確認します。 この情報は、カードメーカーにお問い合わせください。

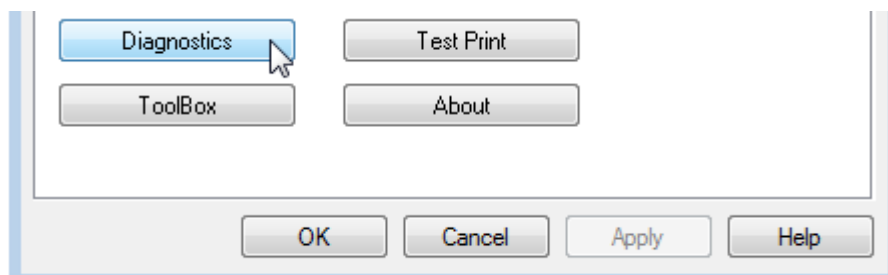
7 ワークベンチ

追加情報についてはワークベンチプリンタユーティリティのヘルプをご覧ください。

7.1 ワークベンチプリンタユーティリティへのアクセス

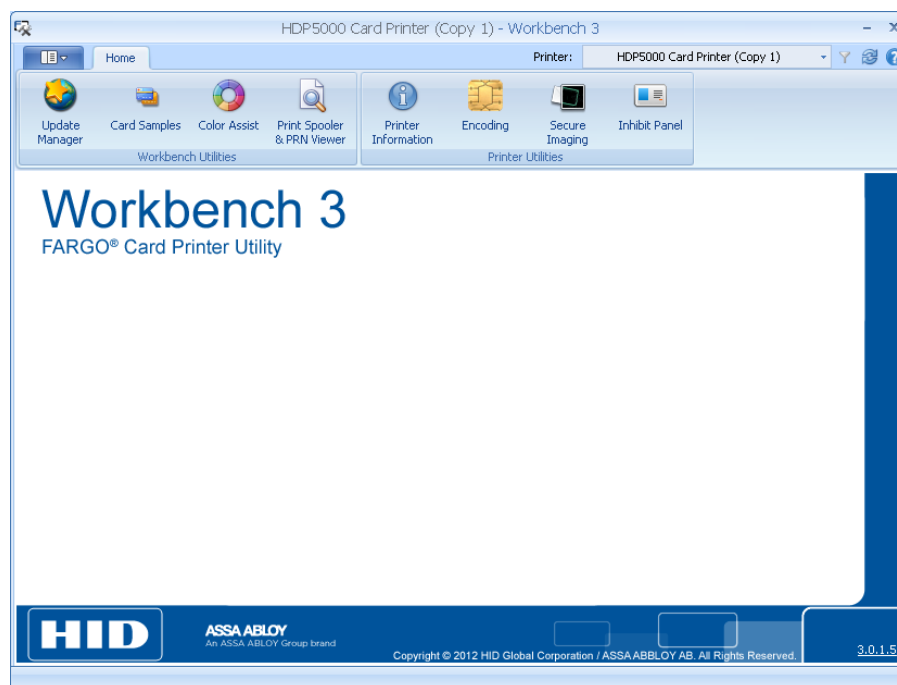
ワークベンチプリンタユーティリティにアクセスするには「診断」をクリックします。

ワークベンチプリンタユーティリティが表示されます。CD にワークベンチプリンタユーティリティユーザーガイドが入っています。



7.1.1 クリーニングプリントヘッド

一貫したプリント品質を維持すべく、下記の手順で、プリントヘッドをクリーニングしてください（プリントリボンを交換する度に）。一貫したプリント品質を維持すべく、この手順をほぼ1,000回プリントするたびに実行してください。

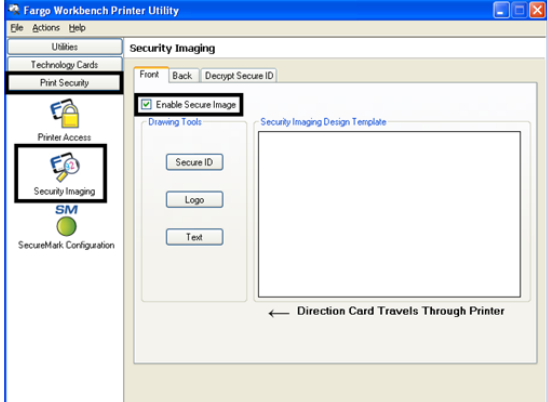


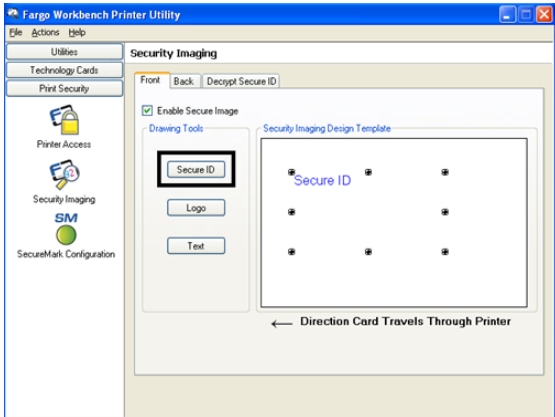
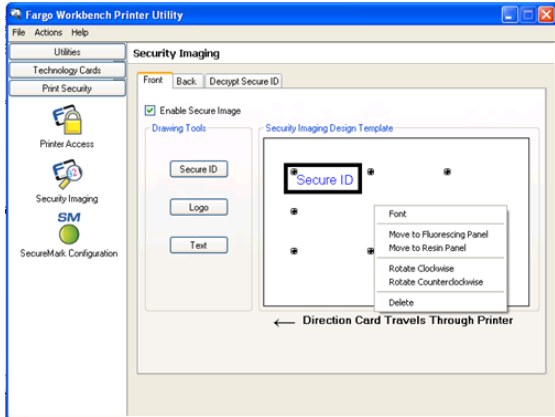
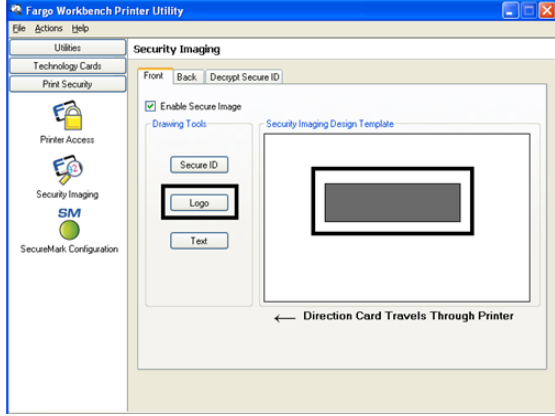
8 UVパネルの使用方法

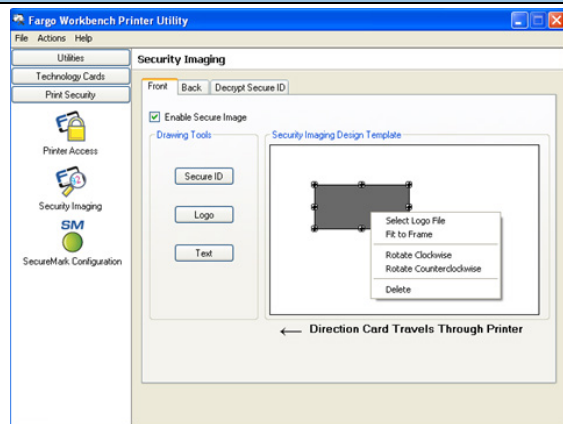
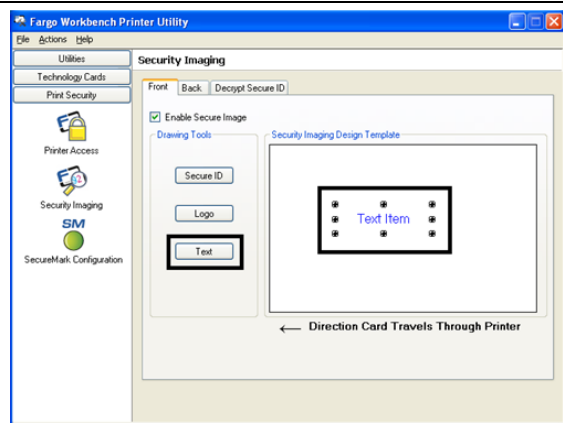
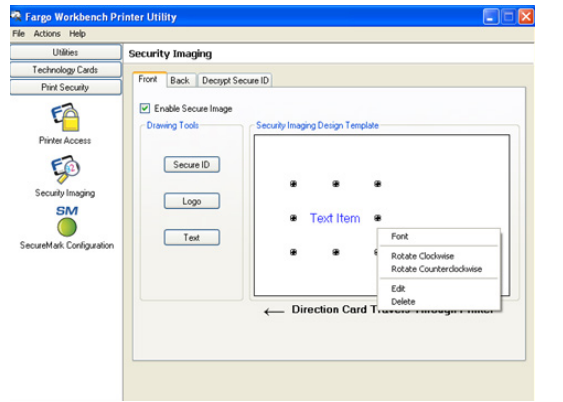
プリンタ用YMCFFKリボンは、写真付き身分証明書に完全カスタマイズ可能なセキュリティを付加する経済的な方法です。このプロセスにより、YMCFFK リボンのUVパネルでプリントされるデータを設定することができます。(注:でドライバとワークベンチが正しくセットアップされたら、ソフトウェアプログラムを使用して、リボンの特殊UVパネルをカードへプリントします。)

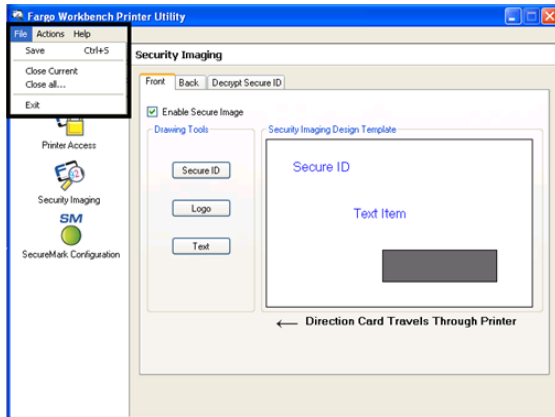
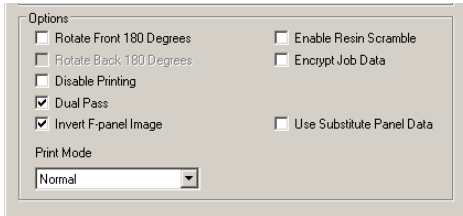
- これらのリボンには、イエロー(Y)、マゼンタ(M)、シアン(C)、レジンブラック(K)パネルが含まれ、端から端までフルカラーの身分証明書が作成できます。さらに、リボンには、染料ベースの UV パネル(F)が含まれており、これにより、標準設定やカスタム設定のグレースケール UV 画像をプリントできます。この画像は紫外線に当たらなければ見えません。
- プリンタ用 YMCFFK リボンを使用し、カスタム UV 画像の作成を行う 2 種類の方法があります。
- 第 1 の方法は、ワークベンチプリンタユーティリティを使用し、プリンタへ送られた各カードに対し、自動的に静止画像を作成する方法です。
- 第 2 の方法は、バッジアプリケーションソフトウェアから直接 UV パネル画像を作成する方法です。(注:これを使用すると、カードごとにカードホルダーの内の各写真をプリントするなど、個別の UV 画像がプリントできます。)

8.1 ワークベンチを使用したUVデータのコンフィグレーション

ステップ	手順
1	ドライバプリント設定で、 診断 をクリックし、ワークベンチプリンタユーティリティにアクセスします。
2	a. セキュリティのプリントをクリックし、セキュリティ画像を選択します。 b. 安全画像を有効にするチェックボックスにチェックを入れます。(注:表と裏のオプションは両方とも同様に設定されます。) 

ステップ	手順	
3	a. SecureID をクリックします。 b. テンプレート上にボックスをクリックしてドラッグしてください。 c. 必要な場合、移動してサイズ決定。	
4	セキュアイメージデザインテンプレート内から、Secure ID 欄を右クリックし、オプションにアクセスします。	
5	a. ロゴをクリックします。 b. テンプレート上にボックスをクリックしてドラッグしてください。 c. 四角の角を動かすと、画像を移動したり、サイズを変えることができます。	
6	セキュアイメージデザインテンプレート内から、ロゴ欄を右クリックし、オプションにアクセスします。	

ステップ	手順	
7	ロゴファイルを選択します。 カードに置くロゴのソースを見つけてください。(注:枠に合わせるで、画像をボックスの四隅に合わせます。これがセットアップされれば、ソフトウェアプログラムからこのロゴがプリントされます。これはバックグラウンドで設定されます。)	
8	テキストボックスの左側をクリックします。 テンプレート上にボックスをクリックしてドラッグしてください。 必要な場合、移動してサイズ決定。	
9	安全画像デザインテンプレート内から、テキストボックスを右クリックし、オプションを表示します。	
10	カード裏面でも同じ作業を繰り返します。	

ステップ	手順	
11	ファイル>保存を使用して、このテンプレートを保存します。 ワークベンチを終了。(注:YMCFK リボンがインストールされたプリンタでプリントするためのソフトウェアプログラムを使用した場合、このデザインは、リボンの F パネルでプリントされます。新しいテンプレートがもう一度作成されない限り、毎回同じファイルがプリントされます。)	
12	YMCFK のリボンをプリント設定にセットします。(注:さらに、自動検出ボタンを使用します。このプロセスが動作するには、F パネルリボンをインストールする必要があります。)	
13	YMC 画像から F パネルを分かれた再転写フィルムパネルにプリントするには、デュアルパスにチェックマークを入れます。(注:他の染料でプリントされた部分に UV 画像を重ねてプリントする場合、または F-パネル画像の逆転を選択している場合は、必ず初期設定デュアルパスオプションを使用してください。)	
14	F-パネル画像の逆転にチェックマークを入れ、UV 画像のネガを作成します。(注:人物像をロゴにする場合、これによって、その外観が改善されます。)	

8.2 UVデータ (YMCFFKリボン用F-パネル) のコンフィグレーション

このプロセスは、バッジアプリケーション中の単純なテキストストリングコマンドを使用して、カードにUV画像を作成します。

ステップ	手順	
1	UV テキストの作成. バッジアプリケーションで新しいテキストボックスを作成してください。	
2	UV プリントにしたいテキストを入力し、テキストの前に、~T の後にスペースを入れずに~Tを入力します。テキストは、カード上の~T がから始まります。	カード - バッジアプリケーション ~Ic:\globe.bmp 
3	UV 画像の作成. 別の描画プログラムで、UV にしたい画像を作成します。	BMP 画像は、c:\globe.bmp にあります。 
4	カードに表示したい実物大の画像を作成し、ルート c:\ ディレクトリにグレースケールまたは 1 ビットの bmp ファイルとして保存してください。ファイル名にスペースを入れないでください。	
5	バッジアプリケーションで新規テキストボックスを作成し、画像のアドレスの後に~I と入力します(手順 2 をご覧ください)。画像の左上が、テキストボックスの左上からスタートします。	

ステップ	手順	
6	プリンタドライバ設定をセットアップします。手順 8-10 をご覧ください。	
7	プリンタは、カード上の~I の位置に UV BMP 画像をプリントします。 プリンタは、カード上の~T の位置に UV テキストをプリントします。	プリントされたカード 
8	YMC FK のリボンをプリント設定にセットします。(注: 自動検出ボタンも使用できます。)	
9	YMC 画像から F パネルを別の再転写フィルムパネルにプリントしたい場合、デュアルパスをチェックします。(注: 他の染料でプリントされた部分に UV 画像を重ねてプリントする場合、または F-パネル画像の逆転を選択した場合は、必ず、初期設定のデュアルパスオプションを使用してください。)	
10	F-パネル画像の逆転にチェックマークを入れ、UV 画像のネガを作成します。(注: 人物像をロゴにする場合、これによって、その外観が改善されます。)	

9 インヒビットパネルの使用

インヒビットパネル(YMCKI、YMCKIKI、YMCIKHのI)を使用すると、カード表面に再転写フィルムが転送されないように、カードの面積が指定できます。Iパネルが使用できる場所として、署名パネル、セキュリティホログラム、プリントする画像や転送再転写フィルムによってプリント済み画像でカバーされたり隠れることがない場所が挙げられます。

- **有効の場合。**この機能は、YMCKI リボンを使用している場合有効です。
- **アプリケーションの使用法。**インヒビットパネルへのアクセスにはテキストベースのオブジェクトが使用されます。

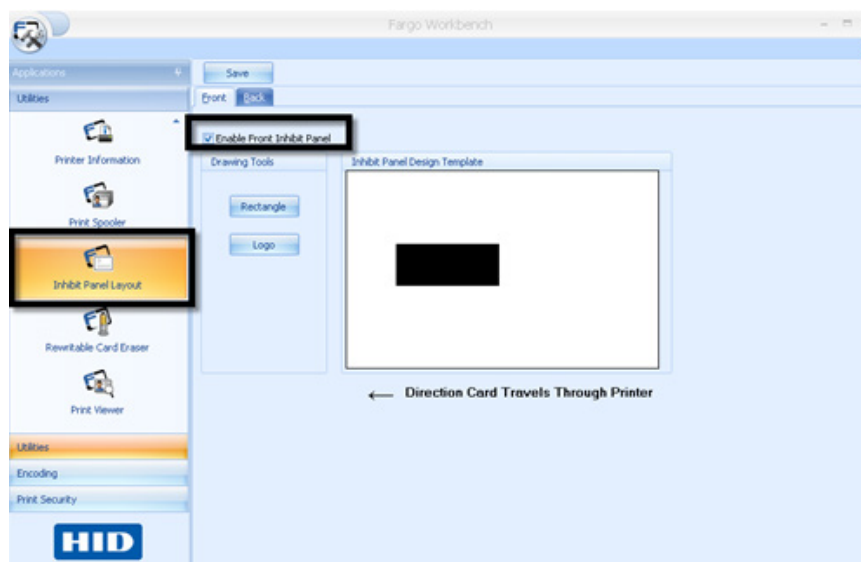
9.1 インヒビットパネル (ワークベンチプリンタユーティリティ)の使用

ワークベンチプリンタユーティリティを使用し、インヒビットパネルのレイアウトを作成します。(注:このユーティリティを使用すると、インヒビットしているエリアを指定するための長方形のエリアが追加できます。)

- **インヒビットパネル位置:**各プリントジョブで、Iパネルに対応するエリアを配置するための指示が表示されます。
- **オペレーティングシステム:**この方法は、オペレーティングシステムでプリンタにプリントジョブを作成するアプリケーションで利用できます。(注:これは、プリンタが、他のワークステーションと共有されるか、ワークステーション専用のプリンタであるかに関係ありません。)

次の指示に従います。

- **ワークベンチプリンタユーティリティ**を使用してインヒビットエリアを作成するには、指定のアプリケーションに関連するヘルプファイル内のインヒビットパネルのレイアウトの使用をご覧ください。
- ワークベンチプリンタユーティリティを開くには、**スタート>プログラム> FARGO > FARGO ワークベンチプリンタユーティリティ> FARGO ワークベンチ**をクリックします。
- ワークベンチの最新版がインストールされていることを確認してください。



ステップ	手順
1	ワークベンチプリンタユーティリティ内にインヒビットパネルのレイアウトを作成します。
2	ファイルを保存してください。ファイルの保存に失敗すると、インヒビットパネルが機能しません。
3	アプリケーションからプリントする準備ができました。画像は、削除されない限り、インヒビットパネルでプリントされます。

9.1.1 アプリケーションを用いたインヒビットパネルの使用

アプリケーションによっては、プリントジョブ内に「~i」を含むテキストオブジェクトを使用するとインヒビットパネルが利用できます。「~i」の後に、ビットマップファイルのファイルパスとファイル名が続きます。これは、プリントジョブがレンダリングされる際に統合されます。

- レンダリングとは、アプリケーション出力を、プリンタが理解できる指示に変換するプロセスです。
- この文字列はプリントから削除されます。また、転送が禁止されるエリアを定義する際にはビットマップが使用されます。

9.1.2 テキストオブジェクトの作成

互換性がないアプリケーション(テキストをオブジェクトとしてプリントしない):Windowsのアプリケーションの中には、プリントジョブを作成するものもありますが、プリントジョブアウトプット内でテキストオブジェクトを作成しません。

- これらのアプリケーションのタイプは、インヒビットパネルと互換性がなく、正確なプリント出力を作成しません。アプリケーションが1つのビットマップとしてファイルを保存するようになっている場合、テキストがプリンタへ送信されても正しくプリントされません。
- この場合、「~i」文字列がカードにプリントされ、インヒビットビットマップで置換されません。

- こうしたインヒビットプリントと互換性がないアプリケーションの例として、Notepad や Microsoft Paint が挙げられます。インヒビット BMP の作成に Microsoft Paint を使用します。

互換性のあるアプリケーション(インヒビットパネルと互換性のあるテキストオブジェクトを利用するアプリケーション):テキストオブジェクトをWindows GDIに作成するWindowsアプリケーションは、インヒビットパネル作業と互換性があります。(注:互換性のあるアプリケーションでは、ファイルの保存後にテキスト文字列を編集できます。互換性のあるアプリケーションの一例として、Corel Draw、Microsoft WordおよびMicrosoft WordPadが挙げられます。)

9.1.3 プリントジョブのレンダーリング

プリンタドライバが特定のワークステーションで使用するよう設置されている場合、プリントジョブのレンダーリングは、そのローカルワークステーションで行われます。

共有インスタンス:ただし、プリンタドライバが共有インスタンスの場合 (例えば、他のワークステーションと共有している場合)、(プリンタが理解する形に変換された)プリントジョブは、Microsoft Windowsで共有されたプリンタドライバのワークステーションでレンダーリングされます。

プリントジョブレンダーリング:Microsoft Windows Vistaでは、プリンタインスタンスで選択された設定に応じて、プリントジョブのレンダーリングは、プリンタを共有するワークステーションまたはプリントジョブを作成するワークステーションで行わせることができます。

レンダーリングエンジン:プリンタドライバは、「~i」コマンドのあるファイルを検索するため、コマンド内で指定されたファイルは、Windows上の共有ワークステーションの中に配置されている必要があります。

- Windows Vista では、初期設定コンフィグレーションは、プリントジョブを作成しているワークステーションにジョブをレンダーリングします。
- ビットマップ画像ファイルは、プリントジョブを作成するワークステーションにおけるプリンタの設定に応じて、共有ワークステーションまたはプリントワークステーションの指定の場所に存在していなければなりません。

例:Windows XP のWord Padプリントジョブ内で非共有 (例えば、ローカル) プリンタに対し「~iC:\Test\inhibit.bmp」テキストオブジェクトを入力すると、プリンタドライバは、ローカルワークステーション上でその名称と位置を持ったファイルを検索します。(注:これは、プリンタドライバの処理が、ローカルワークステーション上で実行されるからです。)

インヒビットエリア位置:プリントジョブ内の禁止エリアの位置は左上で、テキストオブジェクトはアプリケーションの画像に配置されます。

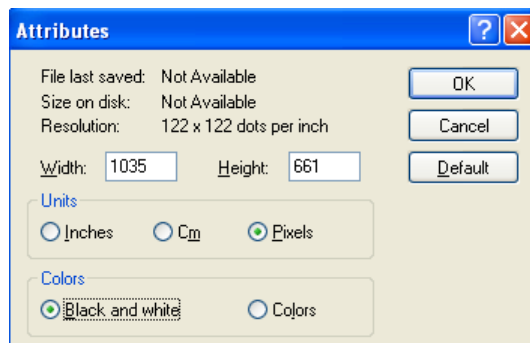
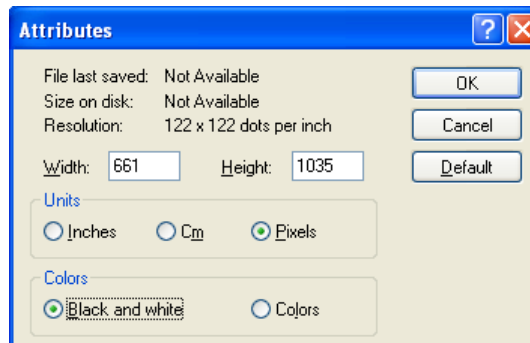
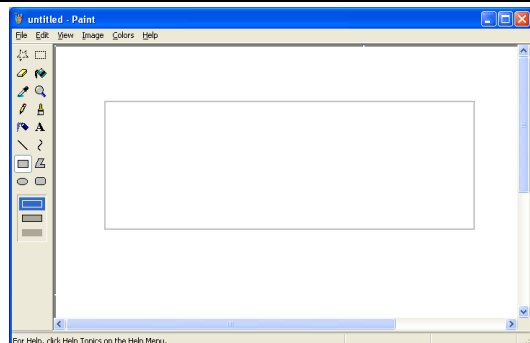
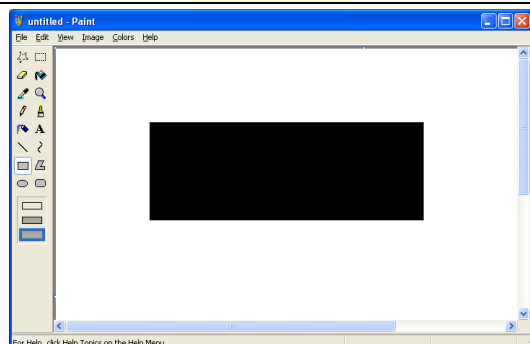
注:インヒビットファイルビットマップは、1ピクセルあたり1ビットです (例えば、単色)。

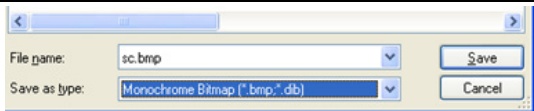
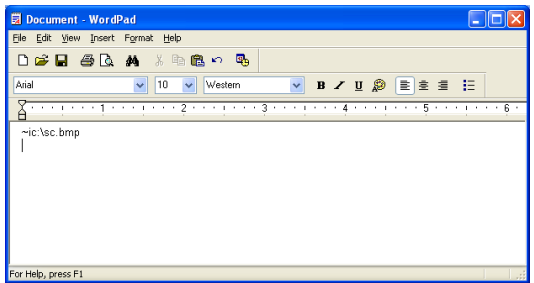
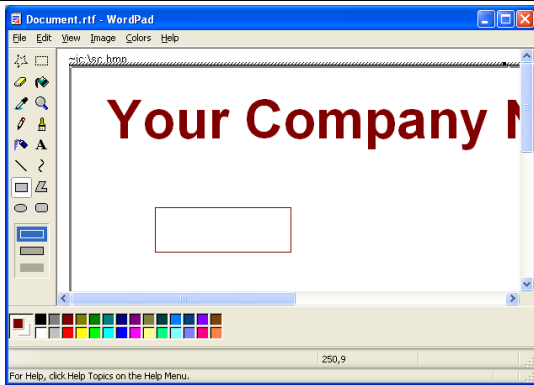
プリントサイズ:インヒビットビットマップが、ページプリントサイズより大きい場合、それに合わせてトリミングされます。通常のCR-80カードのプリントサイズは、2.204インチ x 3.452インチです。

- そのプリントサイズでは、インヒビットビットマップエリアの最大サイズは 661 ピクセル x 1035 ピクセルです。
- インヒビットビットマップが、ページプリントサイズより小さい場合でもドライバで使用されます。これは、~iテキストオブジェクトの左上の角に表示されます。

ビットマップブラックエリア:ビットマップのブラックエリアは、インヒビット材料が、染料のカードへの転送を防止する場所に相当します。

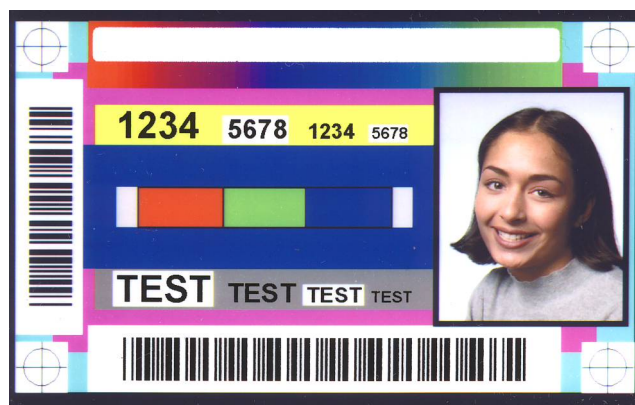
ビットマップエディタでインヒビットbmpファイルを作成します。以下の手順は、Microsoft Paintを用いたこの方法を説明します。

ステップ	手順	
1	Microsoft Paint を用いてビットマップファイルを作成します。 注: 横向きのサイズは幅 1035 ピクセル、長さ 661 ピクセルです。 縦向きのサイズは幅 661 ピクセル、長さ 1035 ピクセルです。 これをペイント>画像>属性で設定します。 色で白黒を選択します。	横  縦 
2	オブジェクトを配置してください。これは禁止エリアに正確に対応します。	
3	禁止エリアを黒で塗ります。	

ステップ	手順	
4	Microsoft Paint に、BMP 形式でファイルを保存します。	
5	「~i」 コマンドをアプリケーションファイルに追加します。(注:ここでは、Microsoft WordPad を使用しました。WordPad で、「~」は左揃えにします。)	
6	アプリケーションを使用し、カードの残りを作成します。	
7	アプリケーション内でカードをプリントします。(注:この場合、ファイル->プリントを使用します。)~i テキストオブジェクトがカードにプリントされる場合、9.1.5 インヒビットパネルのトラブルシューティングをご覧ください。	

9.1.4 テストプリントの使用

インヒビットパネルの機能を確認するため、プリンタにテストプリントファイルが送られます。このテスト画像は、プレフォーマットされたインヒビットエリアを使用し、ユーザー定義のインヒビットビットマップはテストしません。



ステップ	手順
1	スタート>設定>プリンタと FAX からプリンタ設定ダイアログを開きます。プリンタインスタンスを右クリックし、カードタブを選択するため、プリンタ設定をクリックします。
2	テストプリントをクリックします。

9.1.5 インヒビットパネルのトラブルシューティング

インヒビットパネルで希望のプリント結果が得られない場合、以下をご確認ください。

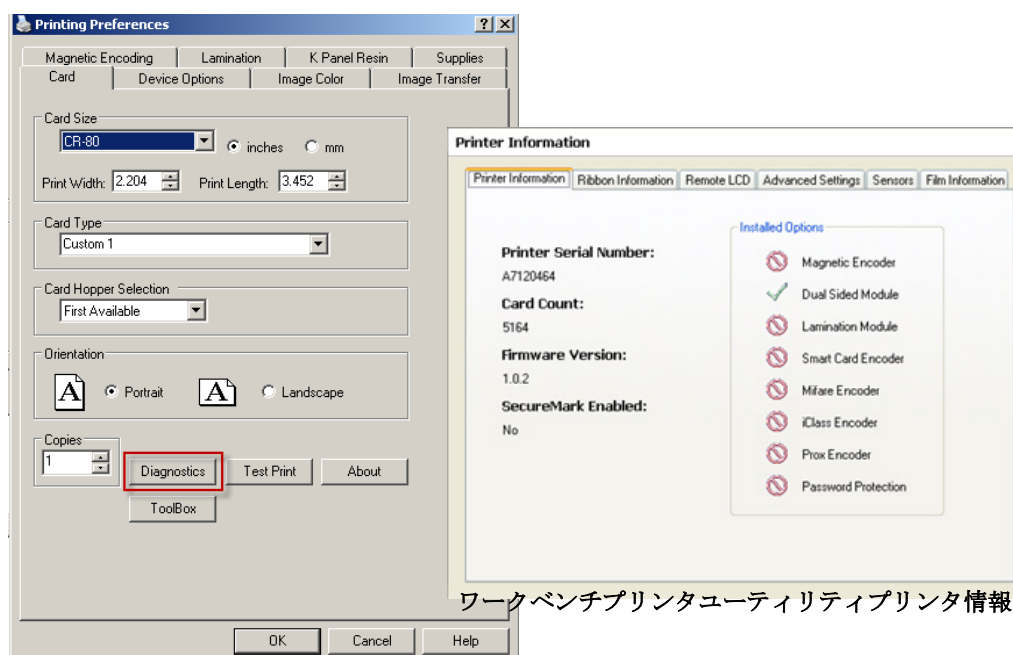
- 大文字「~」ではなく、小文字「~i」を使用していますか。小文字の「i」を自動変換する機能があるアプリケーションもあります。
- (使用中の)ビットマップファイルは、テキストオブジェクトで指定されているとおり、ワークステーションのロケーションにありますか (共有プリンタインスタンスに関しては、上記をご覧ください)。
- ビットマップファイルは単色ですか (例えば、白黒)。
- ビットマップ画像の大きさは、禁止しようとしている空間をカバーできる大きさですか。
(注: プリンタ解像度は、水平軸、垂直軸共に 300dpi ですか。これによって画像が配置しやすくなくなります。サイズが大きい画像は、カードのサイズに切断されます。)
- ビットマップ画像は、アプリケーション画像(例えば、横または縦)と同じ向きで作成されていますか。
- Windows のアプリケーションには、プリント前にプリントをビットマップに変換し、適切なインヒビットパネル作業を妨げるモードがあるアプリケーションがあります。
- Microsoft WordPad などのアプリケーションでは、「~」を左端に揃えなければなりません。さもないと、それがカードにプリントされ、インヒビットの機能が無効になります。

10 ファームウェアのアップデート

このセクションでは、プリント作業の管理用の内部ソフトウェアやファームウェアについて説明します。信頼性の向上、追加機能、プリント品質の向上などの強化を含んだ新しいファームウェアのバージョンがリリースされます。新しいファームウェアのアップデートは、インターネットからダウンロードできます。

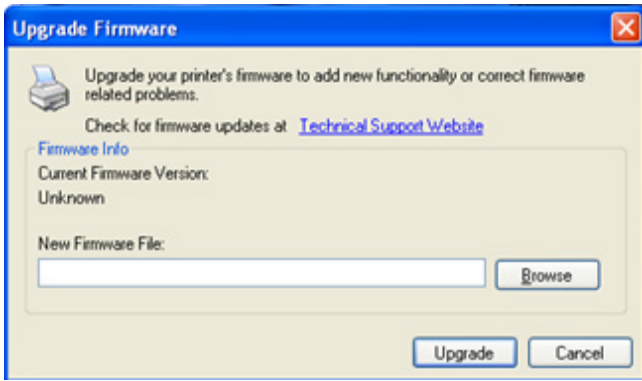
- **ワークベンチプリンタユーティリティユーザーガイド**をご覧ください、ファームウェアのダウンロードおよびインストールを行ってください。
- **重要:**これは、新しいプリンタです。新しいファームウェアがリリースされ、購入可能になると (手順 2 を参照のこと)、実際のウィンドウおよびダイアログを記載した手順 3 から 14 が拡大されます。それまで、この手順は将来に使用するものとしてお読みください。

10.1 ファームウェアのアップデートの実施



ワークベンチプリンタユーティリティプリンタ情報

ステップ	手順
1	診断をクリックし、ワークベンチを開きます。 メーカーウェブサイトからファームウェアを入手します。
2	ここで、サポートページが起動します。 • ファームウェアをクリックします。 • ドロップダウンメニューを使用し、プリンタを選択します。 • 次に進むをクリックします。
3	プリンタファームウェアのプリンタ名をクリックすると、ダウンロードが開始します。
4	保存をクリックします。

ステップ	手順	
5	保存をクリックし、ファイルをコンピュータのデスクトップに保存します。	
6	ダウンロードが完了したら、閉じるをクリックし、このダイアログを閉じます。	
7	コンピュータのデスクトップから、ファームウェアの EXE ファイルをダブルクリックし、広げます。	
8	WinZip Self-Extractor ウィンドウで、ブラウズをクリックします。	
9	デスクトップを選択し、フォルダのブラウズダイアログで OK をクリックします。	
10	WinZip Self-Extractor ウィンドウで解凍をクリックし、指定のファイルを解凍します。 注:ファームウェアが、FRM フォーマットの場合、解凍は不要です。	
11	ドロップダウンメニューのアクションからファームウェアのアップグレードを選択します。これで、ファームウェアのアップグレードが開きます。	
12	- ブラウズメニューからデスクトップを選択します。 .frm ファイルをクリックします。 - 開くをクリックします。 - アップグレードをクリックし、ファームウェアをプリンタへ送信します。	

11 付属書A:HDPii Plus

このセクションは、HDPii Plusにのみ関係します。

寸法	HDPii Plus:11.50" (高さ) x 12.25" (幅) x 9.25" (奥行) / 292mm (高さ) x 313mm (幅) x 235mm (奥行)
	HDPii Plus + 両面モジュール:11.50" (高さ) x 25.00" (幅) x 9.25" (奥行) / 292mm (高さ) x 626mm (幅) x 235mm (奥行)

11.1 付属手順 - セキュリティロック（ケンジントンロック）スロットを使用

重要:HID Globalは互換性のあるロックを扱っていませんが、コンピュータ販売店でご購入いただけます。



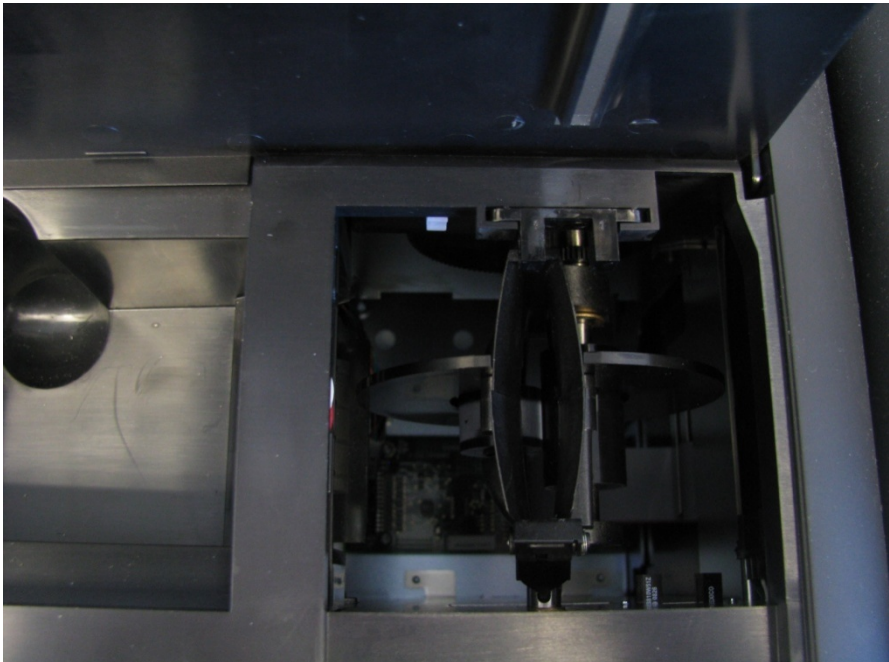
HDPii Plus プリンタの金属シャーシの背面にセキュリティロックスロットがあり、標準ラップトップセキュリティロックが装備されています。

部外者がHDPii Plusを無断で取り外すことがないように、固定された物体に業界標準セキュリティケーブルを装着し、セキュリティロックスロットにケーブルを固定してください。（注:HID Globalはロック装置を取り扱っていませんが、安全性を高めるためこの機能が装着されています。）

ロックスロットにはプラスチックカバーがあり、そこにロックを通すようになっています。（注:保護フィルムが破れるまで適度な力を加え、ロックの先端をスロットに通します。）

ロックメーカーの指示に従ってください。

11.1.1 磁気エンコーダのクリーニング- HDPii Plus アウトプットモジュール

ステップ	手順
1	アウトプットモジュールの前面カバーを開きます。ロックを外し、トップカバーを開きます。 
2	長いアルコールクリーニングカードを使用します。パッケージから取り外します。乾燥するので、素早く作業します。
3	磁気ヘッドはフリッパーテーブルの下に配置されています。 まず、フリッパーテーブルを傾けて、上下さかさまにします。 クリーニングカードが斜めになり、磁気アセンブリに手が届くように、フリッパーテーブルをわずかに左へ回します。 

ステップ	手順
4	クリーニングカードをわずかに傾けて、フリップパーテーブルスロットに挿入します。 
5	OLED の前進ボタンと後進ボタンを用いて、カードを前後に動かします。